# 1ビットDVD/MDシステム

## 取扱説明書 保証書付

形名 SD-FV10（エス ディー エフ ブイ）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

# もくじ

## 1章 はじめに


ページ
安全に正しくお使いいただくために …… 4
著作権について …… 7
おもな特長 …… 8
付属品について …… 8
各部のなまえ …… 9
ディスクについて …… 12


## 2章 使う前の準備


ページ
**アンテナ、テレビ、電源コードを接続する** …… 14
**リモコンに乾電池を入れる** …… 16
デモ表示の設定と解除 …… 17
**電源を入れる** …… 17
　表示部の明るさを変えるには …… 17
**時計を合わせる** …… 18


## 3章 DVD(CD)やMDの再生・ラジオの聞きかた


ページ
**音量や音質を調整する** …… 19
**DVD(CD)を再生する** …… 20
**MDを聞く** …… 22
　聞きたい曲から聞く …… 24
　くり返して聞く …… 24
　好きな曲だけを記憶させて聞く …… 25
　順不同で聞く …… 25
**ラジオ放送を聞く** …… 26
**放送局を登録する** …… 27
テレビや本体の表示内容を切り換える …… 28


## 4章 DVD(CD)のいろいろな再生


ページ
**よく使う操作**
　早送り／早戻しをする …… 29
　静止画／コマ送りで見る …… 29
　スローモーションで見る …… 29
**ディスクの中を選んで再生する** …… 30
**くり返して再生する・順不同で再生する** …… 31
**好きな順に再生する** …… 32
**DVD-RW（VRモード）ディスクを再生する** …… 33
**MP3ディスクのいろいろな操作** …… 34


## 5章 DVDのいろいろな設定を変える


ページ
**DVDを再生中にいろいろな設定を変える**
　字幕言語を変更する …… 35
　音声言語（音声出力）を変更する …… 35
　画像を明るくする …… 36
　画質を鮮明にする …… 36
　アングルを変更する …… 36
　画像を拡大表示する …… 37
　ディスクのメニューから字幕や音声などを変更する …… 37
**DVD再生設定画面からいろいろな設定を変える** …… 38
**DVDの初期設定を変える** …… 39


## 6章 MDへの録音


ページ
録音する前に、知っておいていただきたいこと …… 43
**CDの1曲目から順番に録音する** …… 44
CDの途中の曲から録音する …… 46
CDの好きな曲だけを録音する …… 47
**ラジオ放送を録音する** …… 48
録音済みMDの先頭に録音する …… 50
DVDの音声を録音する …… 51

## 7章 MDのグループ録音・再生


ページ
グループ録音・再生について ............................ 52
**グループに分けて録音する .................... 53**
**いろいろなグループ録音のしかた ........... 54**
**グループ録音したMDを聞く ................. 58**
**好きなグループだけを記憶させて聞く ....... 59**


## 8章 MDの編集


ページ

**録音したMDにタイトルをつける**
ディスク名をつける ........................................ 60
グループ名をつける ........................................ 61
曲名をつける ................................................ 61
ディスク名を消去する ..................................... 62
グループ名を消去する ..................................... 62
曲名を消去する ............................................. 62

**曲やグループを消す**
1曲ずつ消す ................................................. 63
グループを消す .............................................. 63
すべての曲を消す ........................................... 63

**MDのタイトルをメモして、他のMDにコピーする**
タイトルをメモする ........................................ 64
メモしたタイトルを他のMDにつける ................... 65

**曲を編集する**
2曲を1つにつなぐ ......................................... 66
1曲を2つに分ける ......................................... 67
曲を移動する ................................................ 67

**グループを編集する**
曲を別のグループに移動する ............................. 68
グループを先頭に移動する ................................ 68
ノングループの曲をMDの最後に移動する ............. 69
グループになっていない曲をグループにする .......... 69
グループを作成する ........................................ 70
グループ情報を消去する ................................... 70


## 9章 便利な使いかた


ページ
タイマー再生やタイマー録音について ................. 71
タイマー再生やタイマー録音を設定する .............. 72
タイマー設定したあとの動作について ................. 74
音楽を聞きながらおやすみになる ....................... 75
ヘッドホンを使う ........................................... 76
他の機器の再生音を聞いたり、録音する .............. 77
テレビを操作する ........................................... 79
他の機器と接続して、迫力のある音で楽しむ .......... 80


## 10章 ご参考


ページ
"故障かな?"と思ったら ................................ 81
MDのシステム上の制約 .................................... 83
DVD・CDやMDの取り扱いについて ..................... 84
4倍速録音の制約について ................................. 85
こんな表示が出たときは ................................... 86
お手入れについて ........................................... 87
別売品について .............................................. 87
音楽著作権について ........................................ 88
仕様 ............................................................ 88
保証とアフターサービス ................................... 89
お客様ご相談窓口のご案内 ................................ 90


### 本機で再生できるディスク

くわしくは、12ページをごらんください。

# 安全に正しくお使いいただくために



この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

| | |
|---|---|
|  | 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。 |
|  | 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。 |

## 図記号の意味

この記号は**気をつける必要がある**ことを表しています。

この記号は**してはいけない**ことを表しています。

この記号は**しなければならない**ことを表しています。

## ⚠警告

### 電源について

**AC100V以外の電源電圧では使用しない**

火災・感電の原因となります。

**外国では使用しない**

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only. )

### 雷について

雷が鳴りだしたら…
**安全のため、製品にさわらないでください**

感電の原因となります。

屋外で使用していて、雷が鳴りだしたら…
**FMロッドアンテナをたたみ、AMアンテナをはずして、使用を中止してください**

落雷の原因となります。

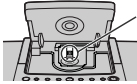
### 電源コードについて

**付属以外の電源コードは使用しない**

火災・感電の原因となります。

**タコ足配線はしない**

発熱により、火災の原因となります。

**コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない**

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたときは…
**販売店に交換をご依頼ください**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

### 光ピックアップについて

**光ピックアップの光源を直視しない**

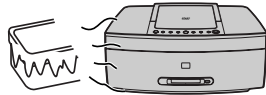
目を痛める原因となります。

# ⚠警告

## 内部に物や水などを入れない

### 開口部(ディスク挿入口など)から金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

### 風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

### 近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

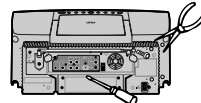
こぼれたり、中に入ると、
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…

**電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

## キャビネットについて

### キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

## 異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

**電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください**

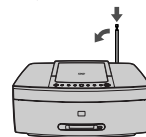
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

## 持ち運ぶときは

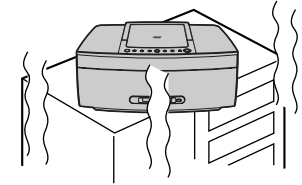
### 落としたり、衝撃を与えない

万一、落としたり、キャビネットを破損したときは、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

### アンテナをのばしたまま持ち運ばない

アンテナが引っかかったり、目に当たったりして、けがや事故の原因となります。

# ⚠注意

## 置き場所について

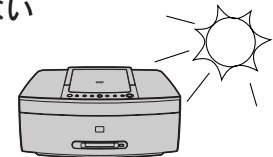
### 不安定な場所に置かない

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

### 油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

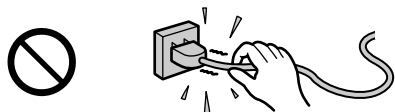
### 冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

### 密閉した自動車内等、直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

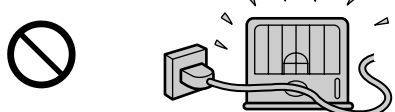
## ⚠注意

### 電源コードの取り扱いについて

**プラグを抜くときはコードを引っぱらない**

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

**濡れた手でプラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

**電源コードを熱器具に近づけない**

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

**コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する**

火災・感電の原因となることがあります。

### ご使用について

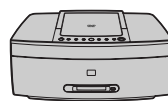
**風通しの悪い状態で使用しない**
**また、布や布団でおおったり、つつんだりしない**

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

**海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所、ほこりの多い所で使用しない**

焼損・発火や事故の原因となることがあります。

### 機器の接続について

**他の機器を接続するときは、指定のコードをお使いください**

テレビなど
本体

接続するときは、必ず電源を切り、他の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
また、付属のコードや指定以外のコードを使用すると、故障の原因となります。

### 移動するときは

**電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜いてください**

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

### お手入れのときは

**安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください**

感電やけがの原因となることがあります。

### 長期間ご使用にならないときは

**安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください**

### 特殊なディスクについて

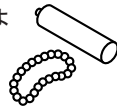
**特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しない**

高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。

# 注意

## 乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

- **新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使用しない**
- **金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない**
- **水に濡らさない**
- **加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない**
- **分解しない**
- **ハンダ付けしない**
- **端子をショート（短絡）させない**
- **種類のちがう乾電池をまぜて使用しない**
- **充電池（ニカド電池等）は使用しない**

- **乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください**

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを、表示どおり正しく入れてください**

もし、液がもれた場合は、リモコンについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## ヘッドホンで聞くときは

### 音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

## ディスクブタについて

### ディスクブタが開閉中は、指などをはさまないよう注意してください

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。（CDからMDに試し録音をするときは、定速で録音してください。）
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ P.90）
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

# 著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。
  解析（リバースエンジニアリング）または改造は禁止されています。

この製品は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS、DTSデジタルアウトは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。

# おもな特長

## *DVDシステムの新スタイル*
## *簡単接続、持ち運びに便利なパーソナルDVDシステム*

DVD（CD）/MD/チューナー/アンプ/スピーカー　一体型のDVDシステム。
テレビとの接続は、映像ケーブル1本だけの簡単セッティング。
夜間など大きな音が出せないときでも、手元に置いて小さくてもはっきりした音で映画などを楽しむことができます。

## *2.8MHzの高解像度サウンドを実現する 1ビットデジタルアンプ搭載*

1秒間に約280万回（約2.8MHz)の高速サンプリングにより、音の分解能力を飛躍的に向上。音の伝送/増幅を1ビットデジタル信号で行い、音の立ち上がりや滑らかさを高品位に再現するほか、アナログ信号での処理に比べ音質劣化の少ないクリアな音質を実現します。

## *MDのグループ録音・再生やMDLP対応*

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音したり、グループを選んで再生することができます。 （☞ P.53、58）

高性能な圧縮・伸長処理により、1枚のMDに最大320分（80分ディスク使用時）まで録音することができます。 （☞ P.44）

## *CD→MD4倍速編集＆充実した編集機能*

CDからMDへ、4倍速で録音ができます。 （☞ P.44）

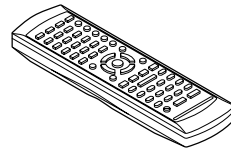
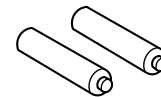
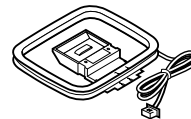
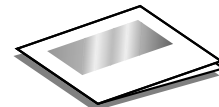
CD再生中に好きな曲を選んで、あとから録音することができます。（マイトラックエディット） （☞ P.47）

## *テレビ操作も可能な多機能リモコン*

多機能リモコンで本体以外にシャープ製のテレビも操作できます。 （☞ P.79）

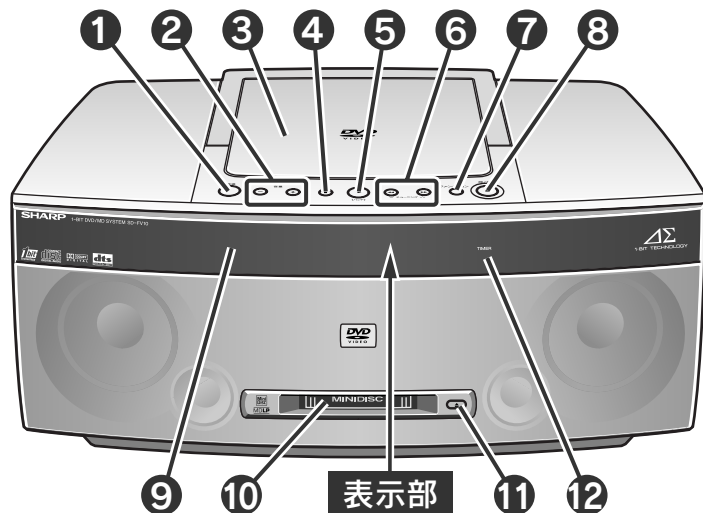
# 付属品について



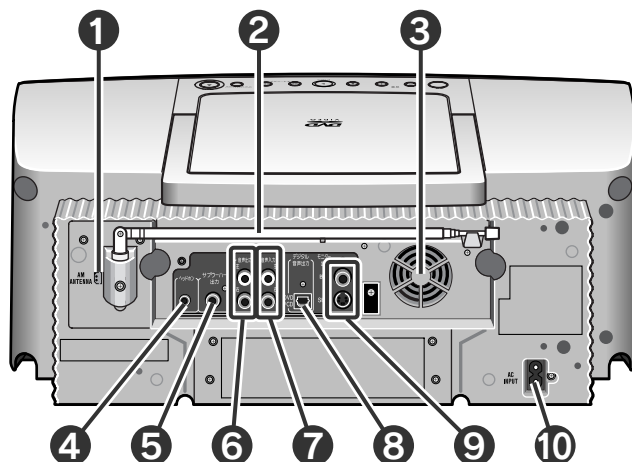
付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

# 各部のなまえ



前面

参照ページ

❶ 電源ボタン ........................ 17、83
❷ 音量ボタン（＋／－）........................ 19
❸ ディスクブタ ........................ 20
❹ 停止ボタン（■）........................ 21
❺ 再生／バンド切換ボタン（▶／（バンド））............ 20、26
❻ チューニングアップ・ダウン／頭出し／早戻し・早送りボタン（∨・|◀◀／∧・▶▶|）........................ 21、23、26
❼ ファンクション切換ボタン ........................ 17、20
❽ ディスクブタ開閉ボタン（⏏ 開／閉）........................ 20
❾ リモコンセンサー........................ 16
❿ MD 挿入口........................ 22
⓫ MD 取出しボタン（⏏）........................ 23
⓬ タイマー表示（TIMER（タイマー））........................ 74

背面

参照ページ

❶ AM アンテナ端子（AM ANTENNA（アンテナ））........................ 14
❷ FM ロッドアンテナ........................ 15
❸ 空冷ファン ........................ 16
❹ ヘッドホン端子........................ 76
❺ サブウーハー出力端子 ........................ 80
❻ 音声出力端子（アナログ）........................ 15
❼ 音声入力端子（アナログ）........................ 15
❽ デジタル音声出力端子 ........................ 80
❾ モニター出力端子（映像／S 映像）........................ 14
❿ AC 電源端子（AC INPUT（インプット））........................ 14

# 各部のなまえ（続き）



## 本体表示部

参照ページ

❶ ディスクフォーマット形式表示（MP3）..... 34
❷ 音声入力信号表示（PCM）
❸ アングル表示（ANGLE）........................ 36
❹ プログラム表示（PROGRAM）............... 25
❺ デイリータイマー再生／録音表示
（DAILY/DAILY REC）........................... 74
❻ スリープ表示（SLEEP）........................ 75
❼ 英数／カナ表示 .................................... 60
❽ ランダム再生表示（RANDOM）.............. 25
❾ A-B リピート／リピート／1 曲リピート再生表示
（A ⇆ B／⇆／1⇆）........................ 31
❿ ワンスタイマー再生／録音表示
（ONCE/ONCE REC）........................... 74
⓫ 入力切換表示（DVD/CD/MD/TUNER/AUX）.............. 22、26、44、77
⓬ MD グループ表示（GROUP）................. 53

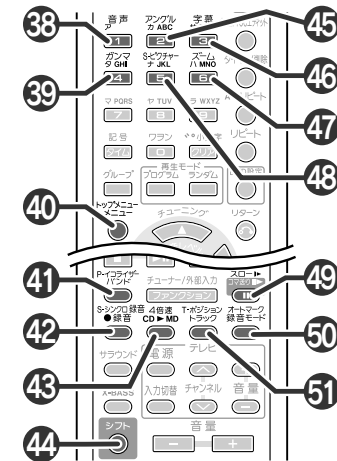
参照ページ

⓭ 録音モード表示
（SP/LP2/LP4/MONO）........................ 44
⓮ トック表示（TOC）............................... 43
⓯ レベルメーター／文字情報表示／
周波数表示 .......................... 22、26、28
⓰ FM ステレオ受信表示（ ST ）.............. 26
⓱ マイトラックエディット表示（T-EDIT）..... 47
⓲ FM ステレオモード表示（STEREO）........ 26
⓳ 3D バーチャルサラウンド／サラウンド表示
（V SURROUND/SURROUND）............... 19
⓴ トップポジション録音表示（ 🏴 ）.......... 50
㉑ サウンドシンクロ録音表示
（S-SYNC）........................................... 78
㉒ アナログ録音表示（ANALOG）............... 45
㉓ 動作表示（▶／●／❚❚）............... 22、44

## リモコン

参照ページ
❶ リモコン送信部 ........................... 16
❷ 本体表示切換ボタン.......... 17、18、28
❸ テレビ画面表示切換ボタン ............. 28
❹ ダイレクトボタン......................... 30
❺ 文字・数字入力ボタン ............. 24、60
❻ 時間表示切換/記号ボタン ......... 28、60
❼ グループボタン ........................... 53
❽ プログラムボタン......................... 25
❾ DVD メニューボタン..................... 33
❿ カーソル/チューニング/録音レベル
調整ボタン ..................... 18、26、46
⓫ 頭出し/早送り・早戻しボタン ...... 21、23
⓬ MD 停止ボタン ........................... 23
⓭ MD 再生/一時停止ボタン ........ 22、23
⓮ バンド切換ボタン......................... 26
⓯ CD►MD 定速録音ボタン ................ 44
⓰ MD 録音ボタン ........................... 46
⓱ サラウンドボタン......................... 19
⓲ X-BASS（エキサイティングバス）ボタン........................... 19
⓳ 音量調整ボタン ........................... 19

参照ページ
⓴ 電源ボタン ................................. 17
㉑ ネーム/TOC（トック）エディットボタン ........ 60
㉒ タイマー/削除ボタン ............. 18、61
㉓ DVD・CD A-B リピートボタン ....... 31
㉔ 文字切換/クリアボタン .......... 24、60
㉕ リピートボタン ..............24、31、33
㉖ DVD 設定ボタン .......................... 38
㉗ CD・MD ランダムボタン ............... 25
㉘ リターンボタン ........................... 30
㉙ 決定ボタン ................................. 18
㉚ カーソル/チューナープリセット
アップダウンボタン................ 18、27
㉛ DVD・CD 再生ボタン ............ 20、21
㉜ DVD・CD 停止ボタン ................... 21
㉝ DVD・CD 一時停止/
DVD コマ送りボタン................ 21、29
㉞ ファンクション切換ボタン ....... 26、77
㉟ 録音モード切換ボタン ................... 44
㊱ マイトラックエディットボタン ........ 47
㊲ テレビ操作ボタン ........................ 79

## シフトボタンを押したまま操作するボタン（青文字）

参照ページ
㊳ DVD 音声切換ボタン.................... 35
㊴ DVD ガンマ補正ボタン ................. 36
㊵ DVD トップメニューボタン ........... 30
㊶ プリセットイコライザーボタン ...... 19
㊷ サウンドシンクロ録音ボタン .......... 78
㊸ CD►MD 4 倍速録音ボタン ........... 44
㊹ シフトボタン ............................. 19
㊺ DVD アングルボタン.................... 36
㊻ DVD 字幕ボタン ......................... 35
㊼ DVD ズームボタン ...................... 37
㊽ DVD スーパーピクチャーボタン ..... 36
㊾ DVD スローボタン ...................... 29
㊿ オートマークボタン ..................... 48
51 トップポジションエディットボタン .... 50

# ディスクについて



## ■ 再生できるディスクについて

本機は、次のディスクを再生することができます。

| DVD ビデオ | DVD-R | DVD-RW | 音楽用 CD | 音楽用 CD-R/CD-RW |
|---|---|---|---|---|
| NTSC 方式 | NTSC 方式 | NTSC 方式 | | |
| | ビデオモードで記録(※) | ビデオモードまたはVR モードで記録(※) | | またはＭＰ３ファイル形式で記録されたCD-R/CD-RWディスク(※) |

(※) 記録した機器やディスクの状態、ディスクの特性、キズ、汚れ、または光ピックアップの汚れなどにより、正しく再生できないことがあります。

## ■ DVD-R/DVD-RW ディスクの再生について

・再生できるDVD-R ディスクは、ビデオモードで記録されているディスクです。
・再生できるDVD-RW ディスクは、ビデオモードまたはVR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されているディスクです。
・DVD-R/DVD-RW ディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行ってください。
・ビデオモード、VR モード、ファイナライズ等DVD-R/DVD-RW ディスクについて、くわしくはレコーダーの取扱説明書をごらんください。
・DVD-RW（VR モード）ディスクでコピーコントロール情報のあるディスク（Ver. 1.1 CPRM 対応）では、正常に再生できない場合があります。

## ■ MP3 ファイル形式について

MP3ファイルとは、MPEG1 オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データのことです。MP3 ファイルには「.mp3」という拡張子がついています。(拡張子「.mp3」がついたファイルでも、MP3 ファイル形式で記録されていない場合は、ノイズが出たり再生できないことがあります。)

## ■ 再生できないディスクについて

本機では、次のディスクは再生できません。

・リージョン番号の「2」または「ALL」が含まれていない DVD（☞ P.13）
・PAL 方式の DVD
・SECAM 方式の DVD
・MPEG 音声の DVD
・DVD-ROM
・DVD-RAM
・DVD-Audio
・CDG
・ビデオ CD
・フォト CD
・CD-ROM
・SACD
・業務用など、特殊なフォーマットで記録されているディスク　など

・上記のものは、全く再生できないか、映像が出ても音が出ない、音が出ても映像が出ないことがあります。
誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損したり、ヘッドホン使用時は聴力障害の原因となることがあります。絶対に再生しないでください。
**・本機でDTS方式のディスクをそのまま再生すると、映像は表示されますが、音声は出ません。**
**音声を聞くためには、「音声言語の設定」をDTS 方式以外の音声出力に設定してください。（☞ P.35）**
・本機はNTSC方式に適合した機器です。海外で製造されたディスクには再生できないものがあります。ご購入の際は、記録方式を確認してください。
・正式な販売地域以外のディスクなど、規格を満たさない物があります。そのようなディスクは再生できません。
**・DVDによっては、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりの動作をしないことがあります。ディスクのジャケットなどもごらんください。**

## ■ コピーコントロール CD について

**ディスクレーベル面に左記マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。**

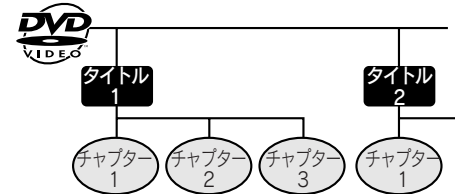
本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「コピーコントロール CD」などについて動作や音質を保証できません。
このような特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細についてはディスクの発売元へお問い合わせ願います。

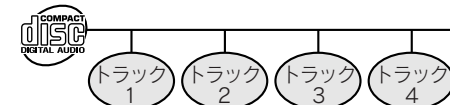
## ■ DVDに表示されているマークについて

DVDのケースに記載されている機能マークを確認のうえお楽しみください。

| 表示例 | | 内　容 |
|---|---|---|
| **リージョン番号（再生可能地域番号）**<br>2・1 2 6・ALL | | DVDは、販売される国により、再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号を、リージョン番号といいます。<br>本機で再生できるのは「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」の表示があるディスクです。 |
| **DVDに記録されている画面サイズ** | | 接続するテレビの種類「ワイドテレビ」や「4:3のテレビ」に応じた画面サイズが選べます。 |
| | 4:3 | 4：3の画面サイズで記録されています。 |
| | 16:9 LB | ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビではレターボックスサイズ画像を楽しめるように記録されています。 |
| | 16:9 PS | ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは左右をカットした4:3の画像を楽しめるように記録されています。 |
| **字幕の種類**<br>2<br>（例）<br>1：日本語字幕<br>2：英語字幕 | | 記録されている字幕言語を表しています。<br>字幕ボタンで好みの字幕が選べます。 |
| **アングル数**<br>2 | | DVDに記録されているアングル数が表示されています。<br>アングルボタンで好みのアングルが選べます。 |
| **音声トラック数や音声記録方式**<br>2<br>（例）<br>1:オリジナル<英語><br>（ドルビーデジタル5.1ch サラウンド）<br>2:日本語<br>（ドルビーデジタル2ch） | | 音声のトラック数や音声の記録方式を表しています。<br>・DVDに記録されている音声を音声切換ボタンで切り換えることができます。<br>・記録されている音声や音声の記録方式は、DVDによって異なります。DVDの取扱説明書で確認してください。 |

## ● タイトル・チャプターについて

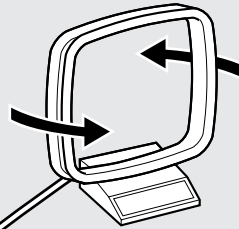
DVDは、「**タイトル**」と「**チャプター**」に区切り、構成されています。
タイトルとは、例えば複数の映画が入っているディスクで各映画ごとをさします。チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

## ● トラックについて

CDは、「**トラック**」に区切り、構成されています。
トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

**お知らせ**
ディスクによっては、タイトル・チャプター・トラックの番号が記録されていないものがあります。

# アンテナ、テレビ、電源コードを接続する

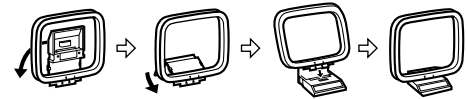
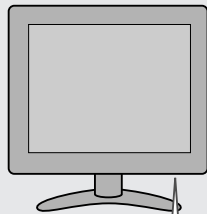
接続するときは、各機器の電源を切った状態で行ってください。

## 1 AM用ループアンテナをつなぐ

AM用ループアンテナは、本体や電源コードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。

### AM用ループアンテナの組み立てかた

### 壁に取り付けることができます

壁

ネジは付属していません。

テレビ（市販品）

映像入力端子へ

S映像入力端子へ

映像コード（付属品）

S映像コード（市販品）

家庭用コンセントへ（100V AC, 50/60Hz）

## 2 テレビにつなぐ

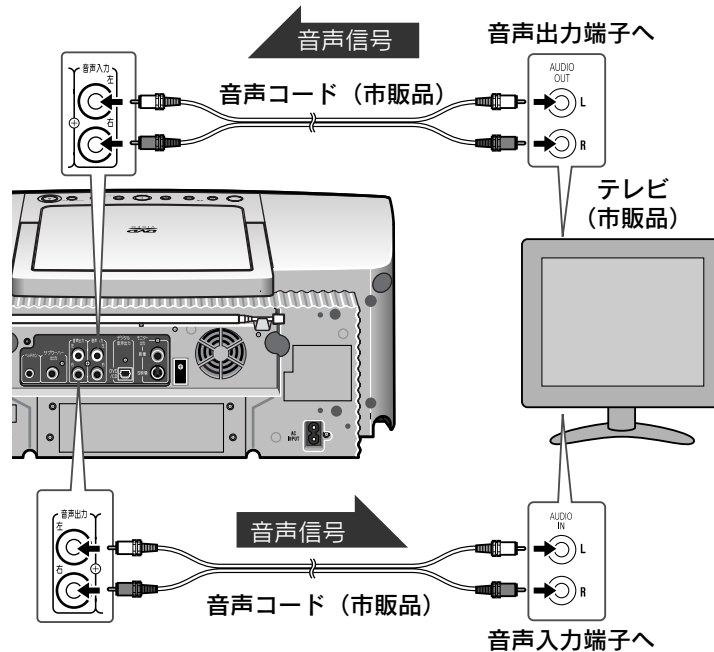
映像コードとS映像コードは、どちらか一つを接続すれば、映像を楽しむことができます。

テレビにS映像入力端子があるときは、S映像コードで接続すると、よりきれいな映像を楽しむことができます。
（S映像コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。）

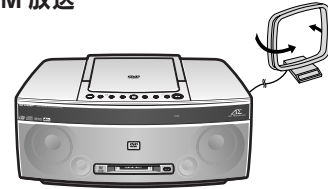
## 3 最後に、電源コードをつなぐ

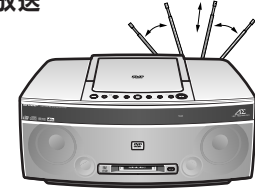
電源コードをAC電源端子へ差し込み、家庭用コンセントに差し込んでください。

## テレビの音声をつなぐには

音声コードを接続すると､テレビの音声をこの製品のスピーカーで聞くことができます。(音声入力端子（アナログ）に接続)
また、DVD などの音声をテレビのスピーカーで聞くことができます。(音声出力端子（アナログ）に接続)

- 音声コードは付属されていません。
- 抵抗の入っている音声コードを使うと、音が小さくなります。
  抵抗の入っていない音声コードをお買い求めください。
- テレビ音声の聞きかたは、77 ページをごらんください。

## ■ アンテナを調整するには

**AM 放送**

**AM 用ループアンテナで調整します。**
アンテナはできるだけ本体から離れた位置で、方向を変えてください。

**FM 放送**

**FM ロッドアンテナで調整します。**
長さや方向を変えてください。

## ■ 電源コードをつなぐときのご注意

- **付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。**
  故障や事故の原因となります。
- 電源コードを抜くときは、電源を切ってからプラグを抜いてください。

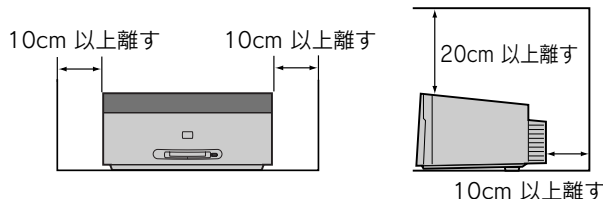
## ■ 節電のために

- 旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。
  電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。
- 電源コードを抜くと、時計が止まり、1 日以上たつと登録した放送局などが消えますので、再度合わせ直してください。

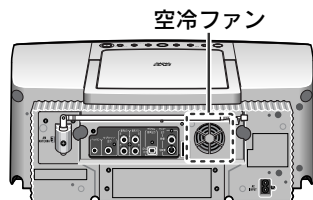
**お知らせ**

- 映像コードと S 映像コードを同時に接続すると、通常のテレビでは S 映像端子が優先されます。
- テレビ側の入力は、接続した端子に合わせて切り換えてください。
- 本機とテレビの間には、他の機器を接続しないでください。
  ビデオなどを経由して接続すると、画像が乱れることがあります。

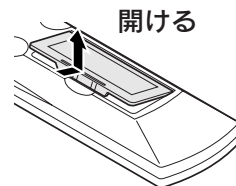
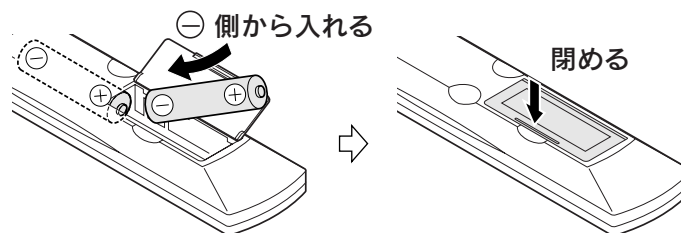
## ■ 置きかたについて

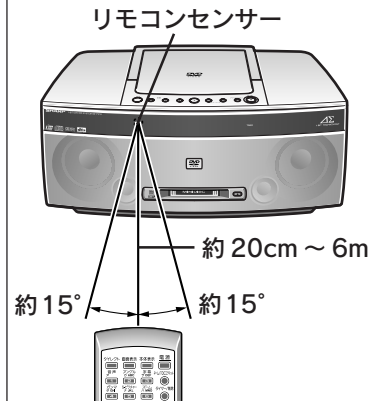
この製品の背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、壁から 10cm 以上離して置いてください。

- この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- この製品の近くで携帯電話を使用すると、この製品が誤動作することがあります。また、携帯電話やこの製品に雑音が入ることがあります。
- 本機のスピーカーは防磁対応されていますので、テレビの前や横に置くことができます。しかし、使うテレビによってはテレビ画面に色ムラが生じることがあります。
  テレビ画面に色ムラがおきたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。
  それでも色ムラが残るときは、本機をさらにテレビから離してください。（くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。）
- この製品をテレビ・パソコンなどの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。
- 振動しやすい場所で使ったり、本体に衝撃を与えると、音とびを起こすことがあります。安定した場所でお使いください。
- **製品を移動させるときは、必ずディスク、MD を取り出してください。ディスク、MDが製品の中につまって、故障の原因となることがあります。**

## ■ 空冷ファンについて

放熱をよくするために空冷ファンを内蔵しています。
この空冷ファンは、電源を入れると自動的に回転するようになっています。ファンの部分を物でふさがないように注意してください。

# リモコンに乾電池を入れる



**❶ フタを開ける。**

**❷ 単３乾電池を２本入れる。**

- 乾電池の方向に注意して入れてください。
  ⊕ ⊖ をまちがえると、故障の原因となります。
- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
  充電池では正しく動作しません。

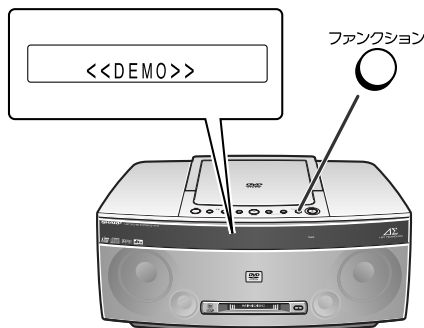
## リモコンの使える範囲（目安）

**リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約１年です。**
リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

- リモコンセンサーに強い光があたる場所では使用しないでください。
  誤動作の原因となります。
- リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼ったり、本体とリモコンの間には障害物などを置かないでください。
  リモコン操作ができなくなることがあります。

# デモ表示の設定と解除

**電源を切ったときに、表示部が自動的に点灯し、いろいろな表示内容に変わることをデモ表示と呼びます。**
お買いあげ時は、デモ表示は解除されています。

## ■ デモ表示にするには

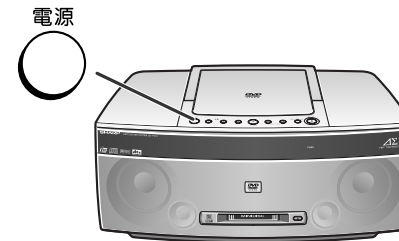
電源が切れているときに…
**[ファンクション]を２秒以上押す。**

## ■ デモ表示を解除するには

デモ表示中に…
**[ファンクション]を押す。**

**お知らせ**

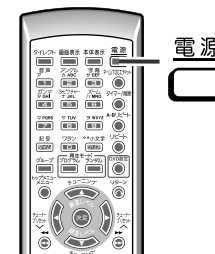
- **[電源]** を押して電源を入れた状態では、デモ表示に設定することはできません。
- デモ表示中に、**[電源]** を押すと、デモ表示は消えます。
  もう一度 **[電源]** を押すと、デモ表示に戻ります。

# 電源を入れる

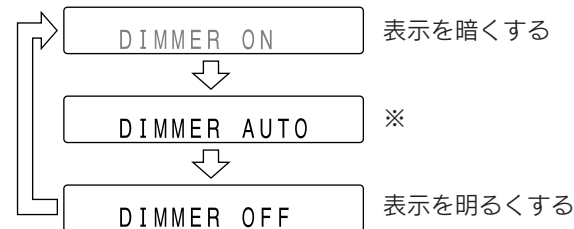
## ■ 電源を入れるには

［電源］を押す。

## ■ 電源を切るには

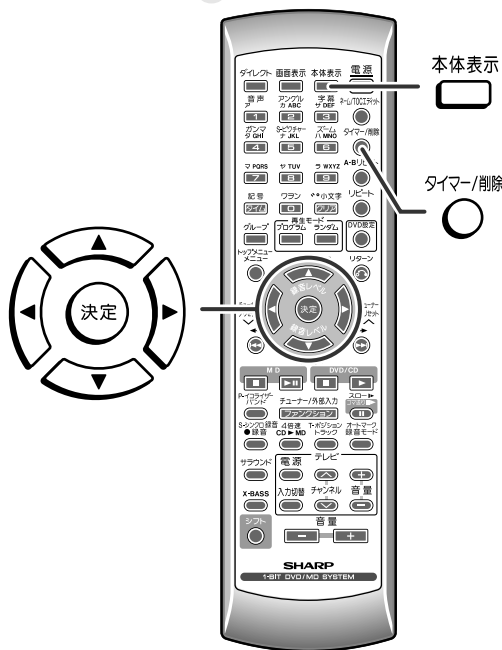
**もう一度、[電源] を押す。**

- 電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか、リモコンの乾電池が正しく入っているか、確認してください。
- 電源を切ったあとの2～3秒は、すぐに電源が入りません。

## ■ 表示部の明るさを変えるには

電源を入れて…

**[本体表示] を２秒以上押す。**
押すたびに切り換わります。

※ DVDの入力のとき、再生を始めて約5秒間は表示が明るくなっています。その後、表示が暗くなります。
DVD の入力で DVD が停止しているときや、DVD 以外の入力のときは、表示が明るくなります。

# 時計を合わせる

時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマー再生やタイマー録音ができるようになります。
またMDに録音したとき、録音日時が自動的にMDに記録されます。
(録音日時 ☞ P.28)

❶ 電源を入れて（☞ P.17）…
タイマー/削除 を押す。

❷ 5秒以内に…
▲ または ▼ を押して、"TIME ADJUST"（タイム アジャスト）を選ぶ。

TIME ADJUST

❸ 10秒以内に…
決定 を押す。

DATE 00. 01. 01

❹ ◀ または ▶ を押して、"年" を合わせ、決定 を押す。

DATE 03. 01. 01
「年」「月」「日」

• 2003年は「03」と合わせてください。

**• 同じように、「月」「日」を合わせます。**

❺ ◀ または ▶ を押して、"時" を合わせ、決定 を押す。

CLOCK AM 9:00
「時」「分」

時刻は12時間制で表示されます。午前（AM）／午後（PM）の表示に注意してください。
AM 0：00→夜の12時　PM 0：00→昼の12時

**• 同じように、「分」を合わせます。**
時計が動作し始め、約3秒たつと、もとの表示に戻ります。

## ■時刻を確認するには

**電源が切れているときは…**
［本体表示］を押す。
時刻が表示されて、約5秒たつと消えます。

**電源が入っているときは…**
1.［タイマー/削除］を押す。
2. 5秒以内に、［▲］または［▼］を押して、時刻を表示させる。
約10秒たつと、もとの表示に戻ります。

## ■時刻を修正するには

操作❶からやり直してください。このとき、操作❷では"TIME ADJUST"（タイム アジャスト）のかわりに現在の設定時刻が表示されます。

**ご注意**
**電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計の設定は消えてしまいます。**
時計を合わせ直してください。

**お知らせ**
この製品の時計(年･月･日)は、2000年1月1日～2099年12月31日まで対応しています。

# 音量や音質を調整する

## 音の広がりを設定する

### （3Dバーチャルサラウンド）

ドルビーデジタル音声が記録されているDVDを再生するときに楽しめます。
2つのスピーカーで、立体的な広がりのあるサラウンドが楽しめます。

① 再生中に… サラウンド を押す。

- 押すたびに「入」、「切」が切り換わります。
- 「入」を選んだときは、本体表示部に"V SURROUND"（バーチャル サラウンド）が点灯します。

テレビ画面表示

入 ▶▶▶
3Dバーチャルサラウンド「入」

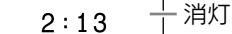
切
3Dバーチャルサラウンド「切」

② 10秒以内に… ◀ または ▶ を押して、レベルを設定する。

入 ▶▶▶（強） 入 ▶▶▶（中） 入 ▶▶▶（弱）

### （サラウンド）

2チャンネルで記録されているDVDまたは、CDやMDを再生するときやラジオを聞くときに楽しめます。

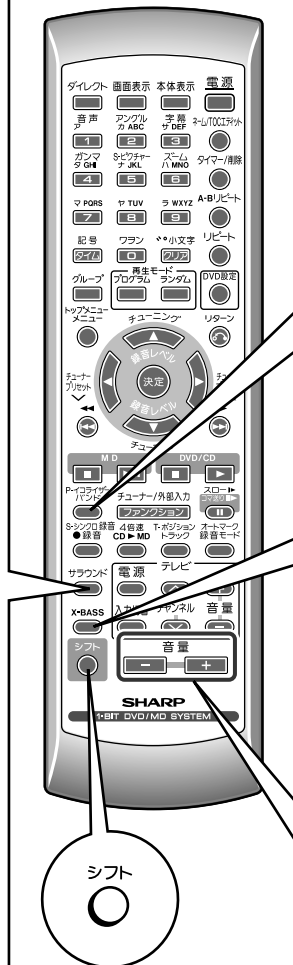
停止中または再生中に…
サラウンド を押す。

押すたびに「入」、「切」が切り換わります。

本体表示

2:13 SURROUND — 点灯
サラウンド「入」

2:13 — 消灯
サラウンド「切」

**お知らせ**

- ドルビーデジタル出力レベルが「シフト」に設定してあるときは、3Dバーチャルサラウンドは働きません。(☞ P.39)
- 録音中に、3Dバーチャルサラウンドやサラウンドの設定を切り換えることはできません。
- ヘッドホンを接続しても、**「3Dバーチャルサラウンド」**は働きます。
  ただし、ふつうの**「サラウンド」**の場合は、**サラウンド**の効果音は得られません。

## 音質を変える（プリセットイコライザー）

シフト を押したまま、P-イコライザー/バンド を押す。

1回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

| フラットな音質 | 低音と高音を強調する音質 |
| --- | --- |
| FLAT | HEAVY |
| **ボーカル（中域）を強調する音質** | **高音を抑えた音質** |
| VOCAL | SOFT |

**お知らせ**

3Dバーチャルサラウンド/サラウンドを設定すると、プリセットイコライザーは"FLAT"（フラット）になります。また、プリセットイコライザーを設定すると、3Dバーチャルサラウンド/サラウンドの設定は解除されます。

## 重低音を強調する（エキサイティングバス）

X-BASS を押す。

1回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

| 強調する | 強調しない |
| --- | --- |
| X-BASS ON | X-BASS OFF |

## 音量を調整する

音量 − ＋ を押す。

VOLUME 20

音量0（小）～音量40（大）

**お知らせ**

- ディスクの内容によっては、音量の上げすぎで音とびをおこすことがあります。そのときは、音量を下げてお聞きください。
- 音量を上げすぎると、保護回路が働き、電源が切れることがあります。このようなときは、音量を下げてください。
- 本体の音量ボタンでも操作することができます。

# DVD (CD) を再生する

- ご使用のテレビがワイドテレビのときは、映像出力設定を16：9に変更してください。( ☞ P.39)
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を「ビデオ 1・ビデオ 2」などに設定してください。

## 1

電源を入れたあと…

ファンクション を押して、入力を「DVD/CD」にする。

DVD/CD

または、リモコンの DVD/CD を押す。

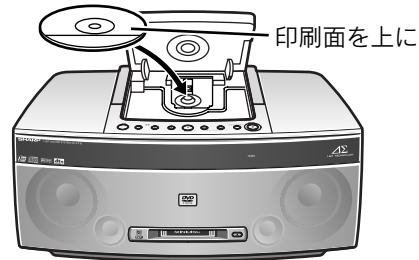
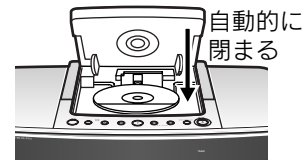
## 2

開/閉 を押して、DVD(CD)を入れる。

ディスクブタが開きます。

## 3

開/閉 を押す。

自動的に閉まる

- オートプレイのディスクを入れたときは、再生が始まります。
- ディスクブタが開いているときに [ ▶] を押すと、ディスクブタが閉じて再生が始まります。

## 4

▶ を押して、再生を始める。

例）DVD の場合

音量や音質などを調整する（☞ P.19）

## DVD(CD)の再生中にできる操作

| 動作 | 本体 | リモコン | 操作 |
|---|---|---|---|
| 停止する | ■ | DVD/CD ■ | 1回押すと“RESUME（リジューム）”が表示されます。もう1回押すと、停止状態になります。<br>1回押して“RESUME（リジューム）”が表示されたあとに、[ ▶]（本体）または[DVD/CD ▶]（リモコン）を押すと、停止した位置から再生されます。（つづき再生） |
| 一時停止する |  | II | **再生中に押す。**<br>[DVD/CD ▶] を押すと、止めた位置から再生します。 |
| チャプター・トラックの頭出しをする（スキップ） | ⏮ ⏭ | ⏮ ⏭ | DVDのとき<br>**再生中に押す。**<br>CDのとき<br>**再生中または、停止中に押す。**<br>停止中に聞きたいトラックを選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。 |

## DVD(CD)の取り出しかた

❶ DVD(CD)を停止させたあと、開/閉 を押す。

❷ DVD(CD)を取り出す。

❸ 開/閉 を押して、ディスクブタを閉じる。

**ディスクブタは電動で開閉しますので、手で開けたり、閉めたりしないでください。**
故障の原因となります。
また、開閉中に指などをはさまないように注意してください。

### ご注意

**本機でDTS方式のディスクをそのまま再生すると、映像は表示されますが、音声は出ません。**
**音声を聞くためには、「音声言語の設定」をDTS方式以外の音声出力に設定してください。（☞ P.35）**

- ディスクを2枚またはそれ以上入れないでください。
- ディスクにキズがあったり、再生できないディスクを入れたときや、リージョン番号の違うディスクを再生しようとしたとき、視聴制限（※1）により制限されたディスクを再生しようとすると、エラーメッセージがテレビ画面に表示され、再生されません。
  （※1）DVDの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための制限をしているものがあります。

### お知らせ

- DVDによっては、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりの動作をしないことがあります。
  ディスクのジャケットなどもごらんください。
- DVD-R・DVD-RW・CD-R・CD-RWディスクの再生は、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。
  そのときは、DVD-R・DVD-RW・CD-R・CD-RWディスクを録音する機器の録音／記録スピードや、使用するディスクを換えてみると、再生可能になることがあります。
  くわしくは、録音する機器の取扱説明書をごらんください。
- ディスクによっては、停止位置が記録されているものがあります。
  このようなディスクを再生すると、記録されている位置で自動的に停止します。
- 操作中、テレビ画面に「⃠」マークが表示されることがあります。
  これは、ディスク側で操作を禁止していることを表します。
- 電源を入れたときや、他の入力から「DVD/CD」に切り換えたときは、本機がディスクの初期設定を行っていますので、数秒間は操作を受け付けません。

# MDを聞く

## 1 電源を入れたあと…

ファンクション ○ を押して、入力を「MD」にする。

MD NO DISC

または、リモコンの MD ■ を押す。

## 2 MDを入れる。

ヘ゛ストヒット — ディスク名が記録されているMDのみ表示

総曲数

17　72：56 — 総再生時間

- ラベル面を上にして矢印マークの方向にMDを入れてください。
- モノラル録音や2倍・4倍長時間録音（ステレオ）で録音された曲も、録音されたときの録音モードに合わせて再生できます。(☞ P.44)
- グループで録音したMDを入れた場合は、自動的にグループモードになります。(☞ P.58)

## 3 ▶を押して、再生を始める。

1：LOVE SO ▶ — 曲名が記録されているMDのみ表示

1　0：32 ▶

1曲目から再生が始まり、最後の曲が終わると停止します。

音量や音質などを調整する（☞ P.19）

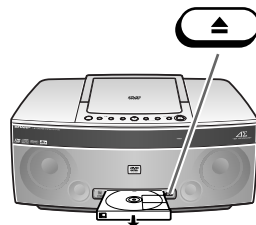
## MDの再生中にできる操作

| 動　　作 | 本　　体 | リモコン | 操　　作 |
|---|---|---|---|
| 停止する | ■ | MD ■ | 再生中に押す。 |
| 一時停止する | | MD ►II | **再生中に押す。**<br>もう一度押すと、止めた位置から再生します。 |
| 曲の頭出しをする | ⏮ ⏭ | ⏮ ⏭ | **再生中または、停止中に押す。**<br>停止中に聞きたい曲番を選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。 |
| 早送りをする<br>早戻しをする | ⏮ ⏭ | ◄◄ ⏮ ►► ⏭ | **再生中に押し続ける。**<br>ボタンから指を離すと、その位置から再生します。 |

## MDの取り出しかた

❶ MDを停止させる。

❷ ▲を押す。

❸ MDを取り出す。

**ご注意**

**MDを入れるときは、必ず電源を入れてください。**
電源が切れているときに、無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。

**お知らせ**

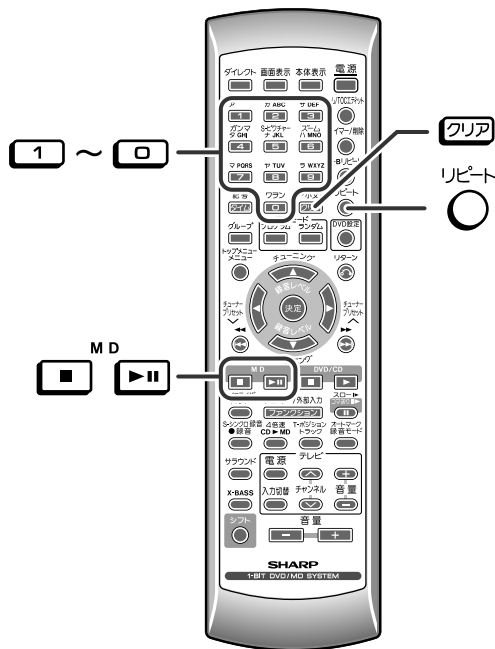
- [文字情報/英語]マークがついている再生専用MD（市販ソフトなど）は、ディスク名などの文字情報が表示できます。
- ひらがなや漢字で入力されているMDは、ディスク名や曲名は表示されません。
- 使用中は、MDが温かくなりますが、異常ではありません。
- MDは振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

## ■ 聞きたい曲から聞く（ダイレクト再生）

❶ MDを入れたあと… MD ■ を押す。

❷ 1 ～ 0 で聞きたい曲番を入力し、MD ►II を押す。

5 0:05 ►
曲番

例）28曲目 2 8 → MD ►II
　　105曲目 1 0 5 → MD ►II

- 指定した曲から、再生が始まります。
- 数字をまちがえたときは、クリア を押し、再度入力をしてください。

**お知らせ**
- グループで録音したMDを入れたときは、自動的にグループモードになります。（☞ P.58）
- [1] ～ [0] ボタンを続けて押すときは、10秒以内に操作してください。
- ランダム再生やプログラム再生（☞ P.25）を設定しているときは、ダイレクト再生はできません。

## ■ くり返して聞く（リピート再生）

❶ MDを入れたあと… MD ■ を押す。

❷ リピート ○ を押す。

押すたびに、リピート再生モードは次のように変わります。

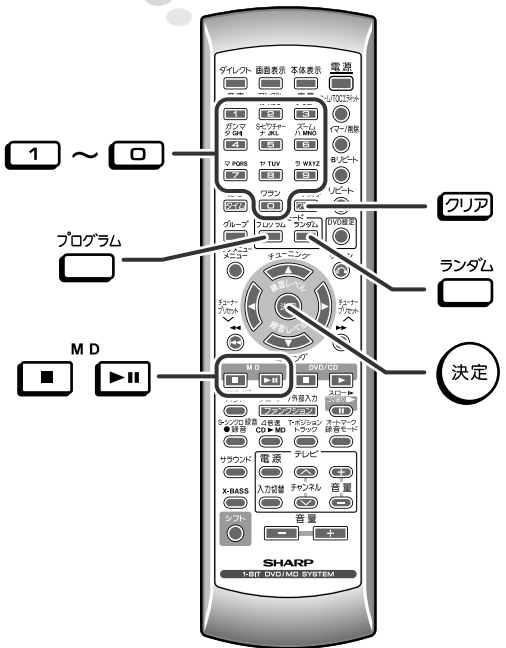
通常再生 → 1曲リピート再生 → 全曲リピート再生
“NORMAL”（ノーマル） → “1-REPEAT”（リピート） → “REPEAT”（リピート）

❸ MD ►II を押す。

| 通常再生 | 全曲を再生したあと、停止します。 |
|---|---|
| 1曲リピート再生 | 1曲をくり返し再生します。 |
| 全曲リピート再生 | 全曲をくり返し再生します。 |

**ご 注 意**
**リピート再生は、止めるまで続きます。**
**お聞きになったあとは、必ず停止してください。**

**お知らせ**
- 再生中に［リピート］を押すと、その時点からリピート再生されます。
- リピート再生設定は、MDの録音操作をすると、解除されます。

好きな曲を好きな順に（最大 24 曲まで）再生することができます。（プログラム再生）
また、全曲を順不同に再生することができます。（ランダム再生）

## ■ 好きな曲だけを記憶させて聞く（プログラム再生）

❶ MD を入れたあと… [MD ■] を押す。
表示部に“GROUP（グループ）”が点灯したら、消灯させてください。（☞ P.58）

❷ [プログラム] を押す。

❸ [1] ～ [0] で聞きたい曲番を入力し、(決定) を押す。

曲番をまちがえたときは、[クリア] を押すと、最後に選んだ曲が取り消されます。続けて押すと、順に取り消されます。

❹ ❸の操作をくり返し、登録したい曲番を順に指定する。
総再生時間が400 分以上を超えると“-- : --”が表示されますが、記憶はされています。

❺ [MD ►II] を押す。
登録した順番で再生したあと停止します。
MD を取り出すまで、曲の登録を覚えています。

## ■ 順不同で聞く（ランダム再生）

❶ MD を入れたあと… [MD ■] を押す。

❷ [ランダム] を押す。

❸ [MD ►II] を押す。
もう一度 [ランダム] を押すと、ランダム再生を解除することができます。

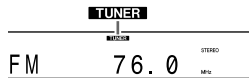
### ■ 登録した順番を確かめるには
停止中に[I◄◄]または[►►I]を押す。

### ■ 登録内容を追加するには
❶～❹の操作をします。前に選んでいる曲のあとに、追加されます。

### ■ 登録内容を取り消すには
1. [MD ■] を押す。
2. 停止中に[クリア]を押す。MD の全曲の登録が取り消されます。

**お知らせ**
- 再生中や一時停止中に登録することはできません。
- プログラム再生の登録内容は、録音操作をすると消えます。
- [1] ～ [0] ボタンでMDに記録されていない曲番を入力しても登録されません。
- 登録を途中で止めるときは [MD ■] を押してください。

**お知らせ**
- 全曲を順不同に再生したあと、自動的に停止します。
- 再生中に［ランダム］を押すと、その時点からランダム再生されます。
- プログラム再生中は、ランダム再生はできません。
- ランダム再生設定は、MD の録音操作をすると、解除されます。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。（自分で選曲できません。）

# ラジオ放送を聞く

**テレビ音声は次の周波数で受信できます。**
1チャンネル　：FM 95.75MHz
2チャンネル　：FM 101.75MHz
3チャンネル　：FM 107.75MHz

## 1 電源を入れたあと…

ファンクション（ボタン）を押して、入力を「TUNER（チューナー）」にする。

TUNER
FM 76.0 MHz

## 2 （バンド）を押して、

"FM STEREO（ステレオ）"、"FM" または "AM" を選ぶ。

| 表示 | モード |
|---|---|
| FM 76.0 MHz STEREO | FM STEREO |
| FM 76.0 MHz | FM |
| AM 522 kHz | AM |

## 3 （チューニング）を押して、放送局を選ぶ。

**自動同調：**
ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

**手動同調：**
ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

### FMステレオ放送を受信するには

（バンド）を押して、"STEREO（ステレオ）"を点灯させる。

| | |
|---|---|
| STEREO（点灯） | FMステレオモード |
| STEREO（消灯） | FMモノラルモード |

FMステレオ放送を受信すると"ST"が点灯します。

76.0 MHz — FMステレオ受信表示 / FMステレオモード表示

FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと"ST"が点灯しません。
このときは、音が出ませんので、FMモノラルモードに切り換えてください。

音量や音質などを調整する（☞ P.19）

### お知らせ

- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。
  そのときは、手動同調をお使いください。
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。
  このため、地域によっては、テレビの2または3チャンネルの音声を受信したときに、FM放送が混信することがあります。
- テレビ音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声やAM放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。
- テレビ音声を受信中に"ブー"という音がしたり、同調が不安定になったときは、アンテナを調整したり、置き場所を変えてください。

# 放送局を登録する

AM 放送・FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。

## 1

登録したい放送局を受信したあと…

**決定 を押して、登録モードにする。**

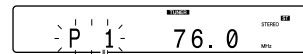
P 1　76.0

FM放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも記憶されます。

## 2

5 秒以内に…

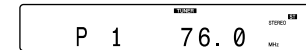
**◀ または ▶ を押して、登録する番号を選ぶ。**

P 1　76.0

登録する番号

## 3

5 秒以内に…

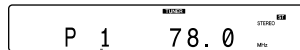
**決定 を押す。**

P 1　76.0

すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

**他の放送局を登録するには、操作 1 からの手順をくり返します。**

## ■ 登録した放送局を呼び出すには

**1 ～ 0 で登録した番号を入力し、［決定］を押す。**

P 1　78.0

登録した番号

（例）28 局目

［2］［8］→［決定］

- ボタンを続けて押すときは、5 秒以内に操作してください。
- 入力をまちがえたときは［**クリア**］を押したあと入力し直してください。

［◀］または［▶］を押して、呼び出すこともできます。

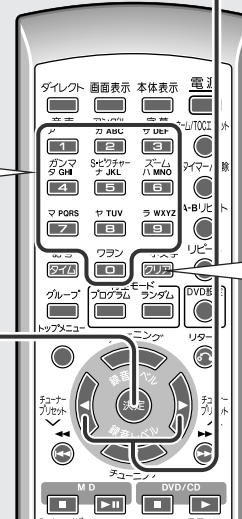
## ■ 登録した放送局をすべて消すには

1. **［クリア］**を 3 秒以上押す。

TUNER CLEAR

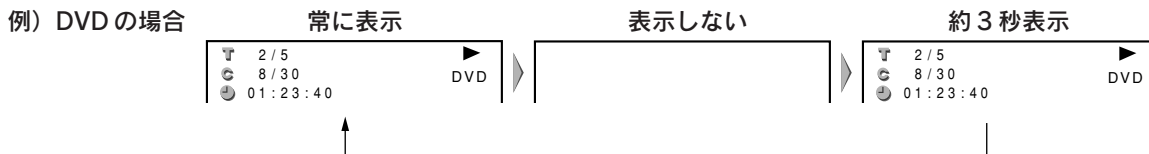
2. 10 秒以内に、**［決定］**を押す。

### ご注意

一日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。そのときは、もう一度登録し直してください。

# テレビや本体の表示内容を切り換える

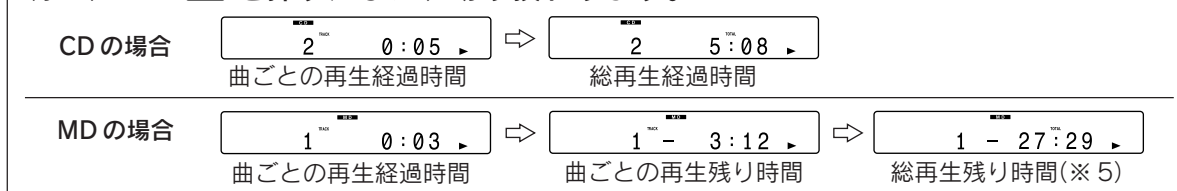


## ■ テレビ画面の表示を切り換える

再生中に… 画面表示 を押すたびに、切り換わります。

## ■ 本体表示部の表示内容を切り換える

再生中に… 本体表示 を押すたびに、切り換わります。

## ■ 時間表示を切り換える

再生中に… タイム を押すたびに、切り換わります。

（※ 1） 曲名が記録されていないときは“NO NAME”（ノー ネーム）と表示します。
他の機器でカタカナ入力された MD は、この製品では正常に表示されないことがあります。

（※ 2） レベルメーターを表示すると、再生中はその表示のままになります。
MD を取り出すと、もとの表示に戻ります。

（※ 3） モノラル録音された曲は“M”と表示します。

（※ 4） 再生専用 MD は、録音残り時間を表示しません。

（※ 5） ランダム再生中は､表示しません。また、グループ録音した MD のときは、選んだ曲が入っているグループの総再生残り時間を表示します。

**お知らせ**

- ディスクによってはタイトル番号、チャプター（トラック）番号、再生経過時間を表示しないものがあります。
- ジャケットなどに記載されている再生時間には､チャプター（トラック）、曲間の無音時間が含まれていないものもあります。そのため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。

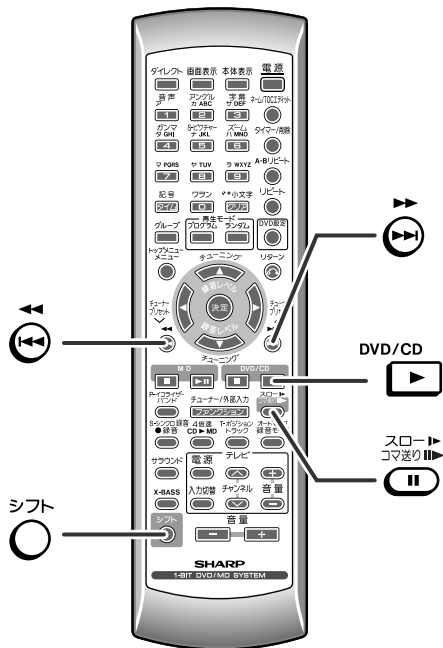
# よく使う操作

DVD …DVD で使用できる機能を表しています。 CD …CD で使用できる機能を表しています。



再生しているところを確認しながら早送り/早戻し（サーチ）することができます。
画像を静止させることができます。（静止画再生）
また、静止画再生のときは、コマ送りすることもできます。（コマ送り再生）
再生する速度を遅くさせることができます。（スロー再生）

## ■ 早送り / 早戻しをする（サーチ）

DVD CD

**1** 再生中に… ◀◀または▶▶を 2 秒以上押す。

例）［▶▶］を押したとき
テレビ画面

1 ▶▶
DVD

- 押すたびに、次のようにサーチ速度が変わります。
  1（約 2 倍速）→2（約 8 倍速）→3（約 32 倍速）
- 1（約 2 倍速）で早送りサーチ時のみ、音声が出ます。
- ▶▶で進み、◀◀で戻ります。
- 本体の◀◀または▶▶で操作することもできます。

■ **通常の再生に戻すには**
［DVD/CD ▶］を押す。

**お知らせ**
- ディスクによっては、サーチが禁止されているものがあります。
- DVDではタイトルをまたぐサーチはできません。
- DVDのサーチ中は、1（約2倍速）で早送りサーチ時のみ字幕が再生されます。
- DVD の再生中にサーチをしたとき、ディスクや再生しているシーンによっては、映像が本書に記載のサーチ速度にならないことがあります。

## ■ 静止画/コマ送りで見る（静止画再生/コマ送り再生）

DVD

**1** 再生中に… スロー/コマ送り を押す。
静止画再生になります。

**2** 静止画再生中に… スロー/コマ送り を押す。
押すたびに、コマ送りされます。

■ **通常の再生に戻すには**
［DVD/CD ▶］を押す。

**お知らせ**
ディスクによっては、静止画再生やコマ送り再生が禁止されているものがあります。

## ■ スローモーションで見る（スロー再生）

DVD

**1** 再生中に… シフト を押したまま スロー/コマ送り を押す。
押すたびに、次のようにサーチ速度が変わります。
1（約 1/2 倍速）→2（約 1/8 倍速）→3（約 1/16 倍速）

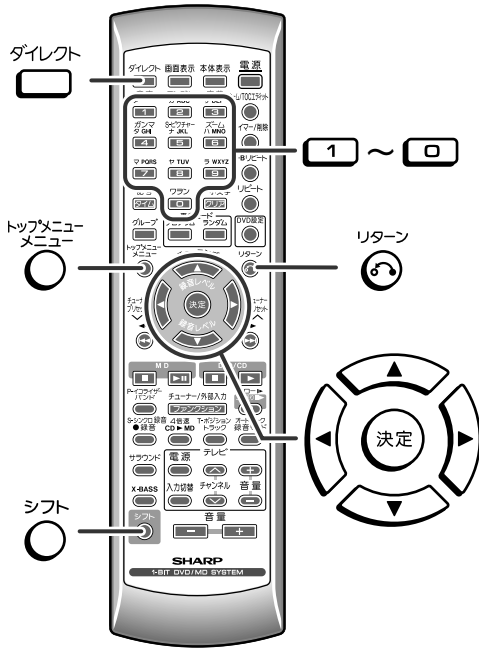
■ **通常の再生に戻すには**
［DVD/CD ▶］を押す。

**お知らせ**
ディスクによっては、スロー再生が禁止されているものがあります。

# ディスクの中を選んで再生する(ダイレクト再生/タイムサーチ/トップメニューから選ぶ)



DVD CD

好きなタイトル(トラック)やチャプターを選んで再生(ダイレクト再生)したり、時間を指定して再生(タイムサーチ)することができます。
複数のタイトルが入っているDVDでは、トップメニューからタイトルを選ぶことができます。

## ■ タイトル(トラック)やチャプター、時間を指定して再生する(ダイレクト再生/タイムサーチ)

**1** タイトル(トラック)を選ぶ(ダイレクト再生)

再生中に… ダイレクト を押す。

例)DVD再生中の表示

T - - / 5
C 8 / 30
01 : 23 : 40

チャプターを選ぶ(ダイレクト再生)

再生中に… ダイレクト を2回押す。

T 3 / 5
C - - / 30
01 : 23 : 40

時間を指定する(タイムサーチ)

(DVDの場合)
再生中に… ダイレクト を3回押す。
(CDの場合)
再生中に… ダイレクト を2回押す。

T 3 / 5
C 8 / 30
00 : - - : - -

**2** 10秒以内に… 1 ~ 0 で入力し、決定 を押す。

- タイムサーチをするとき、1時間23分40秒を指定するには、「012340」と入力してください。
- 数字をまちがえたときは、▲ または ▼ を押し、再度入力をしてください。
- 途中でやめるときは、リターン を押します。

■ 指定のしかた
例)28曲目
2 8 → 決定

お知らせ
- ディスクによっては、この操作ができないことがあります。
- ディスクによっては、チャプター番号が表示しないものがあります。
- CDをダイレクト再生するときは、操作❷だけで再生できます。
- [1]~[0]ボタンのかわりに、[◀]、[▶]、[▲]または[▼]を押しても選ぶことができます。
- タイトル(トラック)をまたぐタイムサーチはできません。
- プログラム再生中は、この操作はできません。

## ■ ディスクのトップメニューからタイトルを選ぶ

DVD

**1** 停止中や再生中に…
シフト を押したまま トップメニュー を押す。

トップメニュー画面の例

| 1 ドラマ | 2 アクション |
|---|---|
| 3 SF | 4 コメディー |

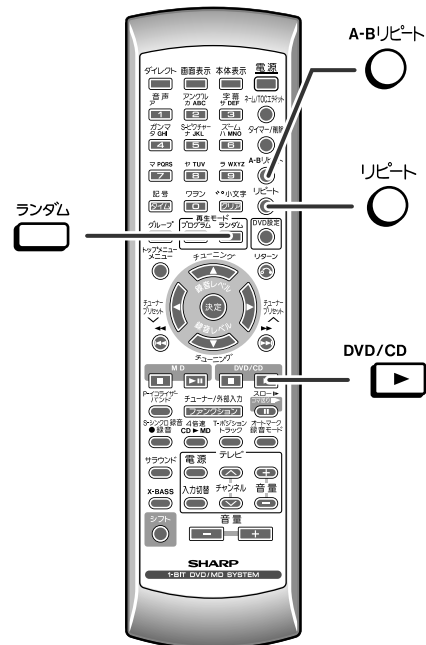
**2** ◀、▶、▲ または ▼ を押してタイトルを選び、決定 を押す。

- 選んだタイトルが再生されます。
- ディスクによっては、1 ~ 0 を押してタイトルを選ぶこともできます。

お知らせ
- 左記の手順は、基本的な操作手順です。
DVDによっては手順が異なりますので、DVDの取扱説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
- DVDにトップメニューが記録されていないときは、トップメニューは表示されません。

# くり返して再生する・順不同で再生する (A－Bリピート再生／リピート再生・ランダム再生)



指定した位置間をくり返して再生（A-B リピート再生）することができます。
タイトル、トラック、チャプターなどを選んで、くり返し再生（リピート再生）することもできます。
またCDでは、順不同で再生（ランダム再生）することができます。

## ■ 指定した位置間をくり返して再生する (A-Bリピート再生)

DVD CD

**1** 再生中に… A-Bリピート ○ **を押す。**
くり返したいはじめの位置(A)が登録されます。

A⊊B ▶ DVD

**2** もう一度… A-Bリピート ○ **を押す。**
- くり返したい終わりの位置(B)が登録され、A－B間がくり返して再生されます。
- CDをA-Bリピート再生するときは、本体表示を見ながら登録することができます。
- もう一度 A-Bリピート ○ を押すと、通常再生に戻ります。

A⊊B ▶ DVD

A ⊊ B 点灯

**お知らせ**
- ディスクによっては、A-B リピート再生が禁止されているものがあります。
- A-B リピート再生は同じタイトル／トラックの中で行ってください。
- 終わりの位置(B)を設定する前にタイトル／トラックが終了した場合は、そこが終わりの位置(B)になります。
- プログラム再生中は、A-B リピート再生はできません。

## ■ くり返して再生する (リピート再生)

DVD CD

**1** 再生中に… リピート ○ **を押す。**
押すたびにリピート再生モードは次のように変わります。
（テレビ画面表示）

**DVD の場合**

「C ⊊（チャプター）」→「T ⊊（タイトル）」→「消灯（通常再生）」

**CD の場合**

「T ⊊（トラック）」→「◎ ⊊（ディスク）」→「消灯（通常再生）」

CD のプログラム再生中に “REPEAT”（リピート）（本体表示）を選ぶと、プログラム再生がくり返されます。

**ご 注 意**
**リピート再生は、止めるまで続きます。**
**お聞きになったあとは、必ず停止してください。**

**お知らせ**
- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- DVD のプログラム再生中はリピート再生はできません。
- リピート再生中に、他のボタンを押すとリピート再生が解除されることがあります。

## ■ 順不同で再生する (ランダム再生)

CD

**1** 停止中に… ランダム □ **を押す。**

本体表示 RANDOM 点灯

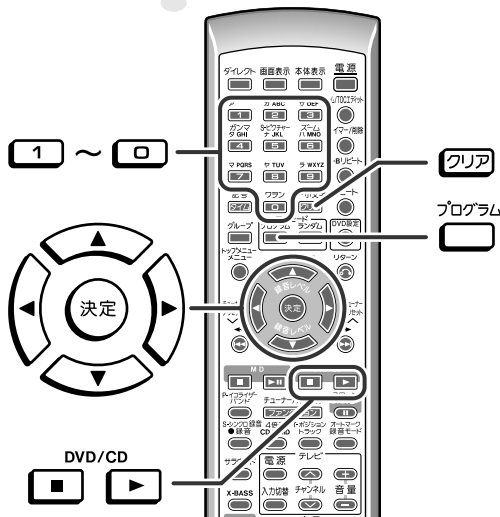
**2** DVD/CD ▶ **を押す。**
もう一度 ランダム □ を押すと、ランダム再生を解除することができます。

**お知らせ**
- 全曲を順不同に再生したあと、自動的に停止します。
- プログラム再生中は、ランダム再生はできません。
- ランダム再生中に、他のボタンを押すとランダム再生が解除されることがあります。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。(自分で選曲できません。)

# 好きな順に再生する（プログラム再生）





好きなDVDのチャプターまたはCDのトラック順に再生することができます。最大24件まで登録することができます。
（タイトルを好きな順に再生することはできません。）

■ **登録内容を追加するには**
❶～❸の操作をします。
前に選んでいる番号のあとに、追加されます。

■ **登録内容を取り消すには**
全ての番号を取り消すときは、確定エリア内にカーソルを移動して、[クリア] を3秒以上押します。
（ディスクを一度取り出しても取り消すことができます。）

DVD CD

❶ ディスクを入れたあと… **[DVD/CD ■] を押す。**

❷ 停止中に… **[プログラム] を押す。**

プログラム画面が表示されます。

例）DVDプログラムの表示

DVD-VIDEO プログラム
タイトル
T 1
T 2
カーソル

❸ **（CDのプログラムをするとき）**

**[▲] または [▼] を押して、再生したいトラック番号を選び、[決定] を押す。**

選択エリア　確定エリア

**（DVDのプログラムをするとき）**

1. **[▲] または [▼] を押して、タイトル番号を選び、[決定] を押す。**
2. **[▲] または [▼] を押して、再生したいチャプター番号を選び、[決定] を押す。**

- 確定エリアにトラックまたはチャプターが登録されます。
- 引き続き別のトラック番号またはチャプター番号を登録するときは、くり返し操作します。
- 番号をまちがえたときは、[▶]、[▲] または [▼] を押して確定エリア内の取り消したい番号を選び、[クリア] を押します。選択エリアにもどるときは [◀] を押します。
- CDをプログラム再生するときは、本体表示を見ながら登録することができます。

プログラム表示

PROGRAM　CD　7　TRACK　P 1

トラック番号　プログラム番号

❹ **[DVD/CD ▶] を押す。**

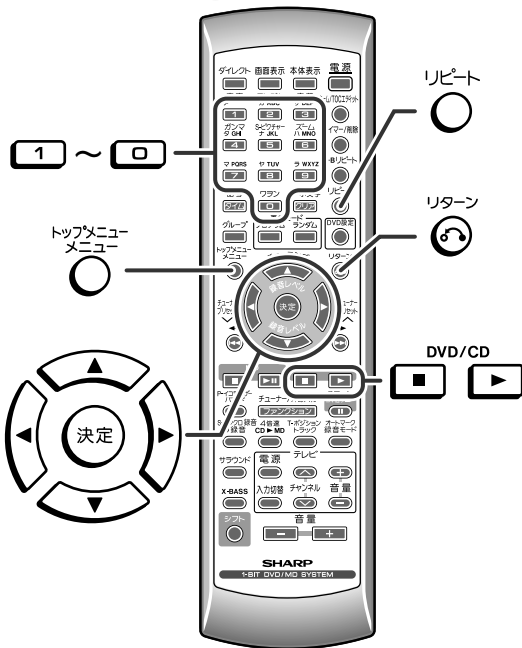
登録した順番で再生したあと停止します。
ディスクを取り出すまで、登録内容を覚えています。

**お知らせ**

- [▲] や [▼] のかわりに、**[1]～[0]ボタン**を押してもタイトル（トラック）番号やチャプター番号を選ぶことができます。
- **[1]～[0]ボタン**でディスクに記録されていないタイトル（トラック）番号やチャプター番号を入力しても登録されません。
- **[1]～[0]ボタン**で同じトラック／チャプターを登録するときは、追加登録するごとにそのトラック／チャプター番号を入力して **[決定]** を押してください。
- 再生中や一時停止中に登録することはできません。
- タイトル（トラック）やチャプターが記録されていないディスクやプログラム再生が禁止されているディスクでは、プログラム再生することはできません。
- 登録を途中で止めるときは、**[プログラム]** を押してください。
- 同じディスクでもう一度プログラム再生するときは、**[プログラム]** を押したあとで **[DVD/CD ▶]** を押してください。
- 別のタイトルのチャプターを同時に登録することはできません。

# DVD-RW（VR モード）ディスクを再生する



VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録された DVD-RWディスクを再生するときは、画面に表示された映像から選んで再生することができます。（ディスクナビ）

## ■ 映像から選んで再生する（ディスクナビ）

**❶** DVD-RW（VR モード）ディスクを入れたあと…

**DVD/CD [■] を押す。**

ここで DVD/CD [▶] を押した場合、1 番目のタイトルから再生が始まります。

**❷ トップメニュー/メニュー ◯ を押す。**

ディスクナビ (ORG)　1/ 2

| No. | Date Time | Title |
|---|---|---|
| 1 | 08/21 00:10 | 8/21 0:10A M 8CH SP |
| 2 | 10/01 00:55 | ***IV **** * *10/01 0:55 |
| 3 | 12/20 01:30 | 12/20 01:30A M 9ch MN3 |

タイトル名
タイトル番号
タイトル映像

- ディスクナビ画面が表示されます。
- もう一度押すと、スタートアップ画面に戻ります。

**❸ ▲ または ▼ を押して、タイトルを選び（決定）を押す。**

- 選んだタイトルの再生が始まります。
- タイトルが3つ以上ある場合は、▼ を押していくとページが切り換わります。

### ● 「オリジナル」と「プレイリスト」を切り換える

プレイリストが作成されているディスクの場合は、「オリジナル（ORG）」のディスクナビ画面⟷「プレイリスト（PL）」のディスクナビ画面、と切り換えることができます。

ディスクナビ画面を表示中に…

◀ または ▶ を押して、「オリジナル（ORG）」または、「プレイリスト（PL）」を選ぶ。

「ORG」または「PL」

ディスクナビ (ORG)　1/ 2

| No. | Date Time | Title |
|---|---|---|
| 1 | 08/21 00:10 | 8/21 0:10A M 8CH SP |

### ● リピート再生をする

再生中に… リピート ◯ を押す。

押すたびにリピート再生モードは次のように変わります。

「T ⟲（タイトル）」→「◎ ⟲（ディスクリピート）」→「消灯（通常再生）」

**ご 注 意**

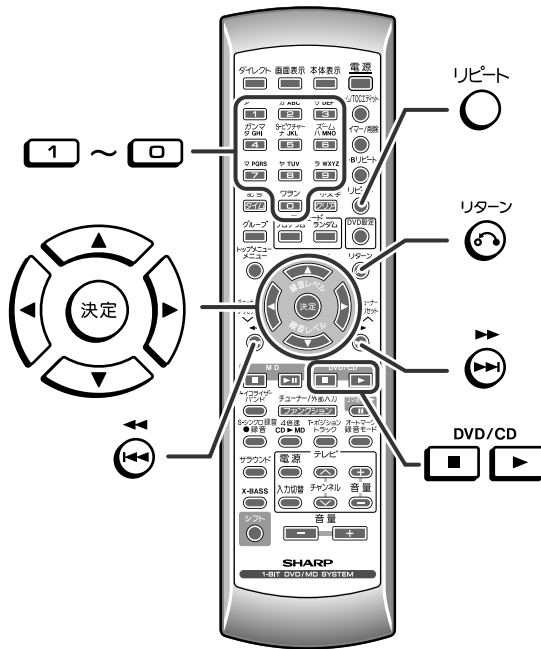
ファイナライズされていないディスクは再生できない場合があります。
そのときは、記録した DVD レコーダーでファイナライズをしてください。

**お知らせ**

- [▲] や [▼] のかわりに、**[1]～[0]ボタン**を押してもタイトル番号を選ぶことができます。
- **[1]～[0]ボタン**を押してタイトル番号を選ぶときに、タイトル番号をまちがえたときは、**[リターン]**を押すと、取り消すことができます。
- VR モードで記録された DVD-RW ディスクでは、データの書き込み状態により、音声および、画像が途切れることがあります。
- 再生を停止すると、つづき再生情報（☞ P.21）が本機に記憶され、スタートアップ画面に切り換わります。この状態でディスクナビ画面を出すと、つづき再生情報はクリアされます。
- 漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。また、認識できない文字はアスタリスクで表示されます。
- ディスクナビ画面を表示したとき、タイトル映像が出るまでには多少時間がかかることがあります。

# MP3ディスクのいろいろな操作

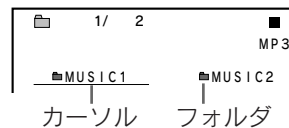


MP3ファイル形式で記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。

ご注意

MP3ファイルを音楽用CDとして記録されたCD-R/CD-RWディスクは、MP3ディスクの操作はできません。
そのときは、CDの操作をしてください。

## ■ MP3ディスクを再生する

**1** MP3ディスクを入れたあと…
DVD/CD ■ を押す。
- フォルダ選択画面が表示されます。
- 本体表示部に"MP3"が点灯します。

(画面表示：1/ 2　■　MP3　MUSIC1　MUSIC2　カーソル　フォルダ)

**2** ◀、▶、▲ または ▼ を押してフォルダを選び、決定を押す。
トラック選択画面が表示されます。
- フォルダにカーソルを合わせて DVD/CD ▶ を押すと、そのフォルダ内のトラックの先頭から再生が始まります。
- リターンを押すと、フォルダ選択画面に戻ります。

(画面表示：MUSIC1　■　MP3　1TRACK01　2TRACK02　3TRACK03　4TRACK04　トラック番号)

**3** ◀、▶、▲ または ▼ を押してトラックを選び、決定を押す。
選んだトラックから再生が始まります。

### ● 再生中にスキップをする

再生中に…⏮または⏭を押す。
再生中のトラックがあるフォルダ内でスキップされます。

### ● 再生中にサーチをする

再生中に…◀◀または▶▶を2秒以上押す。
押すたびに次のようにサーチ速度が変わります。

1（約2倍速）→2（約8倍速）→3（約32倍速）

### ● リピート再生をする

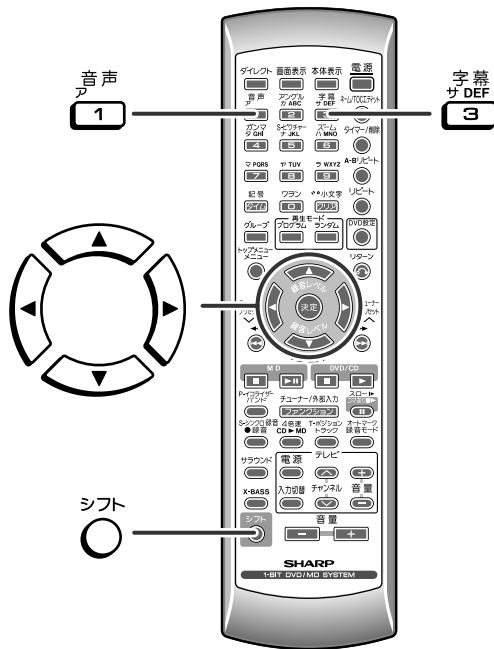
再生中に…リピートを押す。
押すたびにリピート再生モードは次のように変わります。

「T（トラック）」→「（フォルダ）」→「消灯（通常再生）」

お知らせ

- 再生中のトラックでないところにカーソルを移動しているときに、10秒以上操作がないときは、カーソルのあるトラックが再生されます。
- [1]～[0]ボタンを押してトラック番号を入力し、[決定]を押しても再生することができます。
- 記録されているトラックの順番通りに再生されないことがあります。
- 認識できる階層は、フォルダ、トラックを含め8階層までです。
- トラックは256件まで認識できます。
- マルチセッションディスクも再生することができます。
- 第1セッションがCDフォーマット形式で記録されている場合、音楽用CDと認識されCDフォーマット形式のみ再生されます。
- フォルダ数が多いほど、読み取りに時間がかかります。
- フォルダツリーの構造によっては、読み取りに時間がかかることがあります。
- フォルダ名、トラック名は8文字まで表示できます。文字や記号によっては、正しく表示されないものがあります。
- 高速でデータを記録したディスクの場合、雑音が出たり、再生できないことがあります。

# DVD を再生中にいろいろな設定を変える

字幕言語や音声言語を変更しても、電源を切ったり、ディスクを入れ換えると、初期設定で設定している字幕言語や音声言語になります。
いつも希望する字幕言語や音声言語にしたいときは、初期設定画面で希望する言語を設定してください。
( ☞ P.39)

## ■ 字幕言語を変更する

再生中に、字幕言語を変更したり、消したりすることができます。

❶ 再生中に…
シフト を押したまま 字幕 ザ DEF 3 を押す。

1 日本語

❷ 10 秒以内に…
シフト を押したまま 字幕 ザ DEF 3 を押して、字幕言語を選ぶ。

2 英語

- 押すたびに、DVD に含まれている字幕言語が切り換わります。
「英語」→「日本語」→ … →「スペイン語」
- ▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。

## ■ 音声言語（音声出力）を変更する

再生中に、音声言語（音声出力）を変更することができます。

❶ 再生中に…
シフト を押したまま 音声 ア 1 を押す。

1 DD 5.1ch

❷ 10秒以内に… シフト を押したまま 音声 ア 1 を押して、音声言語（音声出力）を選ぶ。

- 押すたびに、音声言語（音声出力）が切り換わります。
- ▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。

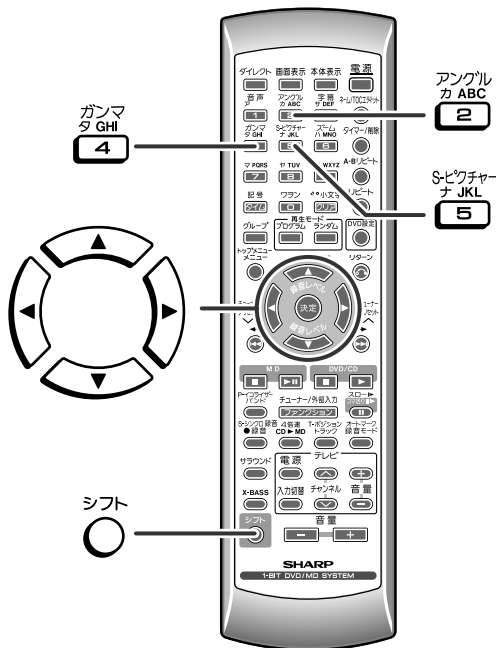
（例）

| | |
|---|---|
| 1 DD 5.1ch | 1: オリジナル＜英語＞<br>（ドルビーデジタル 5.1ch サラウンド） |
| 2 DD 2ch | 2: 日本語<br>（ドルビーデジタル 2ch） |

**お知らせ**
- DVDによっては、字幕言語の変更ができないものがあります。
- 字幕が記録されていないディスクのときは「X X」が表示されます。
- 選んだ字幕言語に切り換わるまで、少し時間がかかることがあります。
- 字幕を消すときは、字幕言語が表示されているときに [◀] または [▶] を押して、「切」を選んでください。

**ご注意**
**本機でDTS方式のディスクを再生しても、映像は表示されますが、音声は出ません。音声を聞くためには、「音声言語の設定」をDTS方式以外の音声出力に設定してください。**
(例 ドルビーデジタル5.1ch、ドルビーデジタル2chなどに設定します。) ただし、聞こえる音声は2chになります。
DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなどと接続すると、DTS 音声を聞くことができます。( ☞ P.80)

**お知らせ**
- DVDによっては、音声言語の変更ができないものがあります。
- 音声言語や音声方法の種類については、ディスクの取扱説明書をごらんください。

# DVD を再生中にいろいろな設定を変える（続き）



## ■ 画像を明るくする

再生中に画像の明るさを調整することができます。

❶ 再生中に… シフト を押したまま ガンマ タ GHI 4 を押して、「入」を選ぶ。
押すたびに「入」、「切」が切り換わります。

❷ 10秒以内に… ◀ または ▶ を押して、レベルを設定する。

| レベル | 設定内容 |
|---|---|
| 切 | 通常の画像 |
| 入 ▷►► | 少し明るく |
| 入 ▷▷► | より明るく |
| 入 ▷▷▷ | さらに明るく |

■もとの明るさに戻すには
操作❶で、「切」を選びます。

## ■ 画質を鮮明にする

再生中に画質を調整することができます。

❶ 再生中に… シフト を押したまま S-ピクチャー ナ JKL 5 を押して、「入」を選ぶ。
押すたびに「入」、「切」が切り換わります。

❷ 10秒以内に… ◀ または ▶ を押して、レベルを設定する。

| レベル | 設定内容 |
|---|---|
| 切 | 通常の画質 |
| 入 ◀▷►► | 少し鮮明に |
| 入 ◀▷▷► | より鮮明に |
| 入 ◀▷▷▷ | さらに鮮明に |
| 入 ◁►►► | やわらかな画質 |

■もとの画質に戻すには
操作❶で、「切」を選びます。

## ■ アングルを変更する

DVDにアングルが記録されていると、1つの場面をいろいろな角度で見ることができます。

❶ 本体表示部に“ANGLE（アングル）”が表示されたら… シフト を押したまま アングル カ ABC 2 を押す。

❷ 10秒以内に… シフト を押したまま アングル カ ABC 2 を押して、アングル番号を選ぶ。
- 押すたびに、アングルが切り換わります。
- ▲ または ▼ を押しても選ぶことができます。

お知らせ
- DVDによっては、アングルの変更が禁止されているものがあります。
- アングルが記録されていないディスクでは、アングル番号は表示されません。「X X」が表示されます。
- ディスクによっては操作が異なりますので、ディスクの取扱説明書をごらんください。

## ■ 画像を拡大表示する（ズーム）

画像を拡大して表示させることができます。

❶ 一時停止中や再生中に…

シフト を押したまま

ズーム ハ MNO 6 を押す。

ズーム：1 ― ズーム表示

押すたびに、「ズーム：1（約1.2倍）」→「ズーム：2（約1.5倍）」→「ズーム：3（約2.0倍）」→「ズーム表示消灯（解除）」の順に切り換わります。

❷ 拡大した部分を移動するには、

ズーム中に･･･

◀、▶、▲ または ▼ を押す。

## ■ ディスクのメニューから字幕や音声などを変更する

メニューが記録されているDVDでは、ディスクのメニューから字幕や音声言語、音声出力などを変更することができます。

❶ 停止中や再生中に…

トップメニュー メニュー を押す。

メニュー画面の例

| メニュー |
|---|
| 1　音声 |
| 2　字幕 |

❷ ◀、▶、▲ または ▼ を押して設定を変更し、

決定 を押す。

1 ～ 0 で変更できるディスクもあります。

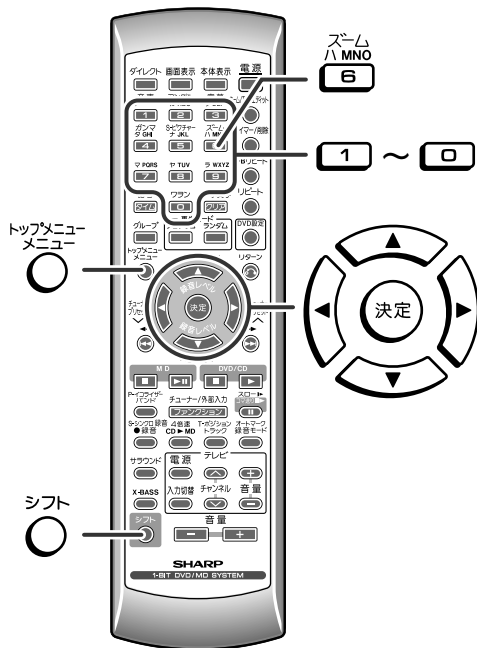
### ■通常の画面に戻すには

操作❶で、「ズーム表示消灯（解除）」を選びます。
ズームを解除すると、拡大画面の移動も解除されます。

**お知らせ**

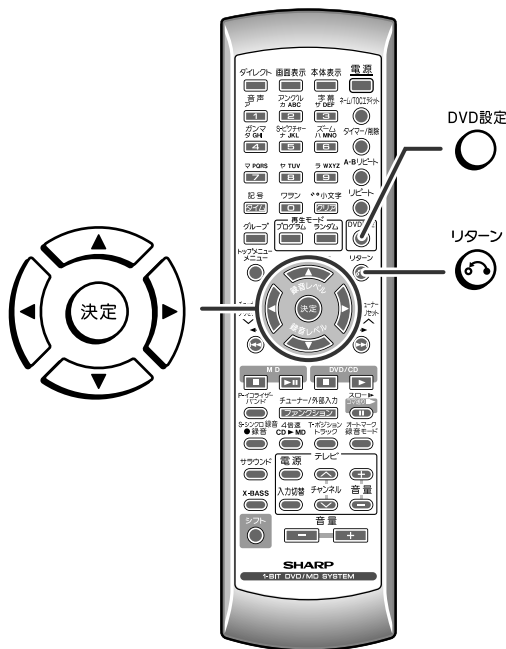
- ズーム切換のとき、画面が乱れることがあります。
- 字幕はズームされません。
- 画面の移動中にズーム表示が白色から赤色に変わると、それ以上移動できません。

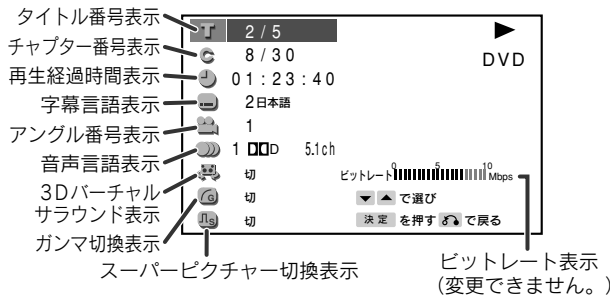
**お知らせ**

- 左記の手順は、基本的な操作手順です。
  DVDによっては手順が異なりますので、DVDの取扱説明書や、画面に表示される手順に従って操作してください。
- プログラム再生中は、ディスクのメニューから設定することはできません。

# DVD 再生設定画面からいろいろな設定を変える



DVD 再生設定画面からは、いろいろな項目の設定を同時に変更することができます。

❶ 再生中に… DVD設定 を押す。

❷ ▲ または ▼ を押して項目を選び、決定 を押す。

例）DVD の場合

❸ ◀、▶、▲ または ▼ を押して設定を変更し、決定 を押す。

例）ガンマ切換を選んだとき

**指示に従い操作をくり返す。**
（くり返す回数は、設定項目により異なります。）

続けて他の設定を変更するときは、操作❷からくり返してください。

❹ DVD設定 を押す。
設定が登録され、再生画面に戻ります。

**お知らせ**
- ディスクにより項目が選べないことがあります。
- 項目や設定を選んでいるときに、[リターン] を押すと、一つ前の画面に戻ります。

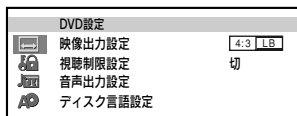
ダイレクトボタンなどを使って直接設定項目を選ぶには、下記のボタンを押します。

| 設定項目 | ボタン | 参照ページ |
|---|---|---|
| タイトル番号 | ダイレクト（1 回） | P.30 |
| チャプター番号 | ダイレクト（2 回） | P.30 |
| 再生経過時間 | ダイレクト（3 回） | P.30 |
| 字幕言語 | シフト ＋ 字幕 サ DEF 3 | P.35 |
| アングル番号 | シフト ＋ アングル カ ABC 2 | P.36 |
| 音声言語 | シフト ＋ 音声 ア 1 | P.35 |
| 3Dバーチャルサラウンド | サラウンド | P.19 |
| ガンマ切換 | シフト ＋ ガンマ タ GHI 4 | P.36 |
| スーパーピクチャー切換 | シフト ＋ S-ピクチャー ナ JKL 5 | P.36 |

# DVD の初期設定を変える

初期設定を変更すると、電源を切っても変更した内容を記憶しています。
もとに戻したり、変更するときは、もう一度設定し直してください。

**1** [DVD/CD ■] を押したあと…
DVD設定 ○ **を押す。**
初期設定画面

DVD設定
映像出力設定 4:3 LB
視聴制限設定 切
音声出力設定
ディスク言語設定

**2** ▲ または ▼ **を押して項目を選び、**(決定) **を押す。**
選択する項目は、右の表をごらんください。

**3** ◀、▶、▲ または ▼ **を押して設定を変更し、**(決定) **を押す。**
続けて他の設定を変更するときは、操作❷からくり返してください。

**4** DVD設定 ○ **を押す。**
設定した内容が登録されます。

**お知らせ**
- ディスクの再生中は初期設定画面が表示されません。
- ディスク言語設定で「その他」の言語、「メニュー言語」を設定するときは、41～42ページをごらんください。
- **項目や設定を選んでいるときに、[リターン]を押すと一つ前の画面に戻ります。**

| 設定項目 | 選択できる項目 | | 設定内容 |
|---|---|---|---|
| 映像出力設定 | 4:3 PS<br>4:3 LB ※<br>16:9 | | 接続するテレビのタイプに合わせて設定。 |
| 視聴制限設定（パレンタル） | パスワード | 4桁のパスワードを入力 | パスワードを忘れたときは、数字ボタンのかわりに[DVD/CD ■]を4回連続して押せば解除できます。 |
| | レベル | レベル1～8<br>切※ | DVDソフトの視聴制限のレベルを設定。 |
| | 国コード | アメリカ<br>カナダ<br>日本※<br>⋮ | ディスクが指定している視聴制限の国コードを設定。 |
| 音声出力設定 | DD DIGITAL 出力レベル | シフト<br>ノーマル※ | ドルビーデジタル音声出力レベルを設定。<br>**シフト** 音量レベルが不足しているときは、平均音量を上げることができます。このときは、3Dバーチャルサラウンドは働かなくなります。<br>**ノーマル** ディスクに記録されている音量レベルのまま再生します。 |
| | DD DIGITAL 出力 | ビットストリーム※<br>D-PCM | デジタル音声出力端子に他の機器を接続したときは、他の機器に合った音声出力に設定することができます。（☞ P.80） |
| | シネマボイス | 入<br>切※ | セリフが聞きづらいとき、「入」にするとセリフの音量が上がります。 |
| ディスク言語設定 | 音声言語 | 日本語<br>英語※<br>オリジナル<br>その他 | 言語の種類を設定。（☞ P.41）<br>設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が表示されます。<br>**オリジナル** ディスクの最優先言語で再生したいときに設定します。<br>**オート** 音声言語に合わせて自動的に字幕を表示します。（例：音声言語で日本語を選んでいるとき、日本語の音声が再生されたときは、字幕を表示しません。英語など日本語以外の音声が再生されたときは、日本語の字幕を表示します。） |
| | 字幕言語 | 日本語※<br>英語<br>オート<br>その他 | |
| | メニュー言語 | メニュー言語1 J<br>メニュー言語2 A | |

（※印は、お買いあげ時の設定）

# DVDの初期設定を変える（続き）



## ■ 接続するテレビの画面サイズについて

| 選択項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 4:3 PS | ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の左右をカット（パンスキャン）して、4:3のサイズで映像を出力します。違和感の少ない画像を楽しむことができます。ただし、パンスキャンPS指定のないワイド画像（16：9記録）のディスクは、4:3 LBで再生されます。<br>4:3画像のディスクは、そのまま4:3で再生されます。 |
| 4:3 LB | ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の上下に黒い帯を入れて、4:3のサイズで映像を出力します。ワイド画像（16：9記録）の全体を楽しむことができます。<br>4:3画像のディスクは、そのまま4:3で再生されます。 |
| 16:9 | ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、ワイド画像（16：9記録）のサイズで出力します。<br>• 4:3画像のディスクを再生したときは、接続したテレビの設定により表示が変わります。<br>• 4:3のテレビと本機を接続した状態で16:9を選んでいるとき、ワイド画像（16:9記録）のディスクを再生すると、縦長の画面になります。 |

**お知らせ**

画像の形が固定されているディスクでは、テレビの画面サイズを変更しても、画像の形は変わりません。

## ■ 視聴制限（パレンタル）レベルについて

| 選択項目 | 設定内容 |
|---|---|
| レベル1 | 子供向けディスクを再生することができます。成人向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）は再生できません。<br>・レベル1のディスクは誰でも楽しめる内容です。 |
| レベル2～3 | 子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を除く）を再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き(R指定）ディスクは再生できません。 |
| レベル4～7 | 子供向けディスクと一般向けディスク（R指定を含む）を再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。<br>・レベル4～7のディスクは中学生以下が見ることができない内容です。 |
| レベル8 | すべてのディスクを制限なしに再生することができます。<br>・レベル8のディスクは成人しか見ることができない内容です。 |
| 「切」 | 視聴制限を解除します。 |
| 国コード | ディスクが指定している視聴制限の国コードです。 |

| | | |
|---|---|---|
| アメリカ | スウェーデン | マレーシア |
| カナダ | オランダ | インドネシア |
| 日本 | ノルウェー | 台湾 |
| ドイツ | デンマーク | フィリピン |
| フランス | フィンランド | オーストラリア |
| イギリス | ベルギー | ロシア |
| イタリア | 香港 | 中国 |
| スペイン | シンガポール | |
| スイス | タイ | |

**お知らせ**

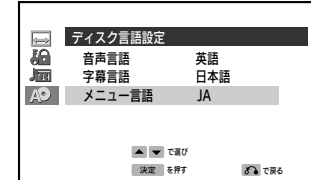
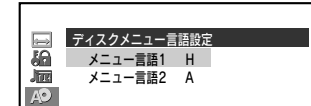
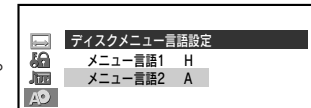
• 初めてパスワードを入力するときは、任意の4桁の数字（例:1234）と入力すると、その数字がパスワードとして登録されます。次からパスワードを入力するときは「1234」と入力してください。
• 視聴制限が記録されているディスクを再生中に、見ることができない場面では、視聴制限の一時変更画面が表示されることがあります。そのときは、パスワードを入力して一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

## ■ ディスク言語について

| 選択項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 音声言語 | 再生したい音声の言語を設定します。<br>優先的に設定した言語でセリフやナレーションが聞こえます。<br>日本語に設定したとき → 英語に設定したとき<br>ありがとう → Thank you |
| 字幕言語 | 再生したい字幕の言語を設定します。<br>優先的に設定した言語で字幕が表示されます。<br>日本語に設定したとき → 英語に設定したとき<br>ありがとう → Thank you |
| メニュー言語 | 再生したいメニューの表示言語を設定します。<br>優先的に設定した言語でメニュー画面が表示されます。<br>日本語に設定したとき → 英語に設定したとき<br>キャスト スタッフ → CAST STAFF |

## ■「その他」の言語、「メニュー言語」の設定について

例）メニュー言語に、HU（ハンガリー語）を選ぶ場合

① 初期設定画面で「ディスク言語設定」を選んだあと（☞ P.39：操作❶～❷）、「メニュー言語」を選び（決定）を押す。

② ◀または▶を押して、1文字目のアルファベット「H」を選ぶ。

③ ▲または▼を押して、カーソルを2文字目に移動させる。

④ ◀または▶を押して、2文字目のアルファベット「U」を選ぶ。

⑤ （決定）を押す。

⑥ DVD設定を押す。

## ■ 言語コード一覧表

| 記号 | 言語名 |
|---|---|
| AA | アファル語 |
| AB | アブバジア語 |
| AF | アフリカーンス語 |
| AM | アムハラ語 |
| AR | アラビア語 |
| AS | アッサム語 |
| AY | アイマラ語 |
| AZ | アゼルバイジャン語 |
| BA | バジキール語 |
| BE | ベラルーシ語 |
| BG | ブルガリア語 |
| BH | ビハーリー語 |
| BI | ビスラマ語 |
| BN | ベンガル語、バングラ語 |
| BO | チベット語 |
| BR | ブルトン語 |
| CA | カタロニア語 |
| CO | コルシカ語 |
| CS | チェコ語 |
| CY | ウェールズ語 |
| DA | デンマーク語 |
| DE | ドイツ語 |
| DZ | ブータン語 |
| EL | ギリシャ語 |
| EN | 英語 |
| EO | エスペラント語 |
| ES | スペイン語 |
| ET | エストニア語 |
| EU | バスク語 |
| FA | ペルシャ語 |
| FI | フィンランド語 |
| FJ | フィジー語 |
| FO | フェロー語 |
| FR | フランス語 |

| 記号 | 言語名 |
|---|---|
| FY | フリジア語 |
| GA | アイルランド語 |
| GD | スコットランドゲール語 |
| GL | ガルシア語 |
| GN | グアラニ語 |
| GU | グジャラート語 |
| HA | ハウサ語 |
| HI | ヒンディ語 |
| HR | クロアチア語 |
| HU | ハンガリー語 |
| HY | アルメニア語 |
| IA | 国際語 |
| IE | 国際語 |
| IK | イヌピック語 |
| IN | インドネシア語 |
| IS | アイスランド語 |
| IT | イタリア語 |
| IW | ヘブライ語 |
| JA | 日本語 |
| JI | イディッシュ語 |
| JW | ジャワ語 |
| KA | グルジア語 |
| KK | カザフ語 |
| KL | グリーンランド語 |
| KM | カンボジア語 |
| KN | カンナダ語 |
| KO | 韓国語 |
| KS | カシミール語 |
| KU | クルド語 |
| KY | キルギス語 |
| LA | ラテン語 |
| LN | リンガラ語 |
| LO | ラオス語 |
| LT | リトアニア語 |

| 記号 | 言語名 |
|---|---|
| LV | ラドビア語、レット語 |
| MG | マダガスカル語 |
| MI | マオリ語 |
| MK | マケドニア語 |
| ML | マラヤーラム語 |
| MN | モンゴル語 |
| MO | モルダビア語 |
| MR | マラータ語 |
| MS | マレー語 |
| MT | マルタ語 |
| MY | ミャンマー語 |
| NA | ナウル語 |
| NE | ネパール語 |
| NL | オランダ語 |
| NO | ノルウエー語 |
| OC | プロバンス語 |
| OM | アファン語（オロモ語） |
| OR | オリヤー語 |
| PA | パンジャブ語 |
| PL | ポーランド語 |
| PS | パシュトー語 |
| PT | ポルトガル語 |
| QU | ケチュア語 |
| RM | ラエティ＝ロマン語 |
| RN | キルンディ語 |
| RO | ルーマニア語 |
| RU | ロシア語 |
| RW | キニャルワンダ語 |
| SA | サンスクリット語 |
| SD | シンド語 |
| SG | サンゴ語 |
| SH | セルビアクロアチア語 |
| SI | シンハラ語 |
| SK | スロバキア語 |

| 記号 | 言語名 |
|---|---|
| SL | スロベニア語 |
| SM | サモア語 |
| SN | ショナ語 |
| SO | ソマリ語 |
| SQ | アルバニア語 |
| SR | セルビア語 |
| SS | シスワティ語 |
| ST | セストゥ語 |
| SU | スンダ語 |
| SV | スウェーデン語 |
| SW | スワヒリ語 |
| TA | タミール語 |
| TE | テルグ語 |
| TG | タジク語 |
| TH | タイ語 |
| TI | ティグリニャ語 |
| TK | トゥルクメン語 |
| TL | タガログ語 |
| TN | セツワナ語 |
| TO | トンガ語 |
| TR | トルコ語 |
| TS | ツォンガ語 |
| TT | タタール語 |
| TW | トウィ語 |
| UK | ウクライナ語 |
| UR | ウルドゥ語 |
| UZ | ウズベク語 |
| VI | ベトナム語 |
| VO | ボラピュク語 |
| WO | ウォロフ語 |
| XH | コーサ語 |
| YO | ヨルバ語 |
| ZH | 中国語 |
| ZU | ズール語 |

# 録音する前に、知っておいていただきたいこと

## ■ 試し録音について

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
（CD から MD に試し録音するときは、定速で録音してください。）
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

## ■ 音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（☞ P.88）

## ■ MD の誤消去防止について

**MDに録音や編集をするときは、誤消去防止用ツマミが閉じていることを確かめてください。**

**録音が終わったあとは、大切な録音を誤って消さないために、誤消去防止用ツマミを開いておくことをおすすめします。**

### ご注意

**テレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くでは、録音しないでください。録音に雑音が入ることがあります。**

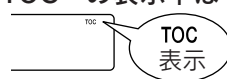
そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してお使いください。

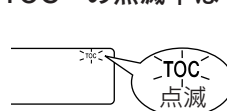
### お知らせ

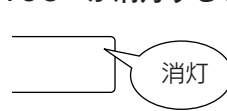
- ２倍・４倍長時間録音（LP2・LP4）をした曲は、２倍・４倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。対応していない機器で再生すると、“NOT AUDIO（ノット オーディオ）”が表示され、無音状態となります。
（機器によっては、表示や動作の内容が異なる場合があります。）
- CD のキズ、汚れや記録状態により、４倍速で録音した MD に音切れや雑音が生じることがあります。このときは、定速で録音してください。
- 録音中に、音量・音質（プリセットイコライザー）・重低音を調整しても、録音には影響ありません。
- サラウンドの設定が「入」になっていても録音には影響ありませんが、3D バーチャルサラウンドの設定内容（☞ P.19）は、録音に影響します。
- 録音中、本体に衝撃や振動を与えないでください。音とびを起こす原因となります。
- MD に録音をする前に日付・時刻を合わせておくと、録音した日時が記録されます。（録音中に、日付・時刻を合わせても、録音日時は記録されません。）
- 再生専用 MD（市販の音楽ソフト）には録音できません。

## ■ TOC（トック）（Table of Contents）について

TOC とは、曲番や音声を認識するための目次情報です。
再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、この TOC で MD 全体を管理しているからです。
録音や編集をすると、画面に“TOC（トック）”が表示されます。

**“TOC（トック）”の表示中は…**

録音や編集によって、TOC の情報が変更されたことを表しています。
**この時点では、録音や編集した情報は MD には記録されていません。**

**“TOC（トック）”の点滅中は…**

録音や編集した情報を MD に記録中です。
**TOCは次のようなときに記録されます。**
- ・録音を停止したとき
- ・入力を切り換えたとき
- ・MD を取り出したとき
- ・電源を切ったとき

**“TOC（トック）”が消灯すると…**

**録音や編集した情報が MD に記録されました。**

### ご注意

“TOC（トック）”が表示中または点滅中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。録音や編集した情報が記録されません。

## ■ MD の４倍長時間録音（LP4）についてのご注意

**４倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。音質を重視する録音を行うときには、ステレオ録音（SP）または２倍長時間録音（LP2）をおすすめします。**

# CDの1曲目から順番に録音する（ワンタッチエディット）

↓

## 録音の準備

① 電源を入れる。
② 録音したいCDを入れる。
③ 録音用MDを入れる。

## 1 [DVD/CD ■] を押す。

入力が「CD」になります。

## 2 [オートマーク 録音モード] を押して、録音モードを選ぶ。

押すたびに切り換わります。

| 表示 | 録音モード | 録音時間（80分のMDの場合） |
|---|---|---|
| SP | ステレオ録音 | 最大80分 |
| LP2 | 2倍長時間録音（ステレオ） | 最大160分 |
| LP4 | 4倍長時間録音（ステレオ） | 最大320分 |
| MONO | モノラル録音 | 最大160分 |

録音中は切り換えができません。
録音モードの設定は、次に変更するまで変わりません。

## 3 録音を開始する。

### 4倍速で録音するには

[シフト] を押したまま [4倍速 CD ► MD] を押す。

CD→MD HIGH

### 定速で録音するには

[4倍速 CD ► MD] を押す。

CD→MD NORM.

- 録音はデジタル録音になります。
- 録音が終わるとCDとMDは停止します。

録音できない曲があるときは

## ■ 録音を停止するには

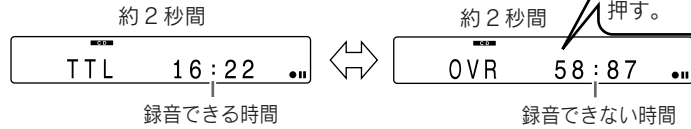
［DVD/CD ■］または［MD ■］を押す。

CDとMDが停止したあと、MDに曲番を書き込みます。
録音中に一時停止することはできません。

## ■ 録音レベルを調整したいときは

上の操作2のあとに、「**録音レベルの調整について**」の操作①〜④をしてください。（☞ P.46）

## CDの全曲がMDに録音できないときは

次のように表示されて、録音が始まりません。

**録音できる曲だけ録音するとき**

**4倍速**
[シフト]を押したまま[4倍速]を押す。

**定速**
[CD ▶ MD]を押す。

**録音しないとき**
[DVD/CD ■]を押す。

## CDをアナログ録音するには

CD-R/CD-RWディスクからMDへ録音するときに、"Can't COPY"（キャント コピー）と表示されることがあります。これは著作権保護を目的として、デジタル録音を制限するものです。そのときは、次のように録音してください。

1. [DVD/CD ■]を押す。
2. [録音モード]を押して、録音モードを選ぶ。
3. [録音モード]を2秒以上押して、"ANALOG REC"（アナログ レコード）を点灯させる。
   （アナログ録音）
   ANALOG REC
4. [CD ▶ MD]を押して、録音を開始する。
   4倍速で録音することはできません。

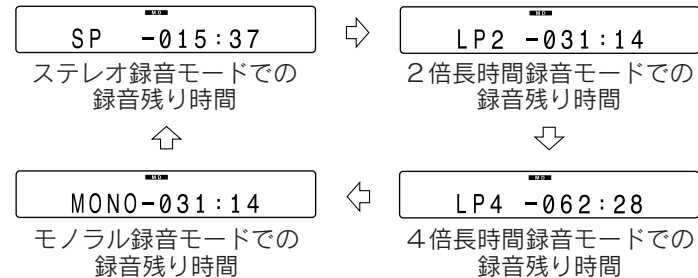
**お知らせ**
「CD」から他の入力に切り換えたり、電源を切ると、録音の設定はデジタルに戻ります。

## ■ 表示を切り換える

**録音中に、［本体表示］を押すたびに切り換わります。**

レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。

## ■ 録音モードや録音残り時間を確かめる

**停止中に、入力をMDにして、［録音モード］をくり返し押す。**

- 録音残り時間を表示したあと、もとの表示に戻ります。
- 次に録音を開始するときは、ここで確認したモードで録音を開始します。

# CD の途中の曲から録音する（シンクロ録音）



CD の途中の曲を選んで、その曲以降を MD に録音することができます。

❶ CDとMDを入れて…
DVD/CD ■ を押して、入力を「CD」にする。

❷ S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の一時停止状態にする。

❸ オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。

❹ 1 ～ 0 を押して、録音したい曲番を選ぶ。

❺ 決定 を押して、録音を開始する。
CD の再生が終わると、MD も停止し、録音の一時停止状態になります。

## 録音を停止するには

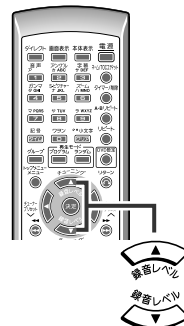
[MD ■]を押す。

## ■ 録音レベルの調整について

CD の音声レベルが低いときや、高いときは、録音をする前に録音レベルを調整することができます。録音の一時停止状態にする前に、以下の操作をしてください。

① DVD/CD ▶ を押して、録音したい曲を再生する。

② S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の一時停止状態にする。

③ ▲ または ▼ を押して、録音レベルを調整する。

- 最も大きなレベルで “0dB” をこえないようにします。
- 録音レベルは－ 4dB から＋ 10dB まで、2dBステップで調整することができます。

④ DVD/CD ■ を 2 回押して、CD を停止する。

このあと、S-シンクロ録音 ●録音 を押す必要はありません。
（操作❸～❺をしてください。）

## ■ 曲番について

CD から録音したときは、CD と同じ位置に曲番がつきます。

| | 1曲目 | 2曲目 | 3曲目 |
|---|---|---|---|
| CD | A曲 | B曲 | C曲 |
| 録音されたMD | A曲 | B曲 | C曲 |

CDによっては、CDの曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

## ■ 録音中に自分で曲番をつけるには

S-シンクロ録音 ●録音 を押すと、好きな所で曲番をつけることができます。
（曲番をつけたあと、約４秒間は次の曲番をつけることができません。）

# ＣＤの好きな曲だけを録音する（マイトラックエディット）



CDの好きな曲だけを登録して、登録した順番に録音することができます。

CDを入れて選曲

| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | E曲 |
|---|---|---|---|---|

1 A曲を登録　2 C曲を登録　3 E曲を登録

録音後のMD

| 1 A曲 | 2 C曲 | 3 E曲 |
|---|---|---|

選んだ曲順に録音されます。

**1** CD と MD を入れて…

**[DVD/CD ■] を押して、入力を「CD」にする。**

**2** **[オートマーク 録音モード] を押して、録音モードを選ぶ。**

**3** **[⏮] または [⏭] を押して、曲番を選ぶ。**

**4** **[T-ポジション トラック] を押して、曲番を登録する。**

T-EDIT 点灯

3♪　4：12

登録した曲番

**5** **3～4の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。**

24 曲まで登録できます。
25 曲以上選曲すると、“EDIT OVER”（エディット オーバー）が表示され、その曲は登録されません。

**6** **[4倍速 CD ► MD] を押して、録音を開始する。**

全曲録音できないときは、“OVR”（オーバー）が表示され録音は始まりません。（☞ P.45）

**録音が終わると、CD と MD は停止して、曲の登録は消えます。**

## ■ CD を聞きながら登録するには

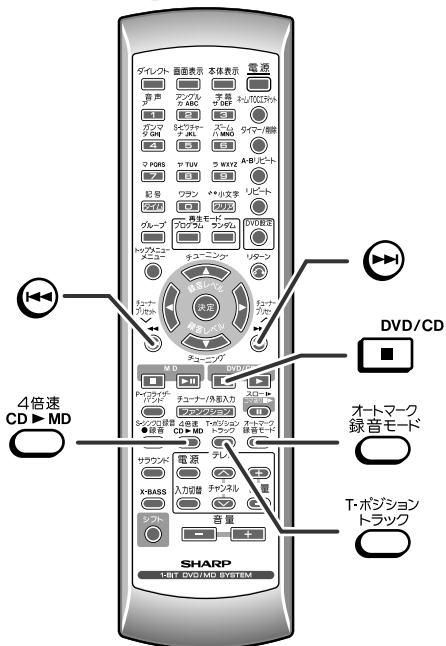
1. CD を再生中に録音したい曲がでてきたら、[トラック]を押す。
   曲が登録されます。（24 曲まで登録できます。）
2. 登録が終わったら、[DVD/CD ■]を押して、再生を止める。
3. [CD ► MD]を押して、録音を開始する。

## ■ 録音を開始する前に曲の登録を取り消すには

**1 曲ずつ消すときは:**
消したい曲を選んで、[トラック]を押す。
（曲番の“♪”マークを消灯させます。）

**全曲消すときは:**
停止中に、[DVD/CD ■]を押す。

**お知らせ ...................**

- マイトラックエディットで録音するときは、4 倍速で録音することはできません。
- マイトラックエディットで選曲をしているときは、「CD」から他の入力に切り換えることができません。他の入力にしたいときは、選曲を解除してください。
- プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、マイトラックエディットは使用できません。プログラム再生やランダム再生を解除してください。
- リピート再生を設定しているときに、マイトラックエディットを使用すると、録音中はリピート再生が解除されます。

# ラジオ放送を録音する

↓
## 録音の準備

① 電源を入れる。
② 録音用 MD を入れる。
③ 録音したい放送局を受信する。

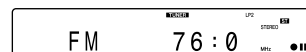
**1** S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の一時停止状態にする。

FM 76:0

**2** オートマーク録音モード を押して、録音モードを選ぶ。

FM 76:0

**3** MD ►II を押して、録音を開始する。

FM 76:0

MD の録音残り時間がなくなると、MD は停止します。

録音を始める前に…

シフト を押したまま オートマーク録音モード を押して、曲番のつきかたを変えることができます。

A.MARK OFF ⇨ T.MARK-5 ⇨ T.MARK-10

はじめは、"A.MARK OFF"（オート マーク オフ）に設定されています。（☞ P.49）

## 曲番のつけかたの設定について（オートマーク）

シフト ＋ オートマーク 録音モード で、曲番のつけかたを選ぶことができます。

A.MARK OFF

1回の録音がひと続きの曲として録音されます。

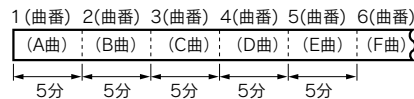
**録音を停止したり、一時停止すると、次に録音を再開したときは、曲番が1つ増えます。**

| | 1（曲番） | 2（曲番） | 3（曲番） |
|---|---|---|---|
| ラジオ放送 | A曲 | B曲 | C曲 |
| 録音されたMD | （A曲） | （B曲） | （C曲） |

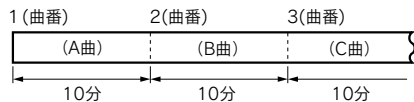
（録音されたMD：1（曲番））

T.MARK-5

録音が始まって、5分おきに曲番がつきます。

| 1（曲番） | 2（曲番） | 3（曲番） | 4（曲番） | 5（曲番） | 6（曲番） |
|---|---|---|---|---|---|
| （A曲） | （B曲） | （C曲） | （D曲） | （E曲） | （F曲） |
| 5分 | 5分 | 5分 | 5分 | 5分 | |

T.MARK-10

録音が始まって、10分おきに曲番がつきます。

| 1（曲番） | 2（曲番） | 3（曲番） |
|---|---|---|
| （A曲） | （B曲） | （C曲） |
| 10分 | 10分 | 10分 |

## ■ 録音を一時停止するには

**録音中に、［MD ▶II］を押す。**

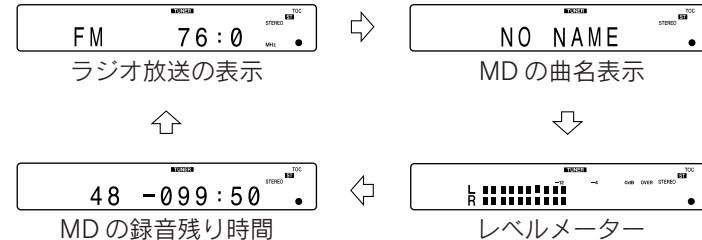
もう一度押すと、録音を再開します。

## ■ 録音を停止するには

**録音中に、［MD ■］を押す。**

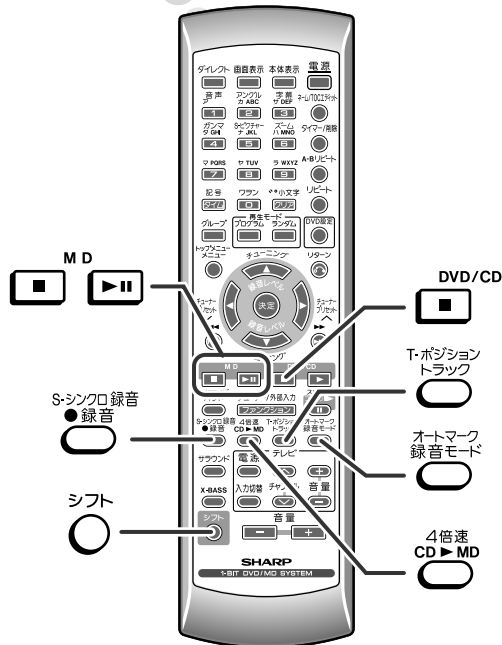
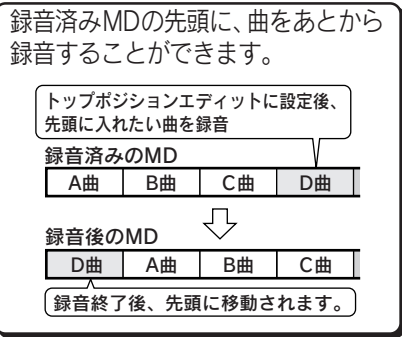
MDが停止したあと、MDに曲番を書き込みます。

## ■ 表示を切り換える

**録音中に、［本体表示］を押すたびに切り換わります。**

レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。

お知らせ

- オートマークによる5分おき、10分おきの曲番は、正確な時間につかないことがあります。
- **オートマークの設定に関係なく、録音中に[● 録音]を押すと、好きな所で曲番をつけることができます。（曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。）**
- AM放送を録音するときは、録音の一時停止中に、AMアンテナを本体から離して、AM放送が最も きれいに聞こえるように調整しておいてください。
- ラジオ放送から録音するときは、録音レベルの調整はできません。

# 録音済みMDの先頭に録音する（トップポジションエディット）



| CDから録音するとき | ラジオ放送から録音するとき |
|---|---|
| **1** CDとMDを入れて…<br>DVD/CD [■] を押す。 | 録音したい放送局を受信して、録音用MDを入れる。 |

**2** シフト ◯ を押したまま
T-ポジション トラック を押す。

12　54:09　点灯

もう一度押すと、トップポジションエディットの設定が解除されます。

**3** S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の一時停止状態にする。

**4** オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。

**5** 録音を開始する。

| 4倍速 | 定速 | |
|---|---|---|
| シフト ◯ を押したまま 4倍速 CD▶MD を押す。 | 4倍速 CD▶MD を押す。 | MD [▶II] を押す。 |

全曲録音できないときは、“OVR（オーバー）”が表示され録音は始まりません。
（☞ P.45）

録音が終わったら MD [■] を押して、停止させてください。

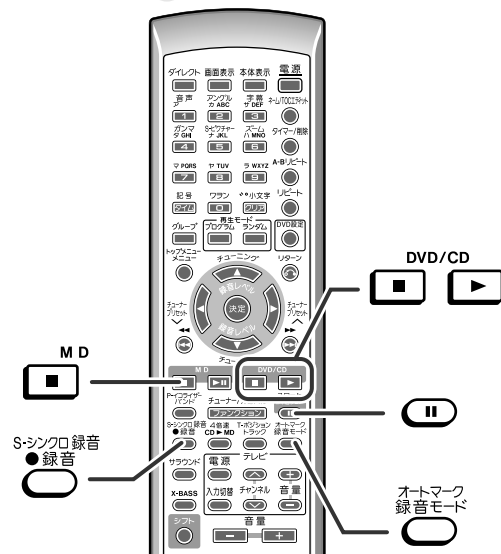
**録音が終わると、トップポジションエディットの設定は解除されます。**

録音した内容はMDの先頭の曲番となり、以前に録音済みの内容は、今録音した曲以降の曲番に移動します。

**お知らせ**
- 録音中や録音の一時停止状態では、トップポジションエディットの設定や解除はできません。
- グループにしたMDでは、グループモードを解除していても、[シフト] を押したまま [T-ポジション] を押すと、自動的にグループモードになります。

# DVDの音声を録音する

**録音を始める前に**
ドルビーデジタル音声が記録されているDVDから録音するときは、一度DVDを再生して、3Dバーチャルサラウンド(☞ P.19)の設定内容を確かめてください。

“SURROUND”が表示されていると、3Dバーチャルサラウンドの効果音が録音されます。
(録音中は、3Dバーチャルサラウンドの設定を切り換えることはできません。)



## ■ DVDの再生音を録音する

**1** DVDとMDを入れて…
DVD/CD [■] **を押す。**
オートプレイのDVDを入れたときは、再生が始まります。そのときは、停止してください。

**2** **録音レベルを調整する。**
(☞ P.46)

**3** S-シンクロ録音 ●録音 **を押して、録音の一時停止状態にする。**

**4** オートマーク 録音モード **を押して、録音モードを選ぶ。**

**5** DVD/CD [▶] **を押して、DVDを再生する。**

- 録音が始まります。(録音はアナログ録音になります。)
- MDの録音残り時間がなくなると、MDは自動的に停止します。

## ■ 録音を一時停止するには

**[II]を押す。**

ふたたび録音を始めるには…
**[DVD/CD ▶]を押す。**

## ■ 録音を停止するには

**[MD ■]を押す。**

## ■ 好きなチャプターだけを録音するときは(プログラム録音)

① **録音したいチャプターをプログラムする。**
好きなチャプター順でプログラムするときは(☞ P.32:操作❶〜❸)

② **録音の操作をする。**
(操作❷〜❺)

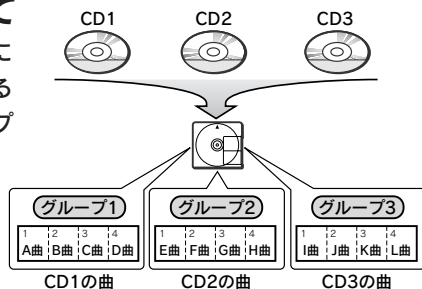
## ■ 録音中に自分で曲番をつけるには

曲番をつけたい位置で…**[● 録音]を押す。**

曲番が1つ増えて、録音はそのまま続きます。
曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。

# グループ録音・再生について

## ■ グループ録音について

**歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音（最大99グループ）することができます。そのMDは、グループを選んで再生することができます。**

### グループモードを設定して録音すると…

| グループ1 | | | | グループ2 | | | | グループ3 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | E曲 | F曲 | G曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K曲 | L曲 |

グループごとに曲番が1から始まります。

### グループモードを解除して録音すると…

| ディスク名 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | E曲 | F曲 | G曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K曲 | L曲 |

連続した曲番になります。

### お知らせ

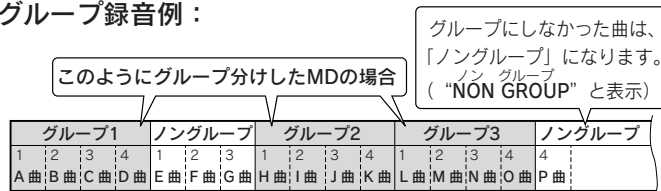
- グループ録音したMDを他の機器で録音、または編集したあとに、この製品でグループ録音の操作をすると、“? Gr Form.”（グループ フォーム）のあと“NewForm.OK?”（ニュー フォーム）と表示されることがあります。その場合、ディスク名を消さないとグループ録音ができませんので“NewForm.OK?”（ニュー フォーム）と表示中に[決定]を押してください。（ディスク名が消去されます。）

  **ディスク名を消したくないときは：**
  [MD ■]を押して、録音を停止してください。

- グループ録音したMDを他の機器で録音または編集すると正しく動作しないことがあります。
- 他の機器でグループ録音したMDをこの製品で使用すると、正しく動作しないことがあります。

## ■ グループ再生について

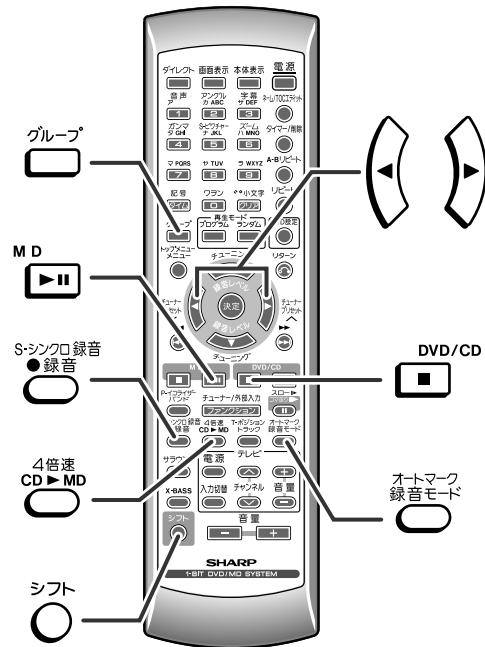
グループ録音されたMDを使用すると、設定されたアルバムごとやアーチストごとなど、好みのグループ別に再生することができます。

### グループ録音例：

### グループモードに設定したとき（“GROUP”（グループ）が点灯）

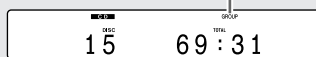
グループごとに曲番が1から始まります。
グループを選んで再生することができます。

### グループモードを解除したとき（“GROUP”（グループ）が消灯）

連続した曲番になります。

# グループに分けて録音する

## ■ CDからMDへグループ録音する

**1** 電源を入れて…
再生するCDと、録音用MDを入れる。

**2** [DVD/CD ■] を押して、入力を「CD」にする。

**3** [オートマーク 録音モード] を押して、録音モードを選ぶ。

**4** [グループ] を押して、"GROUP(グループ)" を点灯させる。

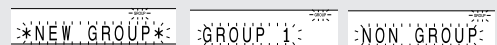
点灯
CD 15 GROUP 69:31

**5**

| 4倍速 | 定速 |
|---|---|
| [シフト] を押したまま [4倍速 CD ► MD] を押す。 | [4倍速 CD ► MD] を押す。 |

**6** [グループ] を押して、録音したいグループを選ぶ。

| 新しいグループにするとき | すでにあるグループに追加したいとき | グループにしないとき |
|---|---|---|
| *NEW GROUP* | GROUP 1 | NON GROUP |

[◀] または [▶] を押しても、選ぶことができます。

**7** 録音を開始する。

| [シフト] を押したまま [4倍速 CD ► MD] をもう一度押す。 | [4倍速 CD ► MD] をもう一度押す。 |
|---|---|

全曲録音できないときは、"OVR(オーバー)" が表示され録音は始まりません。(☞ P.45)

## ■ ラジオ放送をMDへグループ録音する

**1** 電源を入れて…
録音用MDを入れる。

**2** 録音したい放送局を受信する。
(☞ P.26)

**3** [オートマーク 録音モード] を押して、録音モードを選ぶ。

**4** [シフト] を押したまま [オートマーク 録音モード] を押して、曲番のつきかたを設定する。

**5** [グループ] を押して、"GROUP(グループ)" を点灯させる。

**6** [S-シンクロ録音 ●録音] を押して、録音の一時停止状態にする。

**7** [グループ] を押して、録音したいグループを選ぶ。
[◀] または [▶] を押しても、選ぶことができます。

**8** [MD ►II] を押して、録音を開始する。
MDの録音残り時間がなくなると、MDは停止します。

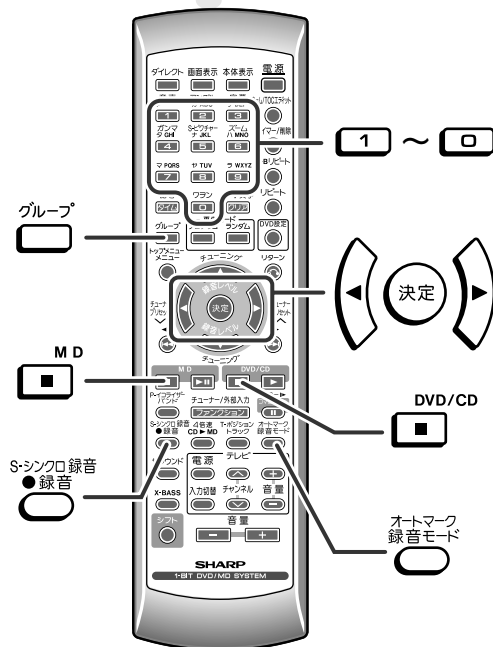
**お知らせ**
グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

# いろいろなグループ録音のしかた



CDの途中の曲を選んで、その曲以降をグループ録音することができます。

| CD | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | J曲 | K曲 | L曲 | M曲 | N曲 | O曲 | P曲 | Q曲 | R曲 | S曲 | T曲 |

| MD | グループ1 | | | | グループ2 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | P曲 | Q曲 | R曲 | S曲 | T曲 |

## ■ CDの途中の曲からグループ録音する

（シンクロ録音）

❶ CDとMDを入れて…
[DVD/CD ■]を押して、入力を「CD」にする。

❷ [グループ]を押して、“GROUP（グループ）”を点灯させる。

❸ 録音レベルを調整する。（☞ P.46）

❹ [S-シンクロ録音 ●録音]を押して、録音の一時停止状態にする。

❺ [オートマーク 録音モード]を押して、録音モードを選ぶ。

❻ [グループ]を押して、録音したいグループを選ぶ。
［◀］または［▶］を押しても、選ぶことができます。

❼ [1]～[0]を押して、録音したい曲番を選ぶ。

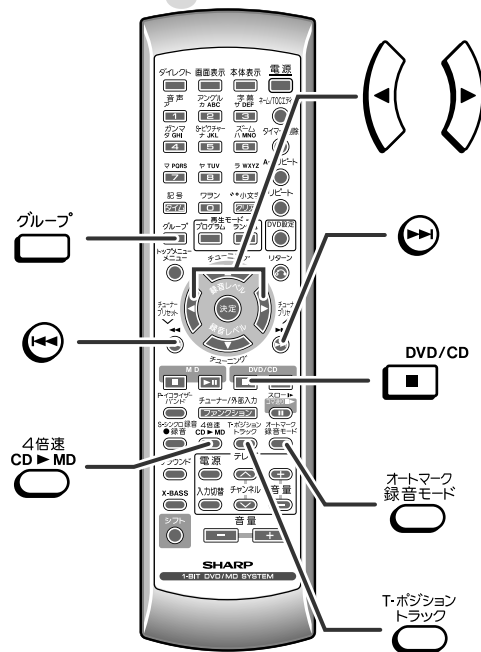
❽ [決定]を押して、録音を開始する。
CDの再生が終わると、MDも停止し、録音の一時停止状態になります。

### 録音を停止するには

［MD ■］を押す。

**お知らせ…………………**

グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

CDの好きな曲だけを登録して、登録した順番でグループに録音することができます。

## ■ CDの好きな曲だけをグループ録音する

（マイトラックエディット）

1. CDとMDを入れて…
   DVD/CD を押して、入力を「CD」にする。
2. グループ を押して、“GROUP（グループ）”を点灯させる。
3. オートマーク録音モード を押して、録音モードを選ぶ。
4. ⏮または⏭を押して、曲番を選ぶ。
5. T-ポジショントラック を押して、曲番を登録する。
   （表示：3♪ 4:12　T-EDIT 点灯　登録した曲番）
6. 4～5の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。
   24曲まで登録できます。25曲以上選曲すると、“EDIT OVER（エディット オーバー）”が表示され、その曲は登録されません。
7. 4倍速 CD ▶ MD を押す。
8. グループ を押して、録音したいグループを選ぶ。
   ［◀］または［▶］を押しても、選ぶことができます。
9. 4倍速 CD ▶ MD をもう一度押して、録音を開始する。
   全曲録音できないときは、“OVR（オーバー）”が表示され録音は始まりません。（☞ P.45）

録音が終わると、曲の登録は消えます。

### ■録音を開始する前に曲の登録を取り消すには

**1曲ずつ消すときは：**
消したい曲を選んで［トラック］を押す。
（曲番の“♪”マークを消灯させます。）

**全曲を消すときは：**
停止中に、［DVD/CD ■］を押す。

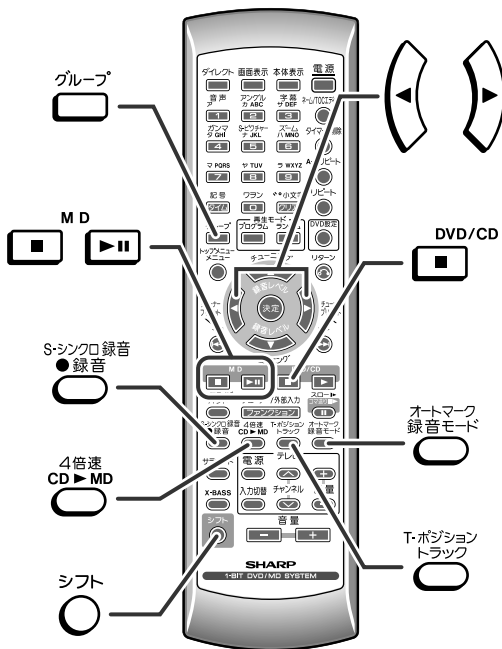
**お知らせ**

- マイトラックエディットで録音するときは、4倍速で録音することはできません。
- グループを99個以上作ったときは、マイトラックエディットでのグループ録音はできません。
  ノングループへの録音となります。
- グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

# いろいろなグループ録音のしかた（続き）

グループ録音した MD のときは、グループの先頭に曲をあとから録音することができます。

CDやラジオ放送　指定した曲
J曲 K曲 L曲 M曲 N曲 O曲 P曲 Q曲 R曲 S曲 T曲

録音後のMD
グループ1 | グループ2 | グルー
A曲 B曲 C曲 D曲 Q曲 H曲 I曲 J曲 K曲 L曲 M曲

## ■ グループの先頭に録音する

（トップポジションエディット）

**CD から録音するとき** / **ラジオ放送から録音するとき**

1. CD と MD を入れて…
   [DVD/CD ■] を押す。
   ／ 録音したい放送局を受信して、録音用 MD を入れる。
2. [グループ] を押して、“GROUP”を点灯させる。
3. [シフト] を押したまま [T-ポジション トラック] を押す。
   12　54：09　点灯
4. [S-シンクロ 録音 ●録音] を押して、録音の一時停止状態にする。
5. [オートマーク 録音モード] を押して、録音モードを選ぶ。
6. [グループ] を押して、録音したいグループを選ぶ。
   ［◀］または［▶］を押しても、選ぶことができます。
7. 録音を開始する。

**4 倍速**
[シフト] を押したまま [4倍速 CD ► MD] を押す。

**定速**
[4倍速 CD ► MD] を押す。

全曲録音できないときは、“OVR”が表示され録音は始まりません。
（☞ P.45）

**ラジオ放送から録音するとき**
[MD ►II] を押す。

録音が終わったら [MD ■] を押して、停止させてください。

**録音が終わると、トップポジションエディットの設定は解除されます。**
録音した内容は、選んだグループの先頭の曲番となります。

お知らせ
- 録音中や録音の一時停止状態では、トップポジションエディットの設定や解除はできません。
- グループを99個以上作ったときは、トップポジションエディットでのグループ録音はできません。
- トップポジションエディットでノングループは選べません。
- グループにした MD では、グループモードを解除していても、[シフト] を押したまま [T-ポジション] を押すと、自動的にグループモードになります。
- グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

## ■ DVDの再生音をグループ録音する

❶ DVDとMDを入れて…
DVD/CD [■] を押して、入力を「DVD」にする。
オートプレイのDVDを入れたときは、再生が始まります。
そのときは、停止してください。

❷ グループ を押して、"GROUP"(グループ)を点灯させる。

❸ 録音レベルを調整する。(☞ P.46)

❹ S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の一時停止状態にする。

❺ オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。

❻ グループ を押して、録音したいグループを選ぶ。
[◀] または [▶] を押しても、選ぶことができます。

❼ DVD/CD [▶] を押して、DVDを再生する。
- 録音が始まります。(録音はアナログ録音になります。)
- MDの録音残り時間がなくなると、MDは自動的に停止します。

## ■ 録音を一時停止するには

[❚❚] を押す。

ふたたび録音を始めるには…
[DVD/CD ▶] を押す。

## ■ 録音を停止するには

[MD ■] を押す。

## ■ 好きなチャプターだけをグループ録音するときは

(グループプログラム録音)

① 録音したいチャプターをプログラムする。
好きなチャプター順でプログラムするときは (☞ P.32:操作❶〜❸)

② 録音の操作をする。
(操作❷〜❼)

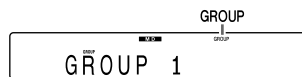
お知らせ……
グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

# グループ録音したMDを聞く



グループ録音したMDを使用すると、設定されたアルバムやアーチストなど、好みのグループ別に再生することができます。
**グループ録音したMDを聞く前に、MD ■を押してください。**

## ■ 聞きたいグループを選んで聞く

**❶ グループ録音したMDを入れる。**

GROUP 1

自動的にグループモードになり、最初のグループを表示します。

**❷ グループ をくり返し押して、聞きたいグループを選ぶ。**

［◀］または［▶］を押しても選ぶことができます。

**❸ MD ►II を押して、再生を始める。**

選んだグループの1曲目から再生が始まります。

**お知らせ**
MDのプログラム選曲をしているときは、グループモードに設定することができません。

## ■ グループモードを解除して聞く

**❶ 停止中に、グループ をくり返し押して、"GROUP"（グループ）を消灯させる。**

MD ■ を2秒以上押しても消灯できます。

**❷ MD ►II を押して、再生を始める。**

MDの1曲目から再生が始まります。

## ■ 聞きたい曲から聞く

**❶「聞きたいグループを選んで聞く」の操作❶～❷を行う。**

**❷ 1 ～ 0 で聞きたい曲番を指定し、MD ►II を押す。**

選んだグループの指定した曲から再生が始まります。

## ■ くり返して聞く

**❶ リピート を押して、再生モードを選ぶ。**

| | |
|---|---|
| **ノーマル再生** "NORMAL"（ノーマル） | グループ順に全曲を再生したあと、停止します。 |
| **1曲リピート再生** "1-REPEAT"（リピート） | 1曲をくり返し再生します。 |
| **全曲リピート再生** "REPEAT"（リピート） | グループ順に全曲再生をくり返します。 |

**❷ MD ►II を押して、再生を開始する。**

## ■ 順不同で聞く

**❶ ランダム を押して、"RANDOM"（ランダム）を点灯させる。**

グループ内で順不同に再生し、グループ内を全曲再生した後は次のグループを順不同に再生します。MD内の全曲を再生後停止します。

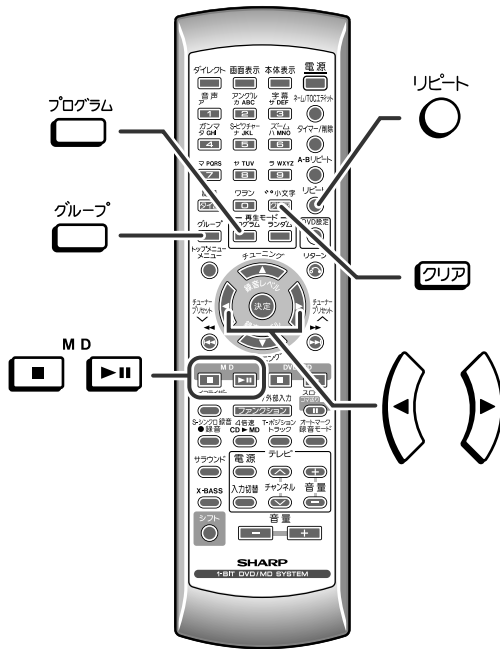
**❷ MD ►II を押して、再生を開始する。**

# 好きなグループだけを記憶させて聞く（グループプログラム選曲）





グループ録音されたMDでは、好きなグループを好きな順に再生することができます。
（最大10グループ）

❶ MD ■ を押す。

❷ グループ録音したMDを入れる。

表示部に"GROUP"が点灯していないときは、点灯させてください。（☞ P.58）

❸ プログラム を押す。

Gr PROGRAM

❹ グループ をくり返し押して、聞きたいグループを選ぶ。

［◀］または［▶］を押しても選ぶことができます。

GROUP 1

グループ名

❺ プログラム を押して、登録する。

❻ ❹～❺の操作をくり返し、聞きたいグループを順に指定する。

❼ MD ▶II を押して、再生を開始する。

登録されたグループの曲をすべて再生すると、停止します。

MDを取り出すまで、グループプログラムの登録は覚えています。

■ 登録内容を追加するには

❶～❻の操作をします。前に選んでいるグループのあとに、追加されます。

■ 登録を途中で止めるには

［MD ■］を押してください。

■ 登録を取り消すには

停止中に、［クリア］を押します。

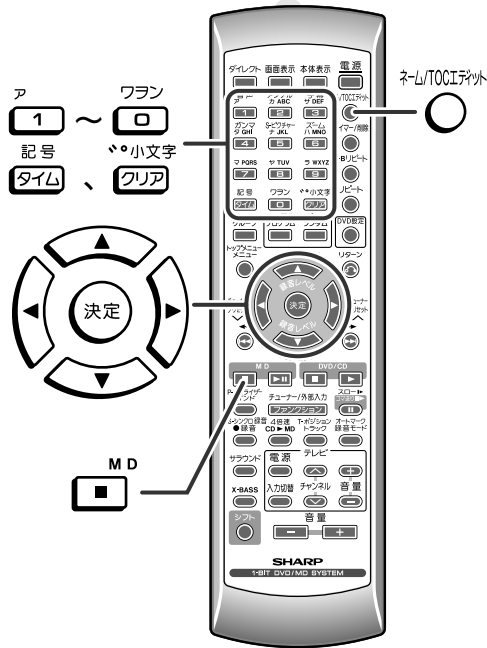
お知らせ

- 再生中や一時停止中にはグループプログラムの登録をしたり、取り消すことはできません。
- グループプログラムの設定は、録音操作をすると解除されます。
- グループプログラムの登録をしているときは、グループモードを解除することはできません。グループモードを解除するときは、グループプログラムの登録を取り消してください。
- グループプログラムの登録をしたあとに、［リピート］を押して、"REPEAT"に設定すると、聞きたいグループだけをくり返して聞くことができます。
- グループプログラムの登録をしたときは、ランダム再生することはできません。

# 録音したMDにタイトルをつける





録音したMDには、お好みのディスク名やグループ名、曲名をつけることができます。

## ディスク名をつける（ディスクネーム）

**準備** 録音済みのMDを入れる

❶ MD[■]を押す。

❷ ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。

❸ 10秒以内に…[▲]または[▼]を押して、"DISC NAME"（ディスク ネーム）を選ぶ。

DISC NAME

❹ 10秒以内に…

（決定）を押す。

文字入力の画面

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❺ ア[1]～ワヲン[0]、記号[タイム]、小文字[クリア]、[▲]または[▼]を使って、文字を入力する。

❻ 入力が終われば…

（決定）を押す。

ベストヒットA

ディスク名が記録されます。

- グループ録音したMDは、グループモードが解除されると"GROUP DISC"（グループ ディスク）が表示されて、編集操作ができません。グループモードを設定して、操作してください。
- プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。設定を解除してから操作してください。

## 文字入力のしかた

① **文字の種類を選ぶ。**

- カタカナ⇔英数字の切り換え：
  [▲] または [▼] を押す。

カナ ⇔ 英数

- 英数字の大文字⇔小文字の切り換え：
  [゛゜小文字] を押す。

② **文字を入力する。**

- [文字入力ボタン] を押す回数によって、表示される文字が切り換わります。
- カーソルを移動するときは、[◀] または [▶] を押します。

**（例）「ヒットA」と入力するときは**

1. [▲] または [▼] を押し、カタカナ入力モードにする。
2. [6] [6] ………………………… （ヒ）
3. [4] [4] [4] [4] [4] [4] ……（ッ）
4. [▶] を押して、一文字移動する。
5. [4] [4] [4] [4] [4] ………… （ト）
6. [▲] または [▼] を押し、英数入力モードにする。
7. [2] ………………………………… (A)

**お知らせ**

- 名前に " / " を連続してつけることはできません。
- 名前の先頭に "LP:" を入力すると、"LP:" が表示されないことがあります。（☞ P.83）
- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。

## ■ リモコンで入力できる文字の種類

| 文字入力ボタン | カタカナモード | 英数大文字モード | 英数小文字モード |
|---|---|---|---|
| 1 | アイウエオ ァィゥェォ | 1 | 1 |
| 2 | カキクケコ | ABC 2 | abc 2 |
| 3 | サシスセソ | DEF 3 | def 3 |
| 4 | タチツテト ッ | GHI 4 | ghi 4 |
| 5 | ナニヌネノ | JKL 5 | jkl 5 |
| 6 | ハヒフヘホ | MNO 6 | mno 6 |
| 7 | マミムメモ | PQRS 7 | pqrs 7 |
| 8 | ヤユヨ ャュョ | TUV 8 | tuv 8 |
| 9 | ラリルレロ | WXYZ 9 | wxyz 9 |
| 0 | ワヲン | 0 スペース | 0 スペース |
| ゛゜小文字 クリア | ゛ ゜ スペース | アルファベットの大文字/小文字の切換え（数字の大きさは変わりません。） | |
| 記号 タイム | – . , / : ? & ( ) ! " # $ % * ; < = > @ _ ` + ' (スペース) | | |

**文字を削除するとき：**

① 文字入力画面にする。
② [◀] または [▶] を押して、削除したい文字を選ぶ。
③ [タイマー / 削除] を押す。
④ [決定] を押す。

**文字を追加入力するとき：**

① 文字入力画面にする。
② [◀] または [▶] を押して、追加したい位置の文字を選ぶ。
③ 文字を入力する。
もとの文字が 1 文字ずつ右に移動します。
④ [決定] を押す。

## グループ名をつける（グループネーム）

1. MD を入れて… [MD ■] を押す。
2. [グループ] を押して、名前をつけるグループを選ぶ。
   [◀] または [▶] を押しても選ぶことができます。
3. [ネーム/TOCエディット] を押して、編集メニューにする。
4. 10秒以内に… [▲] または [▼] を押して、"GROUP NAME" を選ぶ。
   GROUP NAME
5. 10 秒以内に… [決定] を押す。
   文字入力の画面
   中止するには、[ネーム/TOCエディット] を押します。
6. [ア 1] ～ [ワヲン 0]、[記号 タイム]、[゛゜小文字 クリア]、[▲] または [▼] を使って、文字を入力する。
7. 入力が終われば… [決定] を押す。
   グループ名が記録されます。

**お知らせ**
ノングループにグループ名をつけることはできません。

## 曲名をつける（トラックネーム）

1. 名前をつける曲の再生中に…
   [ネーム/TOCエディット] を押して、編集メニューにする。
   TRACK NAME ▸
2. 10 秒以内に… [決定] を押す。
   文字の入力画面になり、聞いている曲がくり返して再生されます。
   中止するには、[ネーム/TOCエディット] を押します。
3. [ア 1] ～ [ワヲン 0]、[記号 タイム]、[゛゜小文字 クリア]、[▲] または [▼] を使って、文字を入力する。
4. 入力が終われば… [決定] を押す。
   曲名が記録され、通常の再生に戻ります。

**お知らせ**

- 停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名をつけることができます。
- 録音中にも曲名をつけることができます。
  録音中に操作するときは、その曲の録音が終わる前に、名前の登録を終えてください。
  （4倍速録音中は曲名をつけることはできません。）
- ディスク名やグループ名、各曲名で入力した文字が40文字を超えると"NAME FULL"と表示されます。
- 1 枚の MD には、約 1,700 文字まで入力することができます。（約1,700文字を超えると "TOC FULL 1" と表示されます。ただし、この製品ではグループの情報が記録されるため、1,700 文字以下でも "TOC FULL 1" が表示されることがあります。）

# 録音したMDにタイトルをつける（続き）



## ■ 入力したタイトルを消すには

### ディスク名を消去する

1. MD を入れて… MD を押す。
2. ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。
3. 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、"DISC NAME"（ディスク ネーム）を選ぶ。
   DISC NAME
4. 10 秒以内に… タイマー/削除 を 2 秒以上押す。
   NAME CLEAR?
   中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。
5. 決定 を押す。
   ディスク名が消去されます。

### グループ名を消去する

1. MD を入れて… MD を押す。
2. グループ を押して、名前を消したいグループを選ぶ。
   ◀ または ▶ を押しても選ぶことができます。
3. ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。
4. 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、"GROUP NAME"（グループ ネーム）を選ぶ。
   GROUP NAME
5. 10 秒以内に… タイマー/削除 を 2 秒以上押す。
   NAME CLEAR?
   中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。
6. 決定 を押す。
   グループ名が消去されます。

**お知らせ**

「グループリザーブ」（ ☞ P.70）を行ったあと曲を録音するまでは、そのグループ名を消去することはできません。

### 曲名を消去する

1. 名前を消したい曲の再生中に…
   ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。
   TRACK NAME ▸
2. 10 秒以内に… タイマー/削除 を 2 秒以上押す。
   NAME CLEAR? ▸
   中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。
3. 決定 を押す。
   選んだ曲名が消去されます。

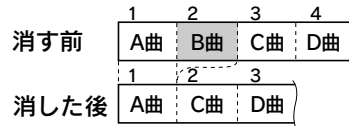
**お知らせ**

他の機器で 40 文字以上入力された MD は、文字を修正することはできません。そのときは、ディスク名やグループ名、曲名を一度消去したあと、もう一度入力してください。（ ☞ P.60）

# 曲やグループを消す





## 1曲ずつ消す（トラックイレース）

**1** 停止中に…
⏮または⏭を押して､消したい曲を選ぶ｡
消したい曲の再生中に、MD ▶II を押して一時停止状態にしてもできます。

**2** ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。

**3** 10秒以内に…▲ または ▼ を押して、“Tr-ERASE”（トラック イレース）を選ぶ。

```
Tr-ERASE
```

**4** 10秒以内に…決定 を押す。

```
ERASE    2?
```

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

**5** もう一度…決定 を押す。

```
COMPLETE
```

1曲消えて､消えたうしろの曲の頭で停止します｡

**ご注意**

**曲やグループを消すと、もとには戻せません。**
**消してもよいか､よく確かめてから操作してください｡**

## グループを消す（グループイレース）

消す前

| グループ1 | | | | グループ2 | | | | グループ3 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K曲 | L曲 | M曲 | N曲 | O曲 |

消した後

| グループ1 | | | | グループ2 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | L曲 | M曲 | N曲 | O曲 |

**1** 停止中に…
グループ を押して､消したいグループを選ぶ｡

```
GROUP 2
```

◀ または ▶ を押しても選ぶことができます。

**2** ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。

**3** 10秒以内に…▲ または ▼ を押して、“Gr & Tr - ERASE”（グループ トラック イレース）を選ぶ。

```
Gr&Tr-ERASE
```

**4** 10秒以内に…決定 を押す。

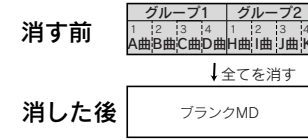
```
GrERASE OK?
```

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

**5** もう一度…決定 を押す。

```
COMPLETE
```

選んだグループが消えます。

## すべての曲を消す（オールイレース）

消す前

| グループ1 | | | | グループ2 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K |

↓全てを消す

消した後

ブランクMD

**1** MD ■ を押して、全曲表示にする。

**2** ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。

**3** 10秒以内に…▲ または ▼ を押して、“ALL ERASE”（オール イレース）を選ぶ。

```
ALL ERASE
```

**4** 10 秒以内に…決定 を押す。

```
ALL ERASE?
```

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

**5** もう一度…決定 を押す。

```
COMPLETE
⇩
BLANK MD
```

すべての曲が消えます。

**お知らせ**

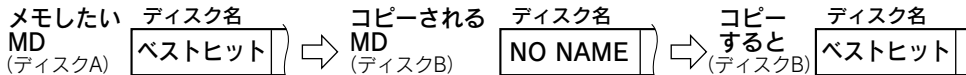
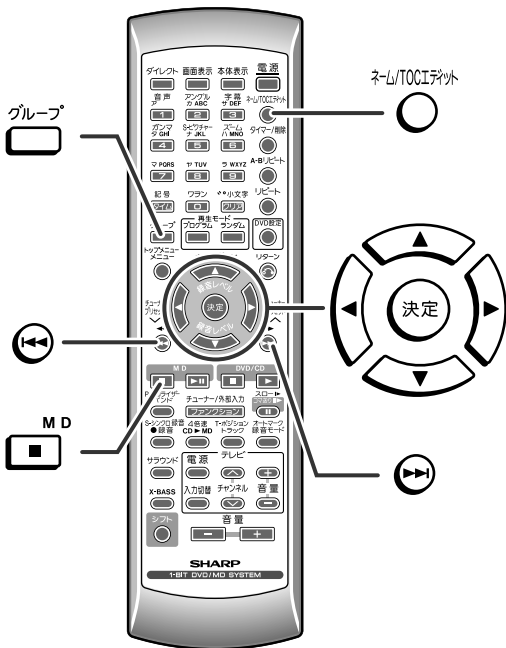
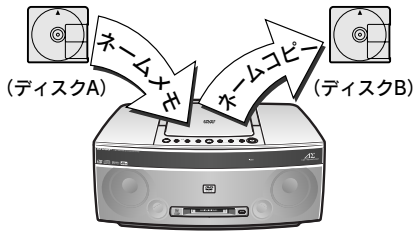
- グループ録音しているディスクの曲を消すときは、グループモードに設定してください。
  （グループモードに設定していないと､“GROUP DISC”（グループ ディスク）と表示され、消すことができません。）
- グループ内のすべての曲を消すと､そのグループも消えます。
- 曲を消すと、曲番・曲名・録音日時なども同時に消えます。

# MDのタイトルをメモして、他のMDにコピーする



MDのタイトルを記憶させ、他のMDにコピーすることができます。

(ディスクA) ネームメモ ネームコピー (ディスクB)

メモしたいMD(ディスクA) ディスク名 ベストヒット ⇨ コピーされるMD(ディスクB) ディスク名 NO NAME ⇨ コピーすると(ディスクB) ディスク名 ベストヒット

## タイトルをメモする（ネームメモ）

❶ 名前がついているMDを入れて…
ディスク名またはグループ名、曲名を表示する。

❷ ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。

❸ 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、
"NAME MEMO"（ネーム メモ）を選ぶ。

❹ 10秒以内に… 決定 を押す。

❺ ◀ または ▶ を押して、記憶するメモ番号M1～M20を選ぶ。

メモ番号
M1:BEST
M2:SINGLES
M3:ALBUM
M4:MY FAVOURITES
M5:LIVE
M1～M5は始めから登録されています。ここに記憶すると、新しいタイトルに変更されます。

M6:(未登録)
～
M20:(未登録)
ここに記憶させます。

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❻ 決定 を押す。

タイトルがこの製品に記憶されます。

## メモしたタイトルを他の MD につける（ネームコピー）

**1** タイトルをつけたい MD を入れて… MD ■ **を押す。**

**2** **タイトルをつけたいディスク名または曲番、グループ名を表示させる。**

| ディスク名の表示例 | 曲番の表示例 | グループ名の表示例 |
|---|---|---|
| 17 64:59 | 1 5:23 | GROUP 1 |

**3** ネーム/TOCエディット ○ **を押して、編集メニューにする。**

**4** 10 秒以内に… △ **または** ▽ **を押して、“NAME COPY”（ネーム コピー） を選ぶ。**

NAME COPY

**5** 10 秒以内に… 決定 **を押す。**

M 6:ベストヒット

**6** ◀ **または** ▶ **を押して、利用したいタイトルを選ぶ。**
（M1 ～ M20 ☞ P.64）

| | |
|---|---|
| M1:BEST | M4:MY FAVOURITES |
| M2:SINGLES | M5:LIVE |
| M3:ALBUM | M6 ～ M20:ネームメモした名前 |

中止するには、ネーム/TOCエディット ○ を押します。

**7** 決定 **を押す。**

ベストヒット

このとき、表示されたタイトルを修正することができます。

**8** **もう一度…** 決定 **を押す。**

タイトルが MD に記録されます。

タイトルをつけるディスク名を選ぶには、MD ■ を押して、総曲数と総再生時間の表示にします。
• ディスク名をつけたいときは、グループモードを解除してください。

タイトルをつける曲番を選ぶには、⏮または⏭をくり返し押す。

タイトルをつけるグループ名を選ぶには、グループ をくり返し押す。

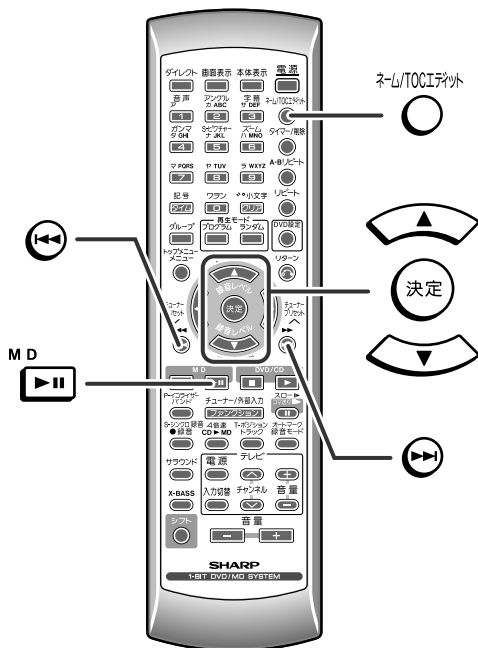
**ご注意**

電源コードを抜いたり、停電があったときは、この製品に記憶したタイトルは消えます。

**お知らせ**

• MD の場合、グループモードを設定しているときは、ディスク名は表示されません。
ディスク名を**「ネームメモ」**・**「ネームコピー」**するときは、グループモードを解除したあと操作してください。
（このとき、編集モードにすると、“GROUP DISC”（グループ ディスク）と表示されますが、そのまま続けて操作を行ってください。）
• ディスク名やグループ名、曲名がついている MD に**「ネームコピー」**すると、以前ついていたタイトルは消えます。
• 1 つの**「ネームメモ」**は 25 文字までです。
26 文字以降は記憶されません。

# 曲を編集する

曲を編集する

## 2曲を1つにつなぐ（コンバイン）

| | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|---|
| つなぐ前 | A曲 | B曲 | C曲 | D曲 |

| | 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|---|
| つないだ後 | A曲 | B曲 | C曲 D曲 |

**1** 停止中に…
**⏮または⏭を押して、つなぐうしろの曲を選ぶ。**
うしろの曲を再生中に、MD ►II を押して一時停止状態にしてもできます。

**2** ネーム/TOCエディット ○ **を押して、編集メニューにする。**

**3** 10秒以内に…▲または▼**を押して、"COMBINE"（コンバイン）を選ぶ。**

COMBINE

**4** 10秒以内に…（決定）**を押す。**

3+ 4?

中止するには、ネーム/TOCエディット ○ を押します。

**5** もう一度…（決定）**を押す。**

COMPLETE

曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

お知らせ

- 連続していない2つの曲をつなぐには、あらかじめ、**「ムーブ」**を使って2つの曲を連続させてから、つないでください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲をつなぐことはできません。
- 録音モード（モノラル録音、ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音）の異なる曲をつなぐことはできません。
- 短い曲（ステレオ録音：12秒、モノラル録音・2倍長時間録音：24秒、4倍長時間録音：48秒）はつながらないことがあります。
- つなぐ2つの曲に、両方とも曲名・録音日時がついているときや、前の曲だけについているときは、前の曲名・録音日時がつきます。
ただし、他の機器で録音した曲は、つかないことがあります。
- グループにしている曲は、グループ内の曲しかつなぐことはできません。別のグループの曲とつなぐときは、**「グループチェンジ」**（☞ P.68）を使って2つの曲を連続させてから、つないでください。
- ノングループの曲は、つながらないことがあります。**「グループアレンジ」**（☞ P.69）を使って曲を移動してからつないでください。
- グループ録音しているMDは、グループモードにしないと編集はできません。

## 1曲を2つに分ける（デバイド）

| | 1 | 2 | 3 | |
|---|---|---|---|---|
| 分ける前 | A曲 | B曲 | C曲 | D曲 |
| | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 分けた後 | A曲 | B曲 | C曲 | D曲 |

**1** 再生中に…
**曲を分けたいところで、MD ▶II を押して、一時停止状態にする。**

**2** ネーム/TOCエディット ○ **を押して、編集メニューにする。**

**3** 10秒以内に…▲ **または** ▼ **を押して、"DIVIDE"（デバイド）を選ぶ。**

```
DIVIDE
```

**4** 10秒以内に…（決定）**を押す。**

```
DIVIDE OK?
```

中止するには、ネーム/TOCエディット ○ を押します。

**5** もう一度…（決定）**を押す。**

```
COMPLETE
```

曲が分けられ、うしろの曲の頭で停止します。

## 曲を移動する（ムーブ）

**1** 停止中に…
**⏮ または ⏭ を押して、移動する曲を選ぶ。**
移動したい曲を再生中に、MD ▶II を押して一時停止状態にしてもできます。

**2** ネーム/TOCエディット ○ **を押して、編集メニューにする。**

**3** 10秒以内に…▲ **または** ▼ **を押して、"MOVE"（ムーブ）を選ぶ。**

```
MOVE
```

**4** 10秒以内に…（決定）**を押す。**

```
4→  1  ?
```

**5** ◀ **または** ▶ **を押して、移動先を選ぶ。**

```
4→  2  ?
```

移動先の曲番

中止するには、ネーム/TOCエディット ○ を押します。

**6** もう一度…（決定）**を押す。**

```
COMPLETE
```

曲が移動し、その曲の頭で停止します。

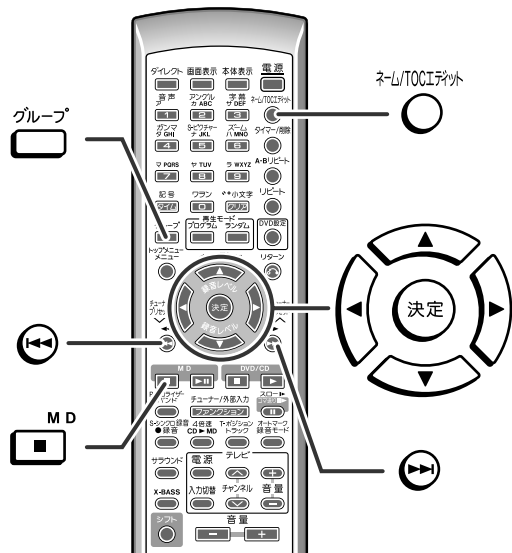
### お知らせ

- 1枚のMDで最大255曲まで曲を分けられます。ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。（☞ P.83）
- 分ける曲に曲名･録音日時がついているときは、両方に同じ曲名・録音日時がつきます。
  ただし、TOC（トック）に文字情報を登録する空きがないときは、うしろの曲には曲名・録音日時がつきません。
- グループにしている曲は、グループ内での移動しかできません。別のグループに移動するには、**「グループチェンジ」**（☞ P.68）を使って曲を移動してください。

# グループを編集する

## グループ編集の準備

① グループ録音した MD を入れる。
（グループエントリーはグループ録音をしていない MD でも操作できます。）

② MD [■] を押す。

グループの選びかた

グループ をくり返し押して、グループを選ぶ。

[◀] または [▶] を押しても選ぶことができます。

曲の選びかた

[⏮] または [⏭] を押して曲を選ぶ。

## 曲を別のグループに移動する
（グループチェンジ）

移動する前

| グループ1 | | | | ノングループ | | | グループ2 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | E曲 | F曲 | G曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K曲 |

移動した後

| グループ1 | | | | | ノングループ | | | グループ2 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | I曲 | E曲 | F曲 | G曲 | H曲 | J曲 | K曲 |

❶ 移動したい曲が入っているグループを選ぶ。

❷ 移動する曲を選ぶ。

❸ ネーム/TOCエディット ○ を押して、編集メニューにする。

❹ 10秒以内に… [▲] または [▼] を押して、“Gr-CHANGE”（グループ チェンジ）を選ぶ。

Gr-CHANGE

❺ 10 秒以内に… (決定) を押す。

❻ [◀] または [▶] を押して、移動先のグループを選ぶ。

→GROUP 1

中止するには、ネーム/TOCエディット ○ を押します。

❼ (決定) を押す。

CHANGE OK?

❽ もう一度… (決定) を押す。

COMPLETE

曲が移動し、その曲の頭で停止します。

**お知らせ**

すべての曲を別のグループに移動すると、そのグループとグループ名は消えます。

## グループを先頭に移動する
（グループトップムーブ）

移動する前

| グループ1 | | | | グループ2 | | | | グループ3 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K曲 | L曲 | M曲 | N曲 | O曲 |

移動した後

| グループ1 | | | | グループ2 | | | | グループ3 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| H曲 | I曲 | J曲 | K曲 | A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | L曲 | M曲 | N曲 | O曲 |

❶ 移動するグループを選ぶ。

❷ ネーム/TOCエディット ○ を押して、編集メニューにする。

❸ 10秒以内に… [▲] または [▼] を押して、“Gr- TOP-MOVE”（グループ トップ ムーブ）を選ぶ。

Gr-TOP-MOVE

❹ 10 秒以内に… (決定) を押す。

Gr-MOVE OK?

中止するには、ネーム/TOCエディット ○ を押します。

❺ もう一度… (決定) を押す。

COMPLETE

グループが移動します。

**お知らせ**

- グループ名が記録されていると、グループトップムーブをしてもグループ名は変わりません。
- 先頭のグループをグループトップムーブしようとすると、“Can't EDIT”（キャント エディット）と表示され、操作できません。
- ノングループや曲が録音されていないグループは、先頭に移動することはできません。

## ノングループの曲をMDの最後に移動する（グループアレンジ）

移動する前

| グループ1 | | | | ノングループ | | | | グループ2 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | E曲 | F曲 | G曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K曲 | L曲 |

移動した後

| グループ1 | | | | グループ2 | | | | ノングループ | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | I曲 | J曲 | K曲 | L曲 | E曲 | F曲 | G曲 | H曲 |

❶ ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。

❷ 10秒以内に… または を押して、“Gr-ARRANGE”（グループ アレンジ）を選ぶ。

Gr-ARRANGE

❸ 10秒以内に… 決定 を押す。

ARRANGE OK?

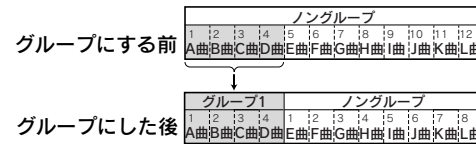
中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❹ もう一度… 決定 を押す。

ノングループの曲がMDの最後に移動します。

**ご注意**

**グループアレンジをすると、ノングループの曲をすべて後ろに移動するため、曲順がわからなくなり、もとに戻せなくなることがあります。**
**移動してもよいか、よく確かめてから操作してください。**

## グループになっていない曲をグループにする（グループエントリー）

グループにする前

| ノングループ | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | E曲 | F曲 | G曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K曲 | L曲 |

グループにした後

| グループ1 | | | | ノングループ | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | E曲 | F曲 | G曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K曲 | L曲 |

❶ ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。

❷ 10秒以内に… または を押して、“Gr-ENTRY”（グループ エントリー）を選ぶ。

Gr-ENTRY

❸ 10秒以内に… 決定 を押す。

ENTRY OK?

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❹ もう一度… 決定 を押す。

START TNO.

❺ または を押して、グループにしたい最初の曲を選ぶ。

1 4:48

ノングループの曲番1から順に表示されます。

❻ 決定 を押す。

END TNO.

❼ または を押して、グループにしたい最後の曲を選ぶ。

4 3:32

❽ 決定 を押す。

1- 4 OK?

❾ もう一度… 決定 を押す。

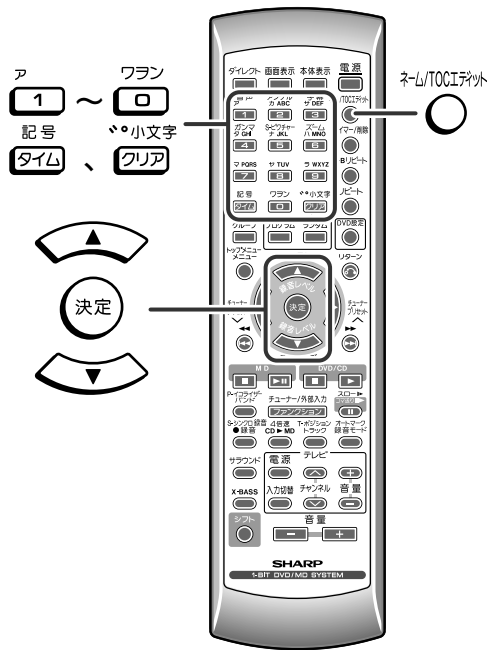
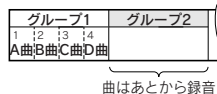
選んだ曲がグループになります。

**ご注意**

**グループエントリーをすると、ノングループの曲をすべて後ろに移動するため、曲順がわからなくなり、もとに戻せなくなることがあります。**
**グループにしてもよいか、よく確かめてから操作してください。**

**お知らせ**

- ノングループの曲がないときは、操作❸で“NO TRACK”（ノー トラック）と表示され、グループエントリーすることはできません。
- 連続していない曲をグループにするには、あらかじめ「**グループチェンジ**」（☞ P.68）、「**ムーブ**」（☞ P.67）を使って曲を移動させてから、グループエントリーをしてください。

# グループを編集する（続き）

## グループを作成する（グループリザーブ）

| グループ1 | グループ2 |
|---|---|
| 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 | |

曲はあとから録音

❶ ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。

❷ 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、“Gr-RESERVE”（グループ リザーブ）を選ぶ。

Gr-RESERVE

❸ 10秒以内に… 決定 を押す。

*NEW GROUP*

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❹ 1（ア）～ 0（ワヲン）、タイム（記号）、クリア（小文字）、▲ または ▼ を使って、文字を入力する。（☞ P.60）

名前を入力しないと、グループを作成することができません。

❺ 入力が終われば… 決定 を押す。

グループが作成されます。

## グループ情報を消去する（グループキャンセル）

キャンセルする前

| グループ1 | | | | グループ2 | | | | グループ3 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 A曲 | 2 B曲 | 3 C曲 | 4 D曲 | 1 H曲 | 2 I曲 | 3 J曲 | 4 K曲 | 1 L曲 | 2 M曲 | 3 N曲 | 4 O曲 |

↓

キャンセルした後

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A曲 | B曲 | C曲 | D曲 | H曲 | I曲 | J曲 | K曲 | L曲 | M曲 | N曲 | O曲 |

❶ ネーム/TOCエディット を3秒以上押す。

Gr-CANCEL

❷ 10秒以内に… 決定 を押す。

EDIT OK?

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❸ もう一度… 決定 を押す。

グループ情報が消えます。

**ご注意**

**グループキャンセルをすると、すべてのグループ情報が消去されます。**
**よく確かめてから操作してください。**

# タイマー再生やタイマー録音について

設定した時刻に、DVD、CD、MD、ラジオ放送を聞くことができます。(タイマー再生)
また、ラジオ放送をMDに録音することもできます。(タイマー録音)

この製品には、「**ワンスタイマー**」と「**デイリータイマー**」の２種類があります。

## ワンスタイマーとは？

１回だけタイマー動作させることができます。

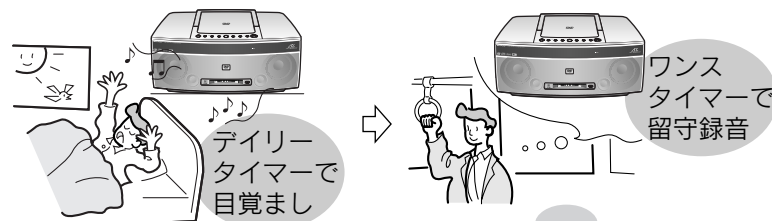
***こんなときに便利です。***
その日だけのラジオ放送を録音するなど…
(終了後、タイマー設定は解除されます。)

## デイリータイマーとは？

毎日同じ時刻にタイマー動作させることができます。

***こんなときに便利です。***
毎朝の目覚ましとして使ったり、毎日同じ時刻のラジオ放送を録音するなど…

## ワンスタイマーとデイリータイマーは、組み合わせて使用することができます。

たとえば、デイリータイマーで毎朝目覚ましとして使いながら、ワンスタイマーで、その日のラジオ放送を留守録音することができます。

①デイリータイマーを設定する。
(☞ P.72～73)
②ワンスタイマーを設定する。
(☞ P.72～73)

デイリータイマーとワンスタイマーは時間が重なると、ワンスタイマーが優先されますので、１分以上間をあけてください。

### ご注意

- 他の機器を、この製品のタイマー設定で操作することはできません。
- 録音中はワンスタイマーを設定することはできません。

**次のとき、タイマー録音することはできません。**

- 再生専用 MD が入っているとき
- MD が誤消去防止状態になっているとき（☞ P.43）
- MDに録音できる部分がないとき（“TOC FULL”、“DISC FULL” の状態など）
- MD のデータが異常なとき（“Can't REC” の状態など）

### 停電時のご注意

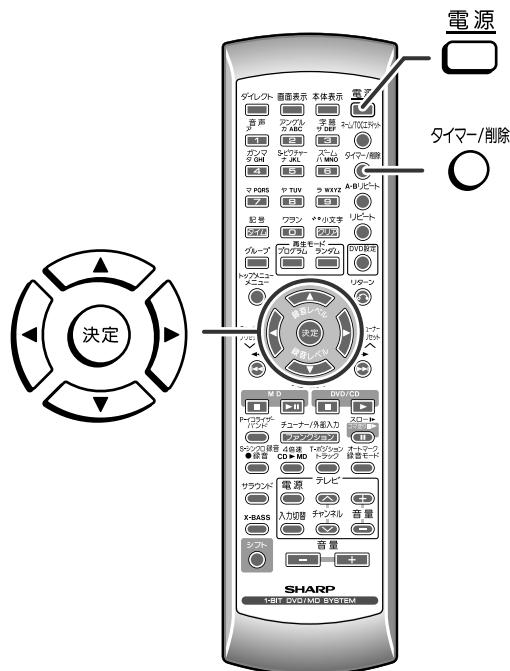
タイマーを設定したあとに、電源コードを抜いたり停電があると、時計が止まり、タイマー設定も解除されます。
そのときは、もう一度、時計設定とタイマー設定をやり直してください。

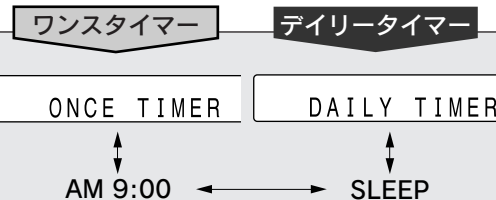
# タイマー再生やタイマー録音を設定する



**タイマーを使う前に**

**1 時計を合わせる。**（☞ P.18）
時計を合わせていないと、タイマーは使用できません。

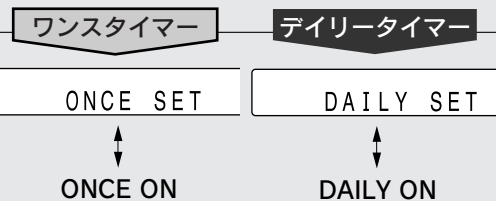
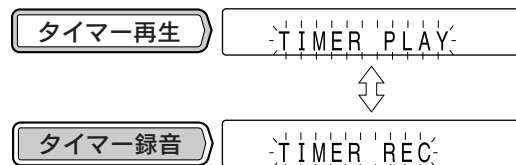
**2 再生や録音の準備をする。**
- 再生または録音に必要なディスクを入れてください。
- ラジオ放送を聞いたり、録音するときは、放送局を登録してください。（☞ P.27）

❶ 電源を入れて、タイマー/削除 を押す。

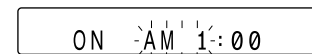
❷ 5秒以内に… ▲ または ▼ を押して、"ONCE TIMER"（ワンス タイマー）または "DAILY TIMER"（デイリー タイマー）を選び、決定 を押す。

"ONCE TIMER" または "DAILY TIMER" が表示されないときは、時計を合わせてください。

ワンスタイマー：ONCE TIMER ↕ AM 9:00
デイリータイマー：DAILY TIMER ↕ SLEEP
AM 9:00 ←→ SLEEP

❸ 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、"ONCE SET"（ワンス セット）または "DAILY SET"（デイリー セット）を選び、決定 を押す。

ワンスタイマー：ONCE SET ↕ ONCE ON
デイリータイマー：DAILY SET ↕ DAILY ON

❹ ◀ または ▶ を押して、"TIMER PLAY"（タイマー プレイ）または "TIMER REC"（タイマー レコード）を選び、決定 を押す。

タイマー再生：TIMER PLAY
⇕
タイマー録音：TIMER REC

❺ ◀ または ▶ を押して、開始時刻の「時」を合わせ、決定 を押す。

ON AM 1:00

❻ ◀ または ▶ を押して、開始時刻の「分」を合わせ、決定 を押す。

ON AM 7:00

❼ 操作❺～❻と同じ手順で、終了時刻を設定する。

OFF AM 8:00

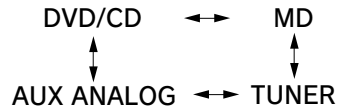
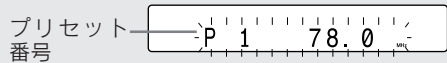
続けて操作❽へ

## "TIMER PLAY" を選んだとき（タイマー再生するとき）

**8** ◀または▶を押して、聞きたい入力を選び、決定を押す。

DVD/CD ↔ MD
↕ ↕
AUX ANALOG ↔ TUNER

「TUNER」を選んだときは…
◀または▶を押して、希望の放送局を選び、決定を押す。

プリセット番号 P 1 78.0

**9** ◀または▶を押して、音量を設定し、決定を押す。

VOLUME 20

音量をあまり大きくしないように注意してください。

**10** 電源を押して、電源を切る。

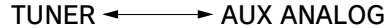
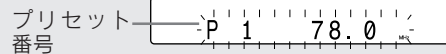
タイマーの待機状態になります。
（タイマー表示が点灯します。☞ P.74）

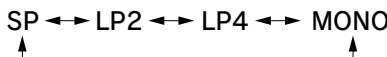
## "TIMER REC" を選んだとき（タイマー録音するとき）

**8** ◀または▶を押して、録音したい入力を選び、決定を押す。

TUNER ↔ AUX ANALOG

「TUNER」を選んだときは…
◀または▶を押して、希望の放送局を選び、決定を押す。

プリセット番号 P 1 78.0

**9** ◀または▶を押して、録音モードを選び、決定を押す。

SP ↔ LP2 ↔ LP4 ↔ MONO

**10** ◀または▶を押して、音量を設定し、決定を押す。

VOLUME 20

音量をあまり大きくしないように注意してください。

**11** 電源を押して、電源を切る。

タイマーの待機状態になります。
（タイマー表示が点灯します。☞ P.74）

**「AUX ANALOG」を選んだときは**
他の機器とこの製品を接続（☞ P.77）して、それぞれタイマー設定してください。

**放送局が登録されていないと**
"NO P.SET" と表示され、設定操作が終了します。
このときは、放送局を登録（☞ P.27）したあと、操作❶からやり直してください。

**ご注意**
- タイマーの開始時刻に、電源が入っていると、タイマー再生または、タイマー録音は始まりません。
- タイマーの待機状態にしてもタイマー表示が点灯しないときは、電源を入れてタイマーの設定を確認してください。（☞ P.74）

**お知らせ**
- グループ録音された MD にタイマー録音すると、"NON GROUP" に録音されます。
- グループモードに設定して MD のタイマー再生をすると、電源が切れる前に選んでいたグループから再生を始めます。
- メニュー画面の表示されるDVDは、タイマー再生ができません。

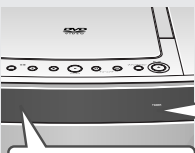
# タイマー設定したあとの動作について



## タイマー設定したあとは…

## タイマー開始時刻になると…

タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマー再生のとき、音量は徐々に大きくなります。

例）ワンスタイマー再生表示

ONCE REC：ワンスタイマー録音
DAILY　：デイリータイマー再生
DAILY REC：デイリータイマー録音

## タイマー終了時刻になると…

電源が自動的に切れます。

### ワンスタイマーまたはデイリータイマーの設定内容を確認したいとき

1 [タイマー/削除]を押す。
2 [▲]または[▼]で“ONCE TIMER”または“DAILY TIMER”を選び、[決定]を押す。
3 [▲]または[▼]で“ONCE CALL”または“DAILY CALL”を選び、[決定]を押す。
設定内容が順に表示されます。

### ワンスタイマーまたはデイリータイマーを解除したいとき

1 [タイマー/削除]を押す。
2 [▲]または[▼]で“ONCE TIMER”または“DAILY TIMER”を選び、[決定]を押す。
3 [▲]または[▼]で“ONCE OFF”または“DAILY OFF”を選び、[決定]を押す。
タイマーは解除されます。（設定した内容は消えません。）

### 同じ設定内容で、再びタイマーを使うとき

タイマーの設定内容は、一度設定すると覚えています。内容をかえないときは、タイマー再生、録音設定（☞ P.72：操作❸）で“ONCE ON”または“DAILY ON”を選ぶと、同じ内容で再設定されます。

**ワンスタイマー**

タイマーの設定が解除されて、“ONCE OFF”の状態になります。

**デイリータイマー**

**電源を切っておくだけで、**次の日も同じ時刻になると、再びタイマーが動作します。

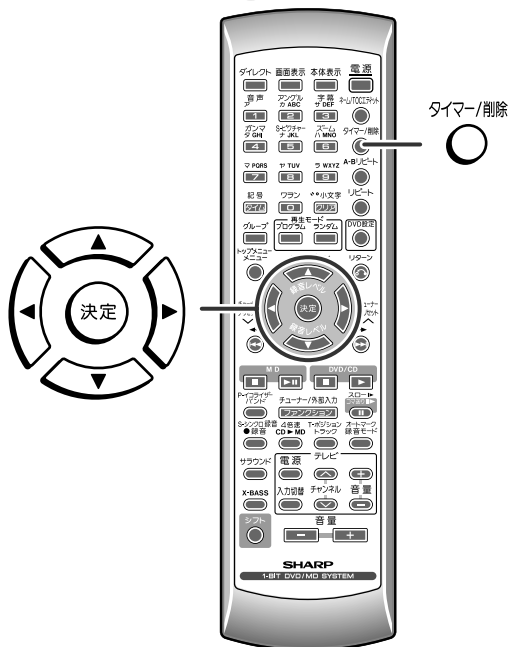
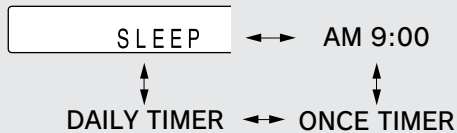
デイリータイマーの設定を解除するまで、毎日タイマーが動作します。使わないときは、デイリータイマーを解除してください。

# 音楽を聞きながらおやすみになる（スリープ）

DVD・CD・MD・ラジオ放送を聞きながら設定した時間で電源を切ることができます。

❶ 聞きたい曲の再生中に、（タイマー/削除）を押す。

❷ 5秒以内に…
（▲）または（▼）を押して、
“SLEEP（スリープ）”を選び（決定）を押す。

SLEEP ↔ AM 9:00
↕ ↕
DAILY TIMER ↔ ONCE TIMER

❸ （◀）または（▶）を押して、
スリープ時間を設定する。

SLEEP 1:00

- **1分～2時間まで設定できます。**
- 5分から2時間までは5分単位で、1分から5分までは1分単位で設定できます。

❹ （決定）を押す。

SLEEP 1:00

SLEEP 点灯

スリープ動作が始まります。

⇩

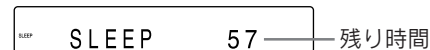
**スリープ終了時刻になると**
再生が終わり、電源が切れます。

終了1分前になると、音量が徐々に小さくなります。このとき、音量を変えることはできません。

## ■ スリープ中に残り時間を確認するには

**1. スリープ動作中に、[タイマー/削除]を押す。**

2. 5秒以内に…
**[▲]または[▼]を押して、**
**“SLEEP（スリープ）”を選ぶ。**

SLEEP 57 ― 残り時間

- 約10秒後にもとの表示に戻ります。
- 残り時間を表示中に、左の操作❷～❹で時間を変更することができます。

## ■ スリープを解除するには

**電源を切ると、スリープは解除されます。**

電源を切らずに、スリープだけを解除したいときは、次の操作で解除することもできます。

**1. スリープ動作中に、[タイマー/削除]を押す。**

2. 5秒以内に…
**[▲]または[▼]を押して、**
**“SLEEP OFF（スリープ オフ）”を選ぶ。**

SLEEP OFF

3. 10秒以内に…
**[決定]を押す。**
スリープが解除されます。（“SLEEP（スリープ）”消灯）

# 音楽を聞きながらおやすみになる（続き）

## ■ スリープとタイマーを組み合わせて使う

### スリープとタイマー再生を使うと

たとえば、ラジオ放送を聞きながらおやすみになり、次の日の朝、CDの音楽で目覚ましをすることができます。

### スリープとタイマー録音を使うと

たとえば、CDを聞きながらおやすみになり、おやすみ中にラジオ放送を録音することができます。

❶ **スリープを設定する。**
（☞ P.75：操作❶～❹）

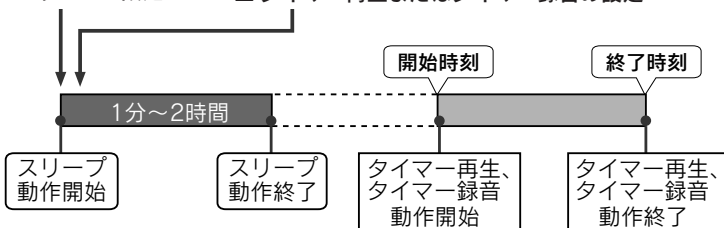
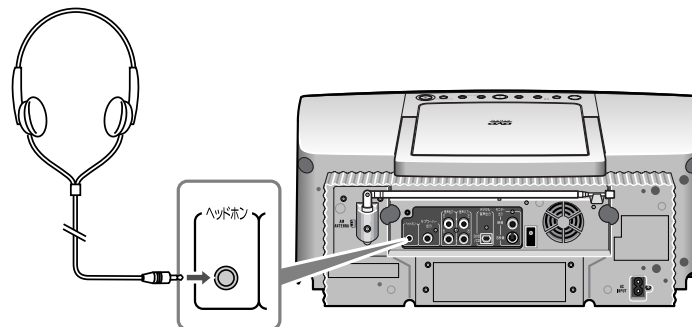
SLEEP 1:00

**スリープ動作開始**

❷ **タイマー再生**（☞ P.72～73：操作❶～❾）**または、**
**タイマー録音**（☞ P.72～73：操作❶～❿）**を設定する。**

タイマー再生設定表示　TIMER PLAY

タイマー録音設定表示　TIMER REC

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマーの開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー再生またはタイマー録音が始まります。

# ヘッドホンを使う



- インピーダンス16～50Ω（推奨32Ω）で直径3.5mmステレオミニプラグ付ヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音は聞こえなくなります。
- ヘッドホンから聞こえる音には、「**3Dバーチャルサラウンド**」の効果音が得られます。
  ただし、ふつうの「**サラウンド**」の場合は、**サラウンド**の効果音は得られません。

**音のエチケット**

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

# 他の機器の再生音を聞いたり、録音する

- 接続をする前には、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。

音声出力端子へ

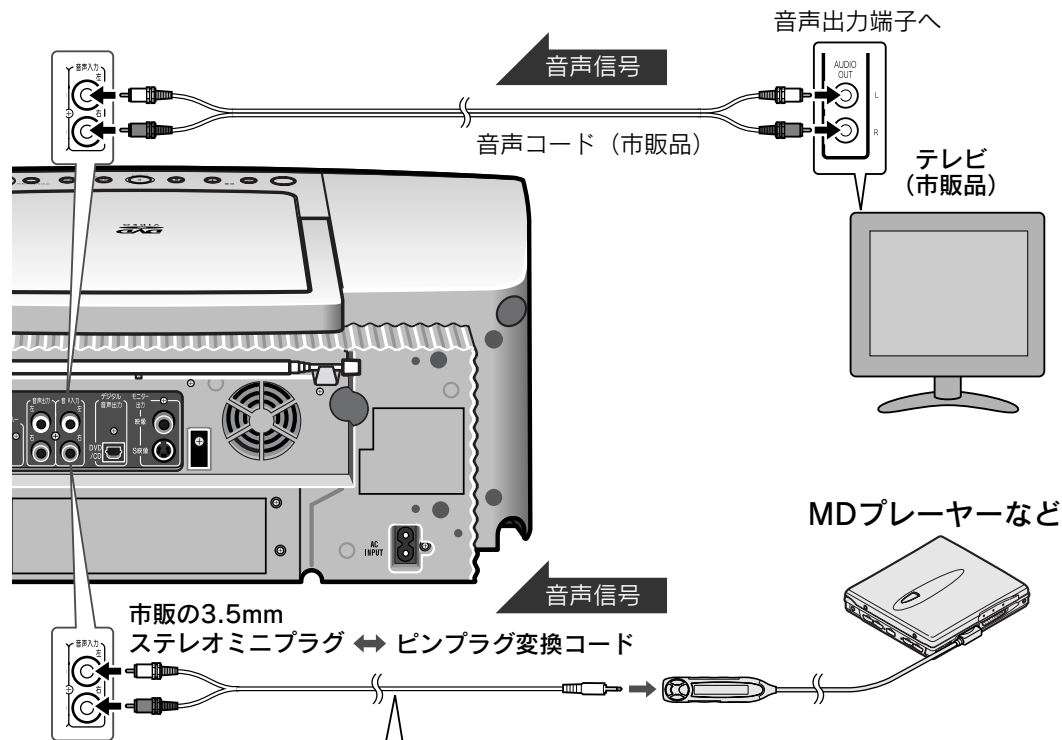
音声信号

音声コード（市販品）

テレビ（市販品）

MDプレーヤーなど

音声信号

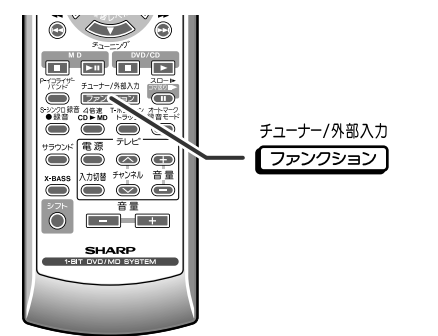
市販の3.5mm ステレオミニプラグ ⇔ ピンプラグ変換コード

シャープ1ビットポータブルMDプレーヤーを接続する場合は、ヘッドホン端子が4極プラグになっていますので、専用の接続コードが必要です。
くわしくは、ポータブルMDプレーヤーの取扱説明書をごらんください。

## 他の機器の再生音を聞く

はじめに、他の機器の電源を入れます。

1. チューナー/外部入力 ファンクション を押して、"AUX ANALOG"（オグジュアリー アナログ）を選ぶ。
   AUX ANALOG
2. 接続した機器を再生する。
3. この製品で音量を調整する。

**お知らせ**

- 本機の音声出力端子（アナログ）からは、DVD、CD、MD、ラジオチューナーからの信号が出力されます。
  音声入力端子（アナログ）から入る信号は、音声出力端子（アナログ）からは出力されません。
- 接続コードは付属されていません。
- 抵抗の入っている音声コードを使うと、音が小さくなります。
  抵抗の入っていない音声コードをお買い求めください。

# 他の機器の再生音を聞いたり、録音する（続き）

## 他の機器の再生音を録音する

1. 録音用 MD を入れる。
2. チューナー/外部入力 ファンクション を押して、“AUX ANALOG”（オグジュアリー アナログ）を選ぶ。
3. （グループ録音するときのみ）グループ をくり返し押して、“GROUP”（グループ）を点灯させる。
4. S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の一時停止状態にする。
5. オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。
6. （グループ録音するときのみ）グループ を押して、録音したいグループを選ぶ。
7. 接続した機器を再生する。
8. 録音したいところで… MD ►II を押す。
   録音が始まります。

### 録音を停止するには

MD ■ を押す。

## 他の機器の再生音と同時に録音する（サウンドシンクロ録音）

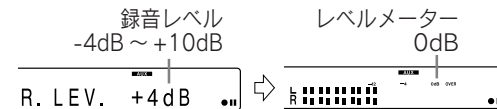
1. 録音用 MD を入れる。
2. チューナー/外部入力 ファンクション を押して、“AUX ANALOG”（オグジュアリー アナログ）を選ぶ。
3. （グループ録音するときのみ）グループ をくり返し押して、“GROUP”（グループ）を点灯させる。
4. S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の一時停止状態にする。
5. オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。
6. （グループ録音するときのみ）グループ を押して、録音したいグループを選ぶ。
7. シフト を押したまま S-シンクロ録音 ●録音 を押す。
   “S-SYNC”（サウンド シンクロ）が点灯します。（“S-SYNC”（サウンド シンクロ）が点滅したときは、もう一度 シフト を押したまま S-シンクロ録音 ●録音 を押して点灯させてください。）
8. 接続した機器を再生する。
   - 録音が始まります。
   - 再生音が入力されなくなると、録音は一時停止します。

## ■ 録音レベルの調整について

録音レベルを調整したいときは、録音をする前に調整することができます。

① 接続した機器を再生する。

② S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の一時停止状態にする。

③ ▲ または ▼ を押して、録音レベルを調整する。

- 最も大きなレベルで “0dB” をこえないようにします。
- 録音レベルは、-4dB から +10dB まで 2dBステップで調整することができます。

④ MD ■ を押して、録音レベルを記憶する。

**録音する。**

録音レベルは、録音の一時停止状態や録音中にも調整することができます。

# テレビを操作する

## ■ 曲番について

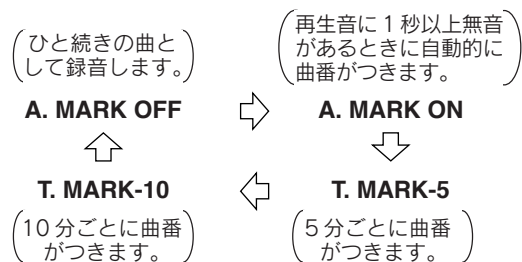
再生音に1秒以上無音があるときに曲番を自動的につけることができます。
お買いあげ時は"A.MARK OFF"（オートマークオフ）になっています。

### オートマークの設定を切り換えるには

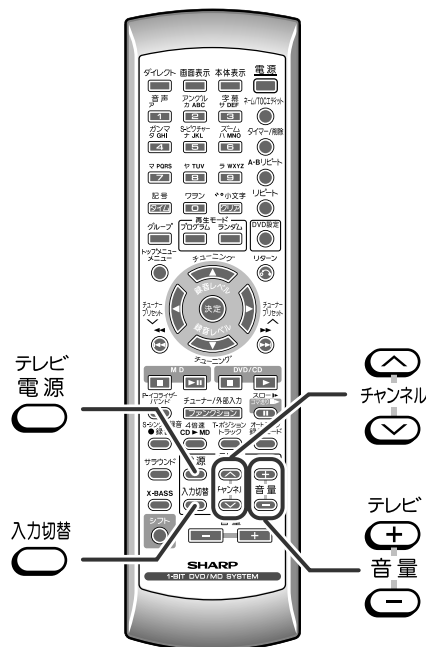
録音の一時停止状態のとき…

シフトを押したまま オートマーク録音モードを押す。

1回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

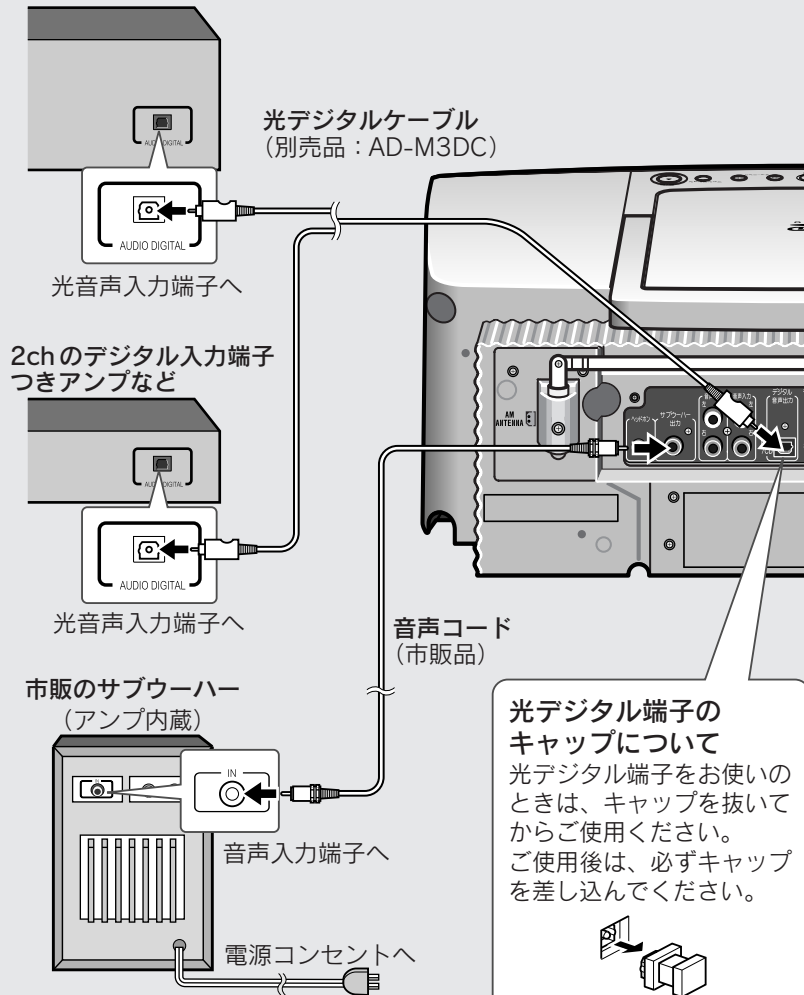
（ひと続きの曲として録音します。）
**A. MARK OFF** ⇨ **A. MARK ON**
（再生音に1秒以上無音があるときに自動的に曲番がつきます。）
⇩
**T. MARK-5**
（5分ごとに曲番がつきます。）
⇦ **T. MARK-10**
（10分ごとに曲番がつきます。）
⇧ **A. MARK OFF**

**お知らせ**

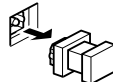
- サウンドシンクロ録音中は、オートマークの切り換えはできません。
- 曲番が多すぎたり、少ないときは、録音が終わったあとMD編集（**コンバイン・デバイド**☞P.66～67）で曲番を修正してください。
- 接続した機器からの再生音に雑音が多いときは、オートマークが正しく働かないことがあります。
- オートマークによる5分おき、10分おきの曲番は、正確な時間につかないことがあります。

本機のリモコンで、シャープ製のテレビの一部機能を操作することができます。

## テレビを見るときは

1. テレビ電源を押して、テレビの電源を入れる。
2. チャンネル∧ または チャンネル∨ を押して、テレビのチャンネルを合わせる。
3. 入力切替を押して、テレビの入力を「ビデオ1・ビデオ2」などに設定する。
4. テレビ音量＋ または テレビ音量－ を押して、テレビの音量を調整する。

**ご注意**

シャープ製のテレビでも、一部の機種は操作できないものがあります。

便　利

# 他の機器と接続して、迫力のある音で楽しむ



## ■ デジタル接続でサラウンド対応プロセッサーなどを接続する

ドルビーデジタル/DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなどと接続することにより、DVD/CD の音声を他の機器でお楽しみいただけます。（接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。）

**デジタル音声出力端子に他の機器を接続するときは、他の機器に合った音声出力に設定してください。（ ☞ P.39）**

| | |
|---|---|
| ビットストリーム | 5.1chのドルビーデジタル/DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなど。 |
| D-PCM | 2chのデジタル入力端子つきアンプなど。 |

**ご 注 意** ......................................................................

- **接続する前に、各機器の電源を切ってください。**
- DVD/CD 以外のデジタル音声は、出力されません。
- 96kHzサンプリングのリニアPCM音声で記録されているDVDを再生したとき、デジタル出力される音声は96kHzサンプリングの音声となります。ディスクによっては、48kHz となる場合もあります。

**お知らせ** ......................................................................

他の機器を接続したときは、ドルビーデジタル出力レベルを「ノーマル」に設定することをおすすめします。（ ☞ P.39）

## ■ 市販のサブウーハーを接続する

市販のアンプ内蔵サブウーハーをつなぐことで、低音を強調させることができます。

**お知らせ** ......................................................................

アンプを内蔵していないスピーカーを接続しても音は出ません。

# “故障かな？” と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、89ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

## ■ 共通

**スピーカーから音が出ない。**
➡ 音量が“0”になっていませんか。 ☞ P.19
➡ ヘッドホンをつないでいませんか。 ☞ P.76

**再生中に雑音が出る。**
➡ テレビ、パソコン、携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。

**ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。**
➡ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。
それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。 ☞ P.83

**テレビの映像に乱れや雑音が生じる。**
➡ 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。
このようなときは、屋外アンテナの使用をおすすめします。

**時刻の確認をしたとき、“TIME ADJUST（タイム アジャスト）”が表示される。**
➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
（設定し直してください） ☞ P.18

**タイマー再生やタイマー録音が動作しない。**
➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
時計を合わせ直してください。 ☞ P.18

**表示部が暗い。**
➡ 本体表示ボタンを2秒以上押して、“DIMMER OFF（ディマー オフ）”を選んでください。 ☞ P.17

**電源が入らない。**
➡ 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 ☞ P.14

**映像が出ない。**
➡ テレビの電源は入っていますか。
➡ テレビの入力を切り換えていますか。

## ■ MD

**MDを入れても“MD NO DISC（ノー ディスク）”や“Can't READ※（キャント リード）”が表示される。再生音がとぎれる。**
➡ ディスクにキズがついていませんか。
➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.83

**録音ができない。**
➡ MDの誤消去防止ツマミが開いていませんか。 ☞ P.43
➡ 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしていませんか。
☞ P.84
➡ “TOC FULL（トック フル）”や“DISC FULL（ディスク フル）”になっていませんか。
☞ P.86～87

**グループ録音したMDでグループが使えなくなった。また、名前が正しく表示されない。**
➡ 他の機器でTOC（トック）データが書きかえられた可能性があります。

# “故障かな？”と思ったら（続き）

## ■ DVD・CD

**ディスクを入れても“NO DISC”（ノー ディスク）や“Can't READ”（キャント リード）が表示される。**
- ➡ ディスクの裏表をまちがえていませんか。
- ➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。
- ➡ 規格外のディスクを使用していませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.83

**操作ボタンを押しても動作をしない。**
**また、映像や曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。**
- ➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。
- ➡ 規格外のディスクを使用していませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.83

**映像や再生音がとぎれる。**
- ➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.83

**電源が入っているのに動かない。**
- ➡ DVD（リージョン番号2、ALL）、音楽CD以外のものが入っていませんか。 ☞ P.12～13

**再生画像が出ない。（音声が出ない）**
- ➡ 映像・音声コードが正しく接続されていますか。 ☞ P.14～15
- ➡ DVD（リージョン番号2、ALL）、音楽CD以外のものが入っていませんか。 ☞ P.12～13
- ➡ ディスクが汚れていませんか。ディスクにキズがありませんか。 ☞ P.84
- ➡ ディスクの表裏をまちがえていませんか。 ☞ P.20
- ➡ テレビの入力が「ビデオ1・ビデオ2」などになっていますか。
- ➡ 電源は入っていますか。 ☞ P.17

## ■ ラジオ

**放送に“シー”、“ザー”という連続音が入る。**
- ➡ テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。
- ➡ アンテナの方向が悪くありませんか。 ☞ P.15

**放送がよく受信できない。雑音も多い。**
- ➡ アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。

**登録した放送局を呼び出すことができない。**
- ➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。登録し直してください。 ☞ P.27
- ➡ リセット操作をしませんでしたか。登録し直してください。 ☞ P.27

## ■ リモコン

**リモコンで操作できない。**
**または、正しい動作をしない。**
- ➡ 乾電池の ⊕⊖ の向きが逆になっていませんか。 ☞ P.16
- ➡ 乾電池が消耗していませんか。
- ➡ リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けていますか。 ☞ P.16
- ➡ リモコンセンサーと距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 ☞ P.16
- ➡ 本機の前に障害物はありませんか。 ☞ P.16
- ➡ リモコンセンサーに強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）があたっていませんか。 ☞ P.16
- ➡ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。

**リモコンで電源が入らない。**
- ➡ 電源コードはつながっていますか。 ☞ P.14
- ➡ 乾電池は入っていますか。 ☞ P.16

# MDのシステム上の制約



## つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。
- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

**つゆがつくと**……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

**つゆを取るには**…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約１時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

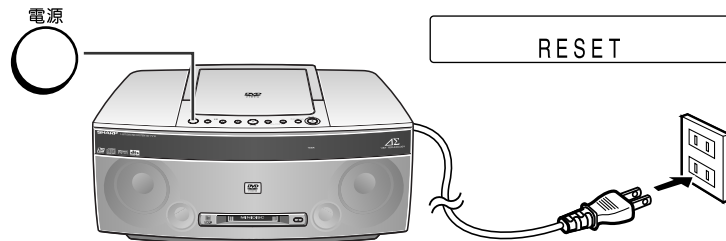
## 異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

**リセット操作**

❶ **電源コードをコンセントから抜きます。**

❷ **（電源）を押したまま、電源コードを差し込みます。**

“RESET（リセット）”が約１秒間表示されたあと電源が切れます。

**ご注意** ……………………………………………………………………

**リセット操作をすると、登録した内容は消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。（DVDの初期設定は残ります。）**

| こんなとき | このような制約があります |
|---|---|
| **MDの最大録音時間に満たなくても“DISC（ディスク） FULL（フル）”が表示されることがあります。** | ・ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため、録音時間が少なくなります。<br>・最大録音曲数（255曲）まで録音されたMDは、それ以上録音することはできません。 |
| **MDの最大録音曲数（２５５曲）に満たなくても“TOC（トック） FULL（フル）”が表示されることがあります。** | ・MDシステムでは、TOC（トック）にMD上の録音場所の区切りが登録されます。<br>何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大（255曲）にならなくても、TOC（トック）の情報がいっぱいになり、録音できなくなります。<br>（このようなMDは、オールイレースを行なえば最初から使用できます。） |
| **短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがあります。** | ・MDの録音残り時間を表示するとき、短い曲（ステレオ録音：12秒、モノラル録音・2倍長時間録音：24秒、4倍長時間録音：48秒）は、曲として数えられないことがあります。 |
| **MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがあります。** | ・通常は、１クラスタ（約２秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約２秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。<br>また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため、録音時間が少なくなります。<br>（各秒数は、ステレオ録音（SP）時の値です。録音モードにより異なります。） |
| **編集で曲と曲とをつなげられないことがあります。** | ・録音、編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。<br>CDから録音した曲（デジタル録音）とDVD、ラジオ放送や他の機器から録音した曲（アナログ録音）をつなぐことはできません。<br>・録音モード（モノラル録音、ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音）の異なる曲をつなぐことはできません。 |
| **録音された曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがあります。** | ・録音、編集をくり返して行ったMDでは、早送り/早戻し中に音がとぎれることがあります。 |
| **名前の先頭に“LP:”を入力すると“LP:”が表示されないことがあります。** | ・2倍、4倍長時間録音（LP2・LP4）した曲の曲名の先頭に“LP:”を入力すると、“LP:”が表示されません。<br>“LP”のあとに“:”以外の記号や文字を入力してください。 |

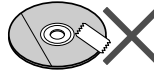
# DVD・CD や MD の取り扱いについて

DVD・CD

## ■ 取り扱い上のご注意

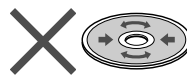
- ディスクを持つときは、再生面（印刷されていない面）に触れないように、必ずふちを持ってください。
  再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。
- ケースから出し入れするときは、再生面に触れないようにしてください。
- 印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。

- ラベルやシールを貼らないでください。
- セロハンテープやラベル（レンタルCDなど）などののりがはみ出していたり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。
  そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。

- 特殊形状（ハート型や八角形やふち取りをしているものなど）のディスクは、使用しないでください。
  故障の原因となります。

## ■ お手入れ

ディスクに汚れやキズがあると、映像や音声が乱れることがあります。
ディスクを取り出し、汚れを落としてから、再生してください。

- 再生面に指紋や汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽くふき取り、乾いた布でから拭きしてください。
- ふちから中央の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくとキズがつくことがあります。

**次のものは使用しないでください。**

- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のクリーナー
- 静電防止剤

MD

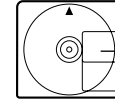
## ■種類について

MD には、再生専用と録音・再生用があります。

**再生専用MD**

**シャッターが片面（裏面）にあります。**

市販の音楽ソフトはこのタイプです。CDと同じ光ディスクを使っています。
**録音や編集はできません。**

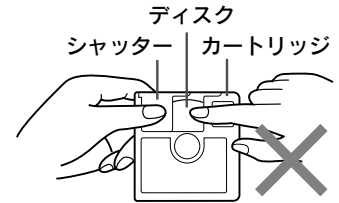
**録音・再生用MD**

**シャッターが両面にあります。**

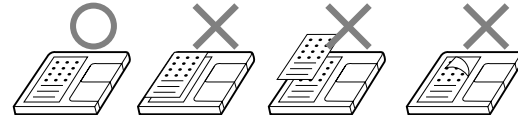
録音もできる「生ディスク」です。
光磁気ディスクを使っているため、くり返して録音することができます。

## ■取り扱いについて

MDはカートリッジに収納されていますので、ホコリ、キズ、指紋などがつきにくくなっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

**ディスクに直接触れないでください。**

シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
シャッターは無理に開けると壊れます。

## ■ラベルを貼り付けるときのお願い

必ず次のことをお守りください。正しく貼り付けないと、MD が内部につまって取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所（エリア内）に正しく貼る。
  （指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けない。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用する。

## ■お手入れ

カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

## ■ATRAC（音声圧縮技術）について

ATRAC（アトラック）（Adaptive TRansform Acoustic Coding）は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約1/5に圧縮します。
聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。
この機器では、音楽データを約1/10または1/20に圧縮するATRAC3（アトラック）という圧縮方式も採用しています。
この方式を用いることにより、2倍・4倍のステレオ長時間録音を可能としています。

**音とびガードメモリー**

再生中は常に半導体メモリーに約10秒間の情報を蓄積します。
このため、外部からの衝撃によりピックアップが情報を一時的に読み取れなくなっても、蓄積した情報を送ることによって、音が途切れることなく再生することができます。

共通

## ■保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

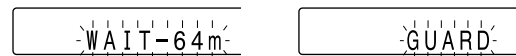
# 4倍速録音の制約について

この製品は、CDからMDへ録音をするとき通常の4分の1の時間で録音することができます。（4倍速録音）
4倍速録音では、著作権保護を目的とした制約があります。

### 「著作権保護を目的とした制約」

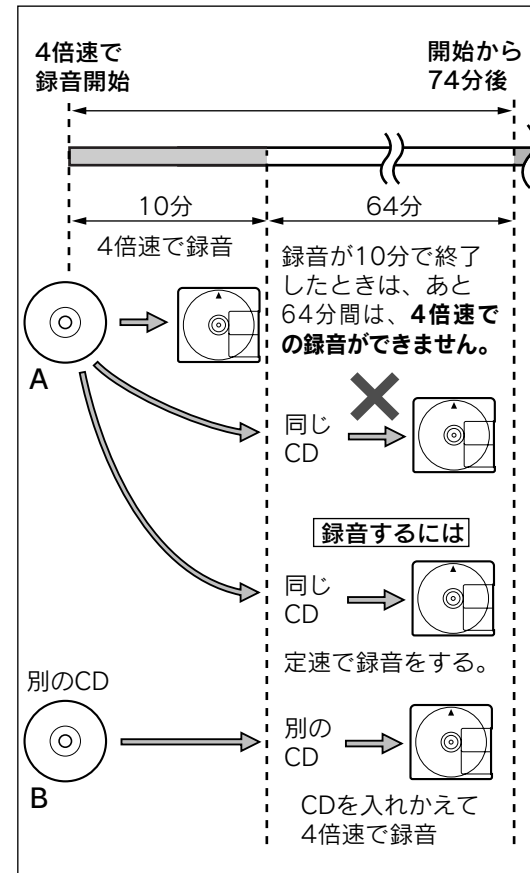
**CDからMDへ一度4倍速録音をしたあと、再び同じCDから4倍速録音するときは、次に録音を始めるまでの、待ち時間が必要となります。**

同じCDは、1回目の4倍速録音を開始してから74分経過した後で、2回目の4倍速録音が開始できます。
たとえば、CDからMDへの4倍速録音が10分間で終了した場合、再び同じCDから4倍速録音をするときには、64分間お待ちいただくことになります。

WAIT-64m　　GUARD

お待ちいただく時間（64分）

同じCDから74分以内に2回目の録音をしたい場合は、定速で録音してください。

### 次のようなときも、74分間は、4倍速で録音をすることができません。

- 4倍速録音を途中で止めたり、1曲でも4倍速録音したCDから、もう一度録音しようとしたとき。
- 20枚のCDから4倍速録音したあと、21枚目を録音しようとしたとき。

**お知らせ**

- 4倍速の録音中は、音は聞こえません。
- CDまたは、CD-R/CD-RWディスクから、MDへ4倍速録音したときは、ディスクの記録状態によっては、正常に録音されないことがあります。そのときは、定速で録音してください。

# こんな表示が出たときは

## ■本体表示

| 表　示 | 意　味 | このようにしてください |
|---|---|---|
| BLANK MD | ・何も記録されていない。（音楽もディスク名も記録されていない。） | ・再生するときは、録音された MD と取り換える。 |
| Can't COPY | ・コピー禁止のディスクから録音しようとした。 | ・コピー可能なディスクから録音する。 |
| Can't EDIT | ・MD 編集できない。 | ・別の曲を編集してみる。<br>・グループトップムーブ、グループチェンジができないときは、不要なタイトルを消す。<br>・ノングループの曲を結合できないときは、グループアレンジを行ってから、再度行ってみてください。<br>・グループリザーブで新しくグループを作成したときは、グループ名をつけてください。 |
| Can't PLAY | ・再生できないディスク（ビデオCDなど）を再生しようとした。<br>・リージョン番号が、「2」、「ALL」以外の DVD を再生しようとした。 | ・再生可能なディスクに取り換える。 |
| Can't READ ※<br>（※は数字や記号です。） | ・ディスクにキズがある。<br>・TOC 情報が読めない。<br>・規格外のディスクや MD。<br>・ディスクが表裏逆。<br>・情報が記録されていない CD-R/CD-RW ディスクを入れた。 | ・ディスクや MD を入れ直すか、取り換える。<br>・オールイレースをして、録音をやり直す。 |
| Can't REC | ・ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 | ・録音をやり直すか、MD を換えてみる。 |
| Can't T REC | ・タイマー録音ができない。または、MD に録音できる空きがない。 | ・他の録音用 MD と取り換える。 |
| Can't WRITE | ・ショックやディスクのキズで TOC 情報が正しく作成できない。 | ・電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。<br>書き込み中はショックを与えないでください。 |
| DISC FULL | ・MDに録音できる空きがない。 | ・他の録音用 MD と取り換える。 |
| EDIT OVER | ・MD の録音時間が足らない。 | ・録音時間のあるMDと取り換える。 |
| Er- ※※<br>（※※は数字や記号です。） | ・アンプまたはMD動作異常。<br>・DVD 通信異常。 | ・電源を切って、再度電源を入れてみる。また、リセット操作をしてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。 |
| FAN LOCK | ・本体背面の空冷ファンが回っていない。 | ・電源を切って、再度電源を入れてみる。それでも "FAN LOCK" が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。 |
| GROUP DISC | ・グループ録音したMDをグループモードに設定しないで編集をしようとした。 | ・グループモードに設定して編集をする。 |
| GROUP FULL | ・グループ数が99を超えている。 | ・不要なグループを消す。 |
| MD NO DISC | ・MD が入っていない。<br>・MD のデータが読めない。 | ・MD を入れる。<br>・MD をもう一度入れ直す。 |
| NAME FULL | ・ディスク名・グループ名・曲名が 40 文字を超えている。 | ・ディスク名・グループ名・曲名を短くする。 |
| NO DISC | ・ディスクが入っていない。<br>・ディスクが表裏逆。 | ・ディスクを入れる。<br>・ディスクを入れ直す。 |
| NO TRACK | ・再生、編集する曲がない。 | ・曲のあるグループ、ノングループを選択する。 |
| NOT AUDIO | ・オーディオ用でないデータが記録されている。 | ・ディスクや MD を取り換える。 |
| NOT CD | ・CD 以外のディスクを CD▶MD ボタンで録音しようとした。 | ・ディスクにあった操作で録音する。 |
| PLAYBACK MD | ・再生専用 MD に録音や編集をしようとした。 | ・録音用 MD と取り換える。 |
| PROTECTED | ・MDの誤消去防止ツマミが開いている。 | ・誤消去防止ツマミを閉じる。 |
| TEMP OVER | ・温度が高くなりすぎた。 | ・電源を切ってしばらく置いておく。 |
| TOC FORM ※※<br>（※※は数字や記号です。） | ・記録されている TOC 情報が MDの規格に合っていなかったり、読めない。 | ・他の MD と取り換える。<br>・オールイレースをして、録音をやり直す。 |

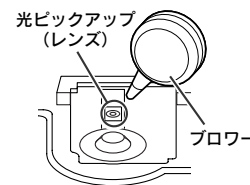
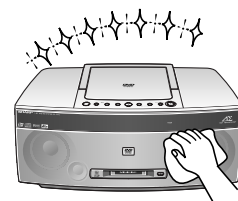
| 表　示 | 意　味 | このようにしてください |
|---|---|---|
| TOC FULL ※<br>（※※は数字です。） | ・曲番を登録する空きがない。<br>・TOCに文字情報を登録する空きがない。<br>・グループ録音ができない。<br>・グループエントリーができない。<br>・グループリザーブができない。 | ・他のMDと取り換える。<br>・不要な文字を消す。<br>・不要なディスク名・グループ名・曲名を消す。 |
| WAIT ※※ m<br>↓<br>GUARD<br>（※※は数字です。） | ・4倍速での録音ができない。 | ・表示された時間だけ録音を待つか、定速で録音する。 |
| ? DISC | ・データに異常がある。<br>・規格外のMD。<br>・MDが正しく入っていない。 | ・他のMDと取り換える。<br>・MD取出しボタンを押してみる。 |
| ? Gr Form.<br>↓<br>NewForm.OK? | ・グループ録音ができない。<br>・グループエントリーができない。<br>・グループリザーブができない。 | ・グループモードを解除する。<br>・決定ボタンを押して、ディスク名を消す。（☞ P.52） |

## ■テレビ画面表示

| テレビ画面表示 | エラーの内容 |
|---|---|
| ⊘ このディスクは再生できません | 本機で再生できないディスクを入れたり、裏表を逆に入れたとき。 |
| ⊘ 地域番号が違います | リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDを入れたとき。 |
| ディスクを入れてください | ディスクが入っていないとき。 |
| ⊘ この操作はできません | ・誤った操作をしたとき。<br>・操作を禁止されている場面で操作したとき。 |
| ⊘ ディスクでこの操作は禁止されています | 本書に記載されている操作を、ディスク側で禁止しているとき。 |

# お手入れについて



- 光ピックアップ（レンズ）にホコリや汚れがつくと、音とびを起こしたり、正しく動作をしないことがあります。
  ホコリがついたときは、市販のカメラレンズ清掃用のブロワーなどで清掃してください。

- やわらかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

**ご注意**

- **ピックアップ（レンズ）は手でさわらないように気をつけてください。**
- 使わないときは、ディスクブタを閉じておいてください。
- レンズにキズをつけないように気をつけてください。
- **ベンジン、シンナーなどは使わないでください。**
  **変質したり、塗料がはげることがあります。**

# 別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

| 光デジタルケーブル |
|---|
| 形名：AD-M3DC |
|  |
| コードの長さ：約1m |

# 音楽著作権について

**放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。**

■放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど。

■営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

- くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
- この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

**お問い合わせ先：**（社）私的録音補償金管理協会
☎（03）5353-0336

### 日本音楽著作権協会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本部 | ☎(03) 3481－2121 | 横浜支部 | ☎(045) 662－6551 |
| 北海道支部 | ☎(011) 221－5088 | 静岡支部 | ☎(054) 254－2621 |
| 盛岡支部 | ☎(019) 652－3201 | 中部支部 | ☎(052) 583－7590 |
| 仙台支部 | ☎(022) 264－2266 | 北陸支部 | ☎(076) 221－3602 |
| 長野支部 | ☎(026) 225－7111 | 京都支部 | ☎(075) 251－0134 |
| 大宮支部 | ☎(048) 643－5461 | 大阪支部 | ☎(06) 6244－0351 |
| 上野支部 | ☎(03) 3832－1033 | 神戸支部 | ☎(078) 322－0561 |
| 東京支部 | ☎(03) 3562－4455 | 中国支部 | ☎(082) 249－6362 |
| 西東京支部 | ☎(03) 5321－9530 | 四国支部 | ☎(087) 821－9191 |
| 東京イベント・コンサート支部 | ☎(03) 5321－9881 | 九州支部 | ☎(092) 441－2285 |
| 立川支部 | ☎(042) 529－1500 | 鹿児島支部 | ☎(099) 224－6211 |
| | | 那覇支部 | ☎(098) 863－1228 |

# 仕様

*1-BIT DVD/MD SYSTEM SD-FV10*

**仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。**

## ミニディスク部

| | |
|---|---|
| 形式 | ミニディスクデジタルオーディオシステム |
| 録音方式 | 磁界変調オーバーライト方式 |
| 読み取り方式 | 非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用） |
| 回転数 | 約400～900 rpm |
| エラー訂正方式 | アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード（ACIRC） |
| 音声圧縮/伸長方式 | ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding) / ATRAC3 24ビット演算方式 |
| チャンネル数 | ステレオ2チャンネル/モノラル（長時間モード）1チャンネル |
| サンプリング周波数 | 44.1 kHz |
| 周波数特性 | 20～20,000 Hz（+1/-3dB）(JEITA) |
| ワウ・フラッター | 測定限界（±0.001%W.PEAK）以下（JEITA） |

## DVDビデオプレーヤー部

| | |
|---|---|
| 水平解像度 | DVD：500本 |
| 信号方式 | NTSCカラー方式準拠 |
| 読み取り方式 | 非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用） |
| チャンネル数 | ステレオ2チャンネル |
| 周波数特性 | 20～20,000 Hz（+1/-3dB）(JEITA) |
| ワウ・フラッター | 測定限界（±0.001%W.PEAK）以下（JEITA） |

## チューナー部

| | |
|---|---|
| 受信周波数 | FM：76.0～108.0 MHz（TV音声 1～3CH）<br>AM：522～1,629 kHz |
| 回路方式 | クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー |
| アンテナ | FM：ロッドアンテナ<br>AM：専用ループアンテナ（付属） |

## タイマー／時計部

| | |
|---|---|
| 形式 | 日付機能つきデジタルクロック |
| タイマー | デイリータイマー/ワンスタイマー/スリープタイマー |

## リモコン部

| | |
|---|---|
| 電源 | DC 3 V（付属単3乾電池×2個） |

## アンプ／共通部

| | |
|---|---|
| スピーカー | 8 cm フルレンジスピーカー（4Ω）×2 |
| 実用最大出力 | 10W（5W+5W）（JEITA） |
| A/Dノイズシェーピング | 7次 ⊿Σ（デルタシグマ）変調 |
| 音声入力端子 | アナログ外部入力：<br>500mV（47kΩ）<br>ピンジャック（L/R）×1 |
| 音声出力端子 | ヘッドホン出力：<br>16～50Ω（推奨32Ω）<br>直径3.5mmステレオミニジャック×1<br>デジタル外部出力：<br>角型光出力端子×1 (DVD/CD出力)<br>アナログ外部出力：<br>500mV（10kΩ）<br>ピンジャック（L/R）×1<br>サブウーハー出力：<br>1V（10kΩ）70Hz<br>ピンジャック（モノラル）×1 |
| 映像出力端子 | モニター出力：<br>S端子、ビデオ出力各1系統 |
| 電源 | 100V AC、50/60 Hz |
| 消費電力 | AC 33W |
| 最大外形寸法 | 420（幅）×150（高さ）×275.8（奥行）mm（JEITA） |
| 質量 | 約5.7 kg |

参考

# 保証とアフターサービス （よくお読みください）

## 保証書（裏表紙）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
お買いあげの日から１年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、1ビットDVD/MDシステムの補修用性能部品を製造打切後、８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（90ページ）にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは　持込修理

**「“故障かな？”と思ったら」**（81～83ページ）を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

### 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 |
|---|---|
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |

**便利メモ**　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

| お買いあげ日 | 販売店名 |
|---|---|
| 年　月　日 | 電　話（　　　）　　－ |

**長年ご使用のオーディオ機器の点検を！**

**このような症状はありませんか？**

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

**ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

# お客様ご相談窓口のご案内



**修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。**

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- **製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・ 修理相談センター へ**
- **製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・ お客様相談センター へ**

## お客様相談センター

■ 受付時間： ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

| | | |
|---|---|---|
| 東日本相談室 | TEL **043-297-4649** | FAX **043-299-8280** |
| | 〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2 | |
| 西日本相談室 | TEL **06-6621-4649** | FAX **06-6792-5993** |
| | 〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72 | |

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

## 修理相談センター

### ● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

**0570-02-4649**

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、ＮＴＴより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・ＰＨＳからは、下記電話におかけください。

| | | <東日本地区> | <西日本地区> |
|---|---|---|---|
| ○ 携帯電話／ＰＨＳでのご利用は・・・ | （一般電話） | 043-299-3863 | 06-6792-5511 |
| ○ ＦＡＸを送信される場合は・・・・・・・ | （Ｆ Ａ Ｘ） | 043-299-3865 | 06-6792-3221 |

○ **沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。**

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は・・・・＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

| 担当地域 | 拠　点　名 | 電話番号 | 郵便番号 | 所　在　地 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道地区 | 札　幌 サービスセンター | 011-641-4685 | 〒063-0801 | 札幌市西区二十四軒１条7-3-17 |
| 東 北 地区 | 仙　台 サービスセンター | 022-288-9142 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東3-1-27 |
| 関 東 地区 | さいたまサービスセンター | 048-666-7987 | 〒331-0812 | さいたま市北区宮原町2-107-2 |
| | 宇都宮 サービスセンター | 028-637-1179 | 〒320-0833 | 宇都宮市不動前4-2-41 |
| | 東京テクニカルセンター | 03-5692-7765 | 〒114-0013 | 東京都北区東田端2-13-17 |
| | 多　摩 サービスセンター | 042-586-6059 | 〒191-0003 | 日野市日野台5-5-4 |
| | 千　葉 サービスセンター | 047-368-4766 | 〒270-2231 | 松戸市稔台295-1 |
| | 横　浜 サービスセンター | 045-753-4647 | 〒235-0036 | 横浜市磯子区中原1-2-23 |
| 東 海 地区 | 静　岡 サービスセンター | 0543-44-5781 | 〒424-0067 | 静岡市清水鳥坂1170番1 |
| | 名古屋 サービスセンター | 052-332-2623 | 〒454-8721 | 名古屋市中川区山王3-5-5 |
| 北 陸 地区 | 金　沢 サービスセンター | 076-249-2434 | 〒921-8801 | 石川郡野々市町御経塚4-103 |
| 近 畿 地区 | 京　都 サービスセンター | 075-672-2378 | 〒601-8102 | 京都市南区上鳥羽菅田町48 |
| | 大阪テクニカルセンター | 06-6794-5611 | 〒547-8510 | 大阪市平野区加美南3-7-19 |
| | 神　戸 サービスセンター | 078-453-4651 | 〒658-0082 | 神戸市東灘区魚崎北町1-6-18 |
| 中 国 地区 | 広　島 サービスセンター | 082-874-8149 | 〒731-0113 | 広島市安佐南区西原2-13-4 |
| 四 国 地区 | 高　松 サービスセンター | 087-823-4901 | 〒760-0065 | 高松市朝日町6-2-8 |
| 九 州 地区 | 福　岡 サービスセンター | 092-572-4652 | 〒816-0081 | 福岡市博多区井相田2-12-1 |
| 沖縄・奄美地区 | 那　覇 サービスセンター | 098-861-0866 | 〒900-0002 | 那覇市曙2-10-1 |

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

## 〈無 料 修 理 規 定〉

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   （イ） 本書のご提示がない場合。
   （ロ） 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   （ハ） 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   （ニ） お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   （ホ） 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
   （ヘ） 一般家庭用以外（例えば業務用）に使用された場合の故障・損傷。
   （ト） 消耗部品（乾電池）が損耗し取り替えを要する場合。
   （チ） 電池の液漏れによる故障・損傷。
   （リ） 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

★ 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

**修理メモ**

SHARP

## シャープ 1ビットDVD/MDシステム保証書

持込修理

| 形　名 | SD-FV10 |
|---|---|
| お客様 | ふりがな お名前　　　　様 ☎<br>〒 ご住所 |
| 取扱販売店名･住所･電話番号 | |
| 保証期間 | お買いあげ日　　年　月　日より　本体は１年間 ただし消耗品は除く |

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。
ご転居・ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

シャープ株式会社
〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22-22
電　話　(06) 6621-1221(大代表)

● 製品についてのお問い合わせは‥

| お客様相談センター | | | |
|---|---|---|---|
| | 東日本相談室 | TEL 043-297-4649 | FAX 043-299-8280 |
| | 西日本相談室 | TEL 06-6621-4649 | FAX 06-6792-5993 |

《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　　日曜・祝日：午前10時～午後５時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥　90ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒739-0192　東広島市八本松飯田２丁目13番１号

Printed in Malaysia
TINSJA012AWZZ
03H R HK ②